

阪南市新総合計画策定に係る 住民意識調査報告書

平成23年 3月

阪 南 市

— 目 次 —

第1章 調査概要	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査対象および調査方法等.....	1
3. 回収状況.....	1
4. 本調査結果をご覧になる際の注意点.....	2
第2章 回答者の属性	3
1. 性別.....	3
2. 年齢.....	3
3. 地区.....	4
4. 職業.....	5
5. 居住年数.....	7
6. 同居している方.....	9
7. 居住形態.....	11
第3章 阪南市の暮らしやすさについて.....	13
1. 今後の居留意向.....	13
2. これからも住んでいたい理由.....	15
3. 阪南市以外に移りたい理由.....	19
第4章 阪南市の現状と今後の施策について	23
1. はじめに.....	23
2. 施策ごとの達成度・重要度.....	24
3. 達成度・重要度の指数化.....	29
4. ポートフォリオ分析	32
第5章 今後のまちづくりについて	41
1. 産業活性化の方向性	41
2. 企業誘致の進め方.....	44
3. 阪南市の資源・強み	46
第6章 協働のまちづくりについて	49
1. 社会活動の参加意向	49
2. 協働のまちづくりへの関わり方.....	51
3. 行政の役割.....	53

第7章 日常生活について.....	55
1. インターネット利用	55
2. インターネットの利用手段.....	57
3. 暮らしの情報の取得手段.....	59
4. 知りたい情報	61
5. 公共施設の利用有無	63
6. 自治基本条例の認知	65
7. 行政サービスと負担	67
8. 中心市街地の方向性	69
9. 通勤・通学先	71
10. 通勤・通学手段	73
第8章 自由回答	75
1. はじめに.....	75
2. 健康・福祉について	75
3. 安心・安全な暮らし	77
4. 快適な暮らし	79
5. 産業.....	82
6. 子育て・教育・生涯学習	85
7. 協働・コミュニティ	89
8. 行政経営.....	90
9. その他	94

資 料

第1章 調査概要

1. 調査目的

新しい阪南市総合計画の策定にあたって、広く住民の意向等を反映した計画づくりを行うため、住民意識調査を実施しました。

特に、行政の取り組みである施策ごとの「達成度」「重要度」を把握し、施策の選択と集中を図るための基礎情報として活用します。また、阪南市に特化した課題に対し、住民の意識・意向を把握するために実施しました。

2. 調査対象および調査方法等

- ・調査対象：阪南市全域、市内在住の16歳以上の住民
- ・対象者数：3,000人（人口バランスを考慮した無作為抽出）
- ・調査方法：郵送による配布・回収。無記名方式。
- ・調査時期：平成22年4～5月

3. 回収状況

- ・配布：3,000通
- ・回収：1,242通
- ・回収率：全体41.4%

	配布数	回答数	回収率
A地区（尾崎・尾崎町）	408	156	38.2%
B地区（下出・黒田・新町・鳥取・シーサイド貝掛・府営石田団地）	609	218	35.8%
C地区（鳥取中・自然田・石田・桑畑・さつき台）	536	197	36.8%
D地区（和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘）	309	129	41.7%
E地区（舞・鳥取三井・光陽台）	482	235	48.8%
F地区（貝掛・箱作・万葉台・住友金属住宅）	210	127	60.5%
G地区（田山・南山中・箱の浦・いずみが丘・東和苑・鴻の台・プロヴァンスの丘）	258	91	35.3%
H地区（桃の木台）	188	82	43.6%
無回答	－	7	－
合計	3,000	1,242	41.4%

4. 本調査結果をご覧になる際の注意点

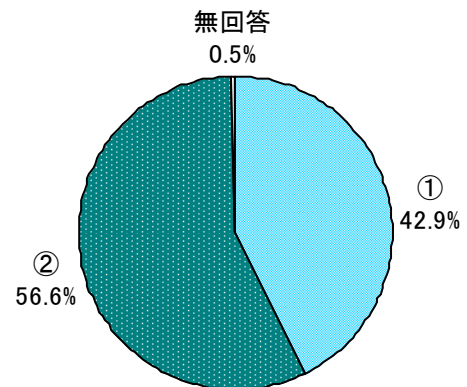
- ・グラフ及び表中の構成比（％）は、小数第 2 位を四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも 100％にはなりません。
- ・グラフおよび表中の「無回答」には、無効回答を含んでいます。
- ・グラフの凡例（構成比）については、1.0％以下は表示していません。
- ・属性別のクロス集計については、各属性（性別、年齢、地区等）が無回答のサンプルを除外して集計しています。そのため、属性ごとの各選択肢の回答数を合計しても、調査結果全体の数値と一致しない場合があります。
- ・属性別のクロス集計については、特徴的な結果が出た場合のみ、その結果について言及しています。

第2章 回答者の属性

1. 性別

あなたの性別は。

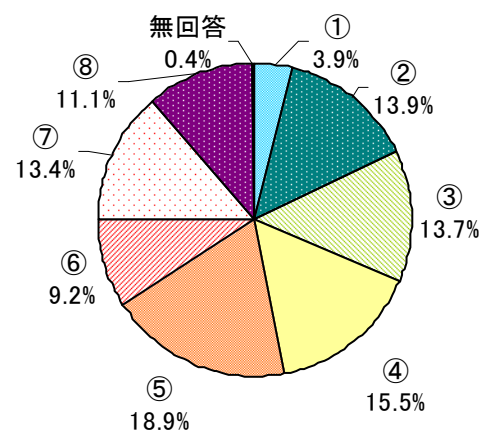
	回答数	構成比
① 男	533	42.9%
② 女	703	56.6%
無回答	6	0.5%
合計	1,242	100.0%



2. 年齢

あなたの年齢は。

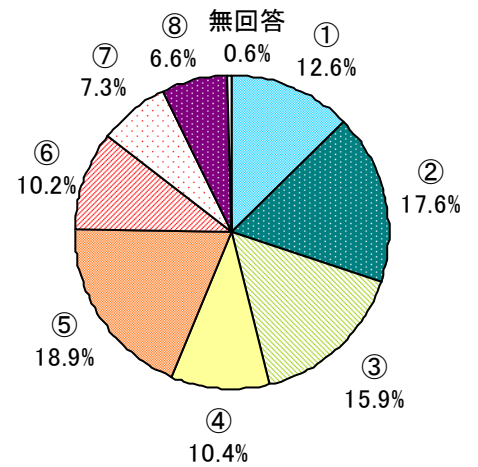
	回答数	構成比
① 10歳代	48	3.9%
② 20歳代	173	13.9%
③ 30歳代	170	13.7%
④ 40歳代	193	15.5%
⑤ 50歳代	235	18.9%
⑥ 60～64歳	114	9.2%
⑦ 65～69歳	166	13.4%
⑧ 70歳以上	138	11.1%
無回答	5	0.4%
合計	1,242	100.0%



3. 地区

あなたは、どちらの地区にお住まいですか。

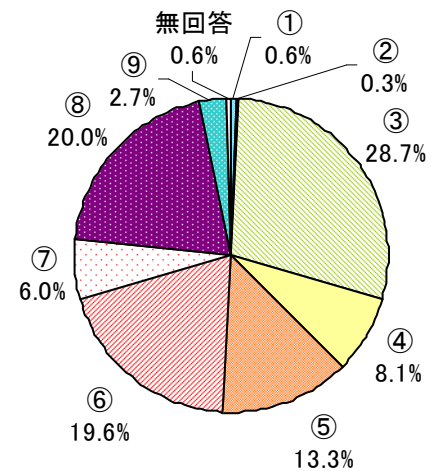
	回答数	構成比
① A地区(尾崎・尾崎町)	156	12.6%
② B地区(下出・黒田・新町・鳥取・シーサイド 貝掛・府営石田団地)	218	17.6%
③ C地区(鳥取中・自然田・石田・桑畑・さつき台)	197	15.9%
④ D地区(和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘)	129	10.4%
⑤ E地区(舞・鳥取三井・光陽台)	235	18.9%
⑥ F地区(貝掛・箱作・万葉台・住友金属住宅)	127	10.2%
⑦ G地区(田山・南山中・箱の浦・いずみが丘・東和苑・鴻の台・プロヴァンスの丘)	91	7.3%
⑧ H地区(桃の木台)	82	6.6%
無回答	7	0.6%
合計	1,242	100.0%



4. 職業

あなたの主な職業は何ですか。

	回答数	構成比
① 農林業	7	0.6%
② 漁業	4	0.3%
③ 会社員・公務員	356	28.7%
④ 自営業(家族従業者を含む)・団体役員・会社経営	100	8.1%
⑤ パート・アルバイト	165	13.3%
⑥ 専業主婦・主夫(家事・育児だけに従事)	244	19.6%
⑦ 学生	75	6.0%
⑧ 無職	249	20.0%
⑨ その他	34	2.7%
無回答	8	0.6%
合計	1,242	100.0%



《全体まとめ》

- 「会社員・公務員」が最も多く、全体の28.7%を占めています。次いで「無職」が20.0%、「専業主婦・主夫(家事・育児だけに従事)」が19.6%となっています。
- 一方、一次産業である「農林業」は0.6%、「漁業」は0.3%と少なくなっています。

《クロス集計まとめ》

【性別】

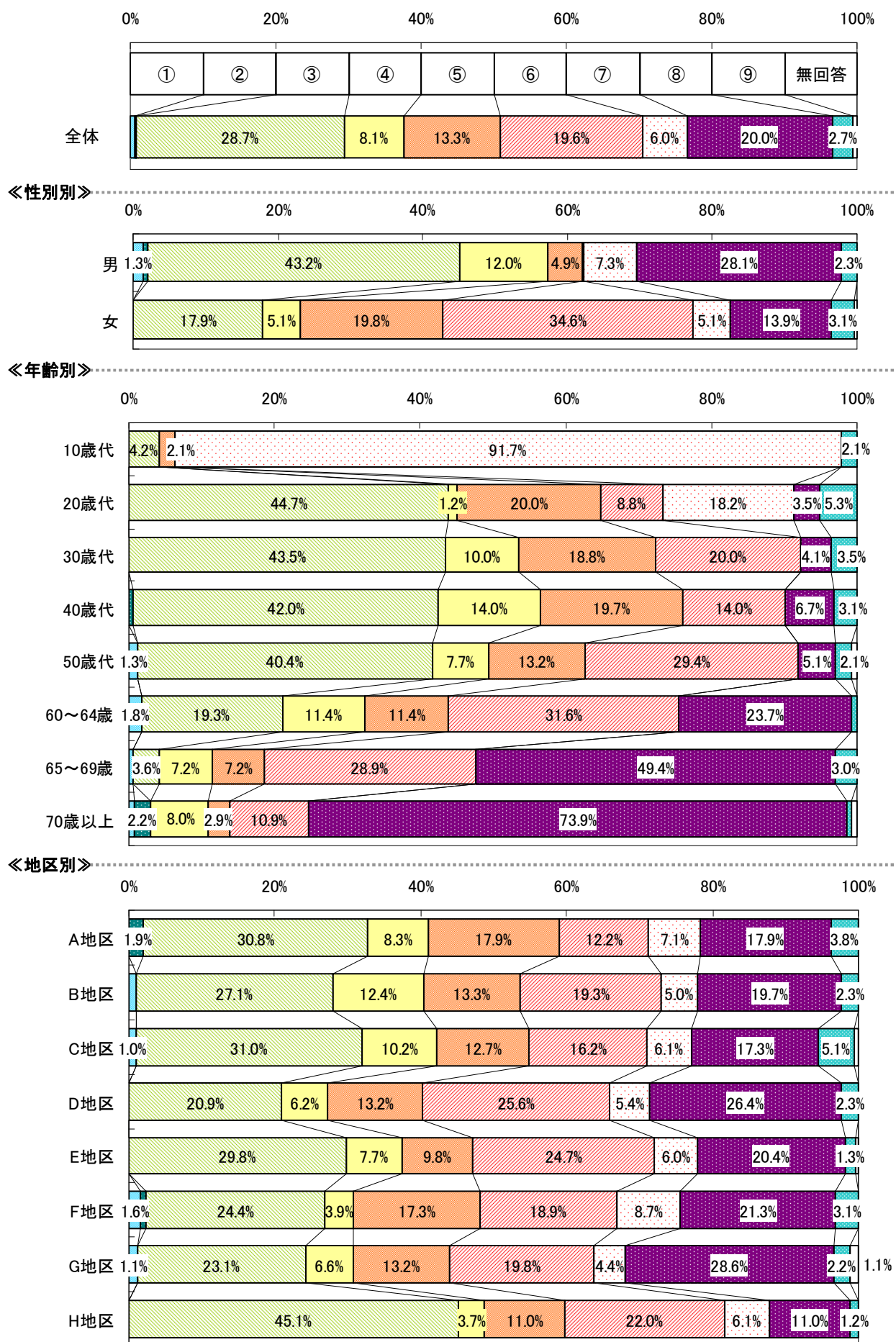
- 男性では「会社員・公務員」「無職」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性では「専業主婦・主夫(家事・育児だけに従事)」「パート・アルバイト」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

- 年齢が高くなるにつれ、「会社員・公務員」の回答割合が低くなり、「無職」の回答割合が高くなる傾向がみられます。
- 20歳代～40歳代では「パート・アルバイト」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 40歳代では「自営業」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。

【地区】

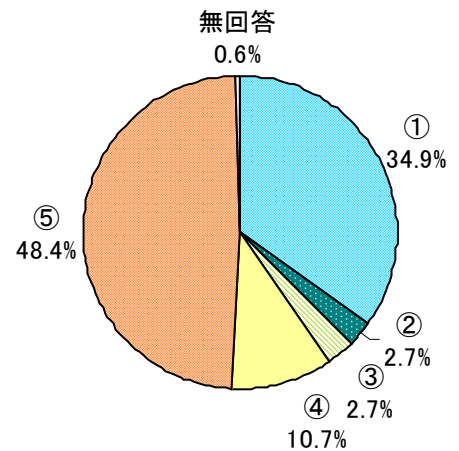
- A地区(尾崎・尾崎町)では「漁業」「パート・アルバイト」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- B地区(下出・黒田・新町・鳥取・シーサイド貝掛・府宮石田団地)では「自営業」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- D地区(和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘)では「専業主婦・主夫(家事・育児だけに従事)」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- G地区(田山・南山中・箱の浦・いずみが丘・東和苑・鴻の台・プロヴァンスの丘)では「無職」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- H地区(桃の木台)では「会社員・公務員」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。



5. 居住年数

阪南市にお住まいになって通算何年になりますか。

	回答数	構成比
① 生まれたときからずっと住んでいる	433	34.9%
② 転入して5年未満	34	2.7%
③ 転入して5～9年	33	2.7%
④ 転入して10～19年	133	10.7%
⑤ 転入して20年以上	601	48.4%
無回答	8	0.6%
合計	1,242	100.0%



《全体まとめ》

- 転入してきた回答者（選択肢②～⑤の合計）が全体の 64.5%を占めています。中でも、「転入して20年以上」が 48.4%と最も多くなっています。
- 「生まれたときからずっと住んでいる」は 34.9%となっています。
- 「生まれたときからずっと住んでいる」と「転入して20年以上」の合計が全体の 83.3%を占めており、長く住んでいる回答者が多いことが伺えます。

《クロス集計まとめ》

【性別】

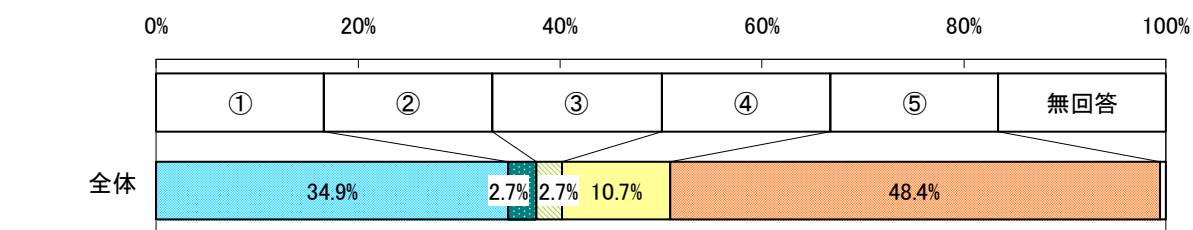
- 男性では「生まれたときからずっと住んでいる」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性では転入してきた回答者（選択肢②～⑤の合計）の割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

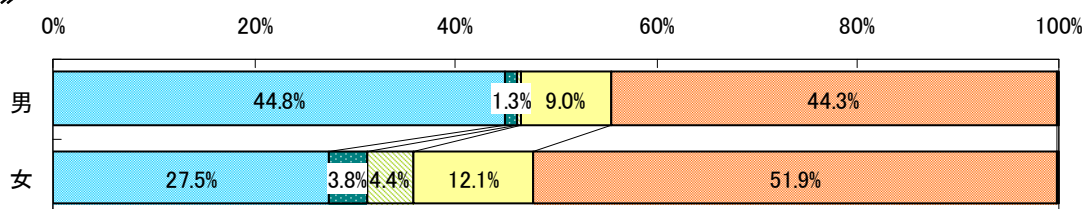
- 年齢が高くなるにつれ、転入してきた回答者（選択肢②～⑤の合計）の回答割合が高くなる傾向がみられます。
- 10歳代、40歳代では「転入して10～19年」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。

【地区】

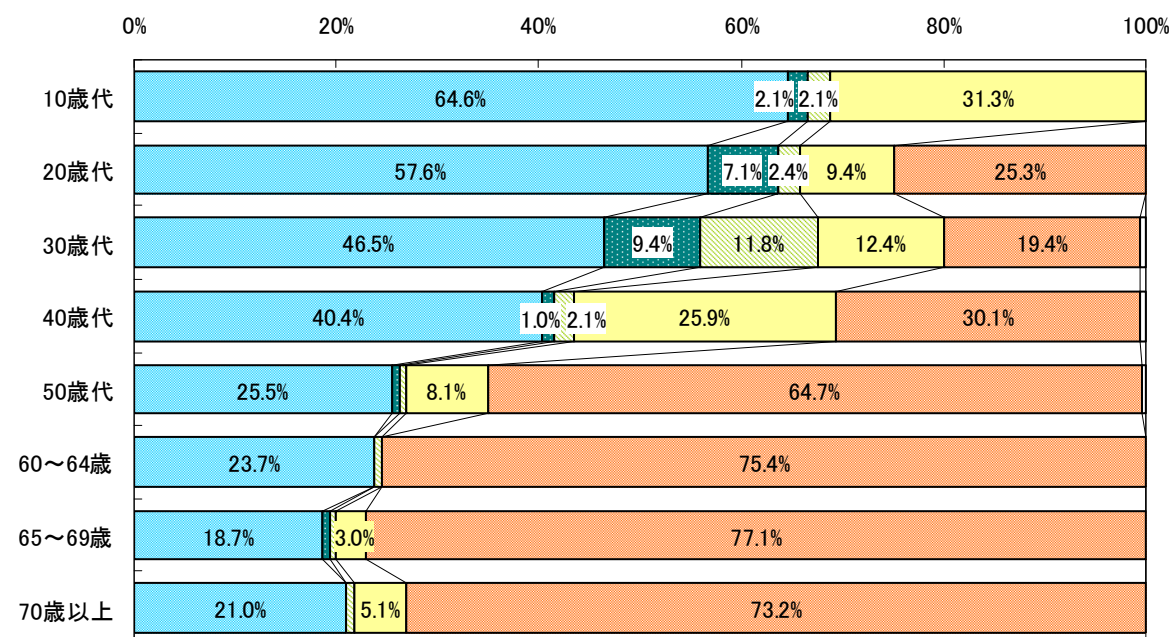
- A地区（尾崎・尾崎町）、B地区（下出・黒田・新町・鳥取・シーサイド貝掛・府営石田団地）では「生まれたときからずっと住んでいる」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- H地区（桃の木台）では転入してきた回答者（選択肢②～⑤の合計）、中でも「転入して10～19年」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。



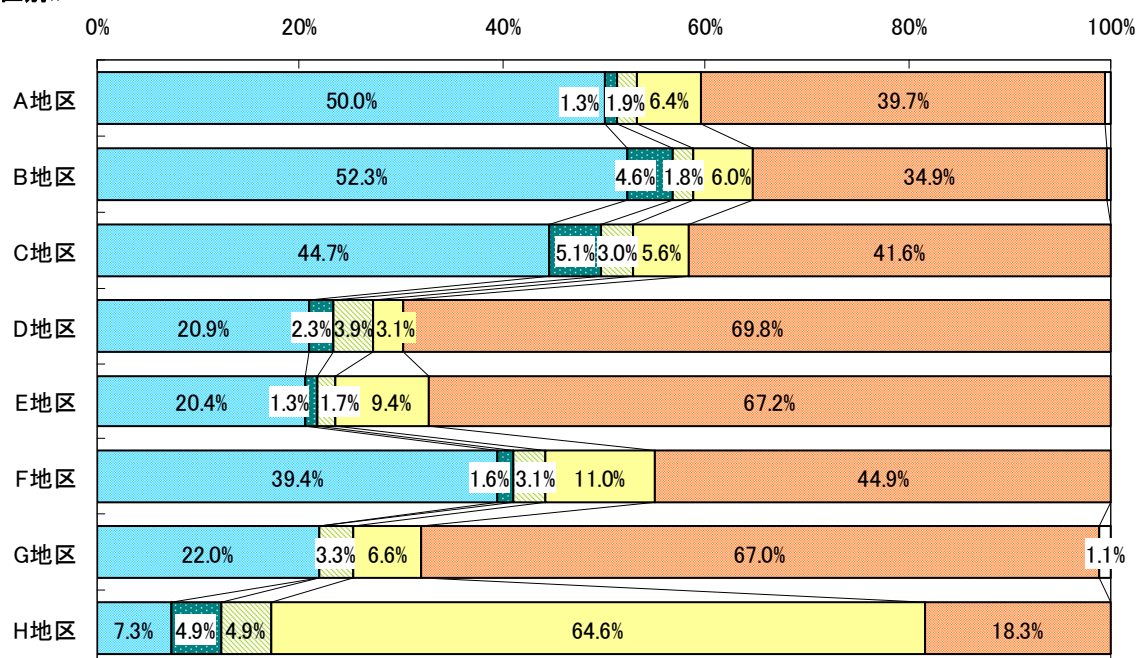
《性別別》



《年齢別》



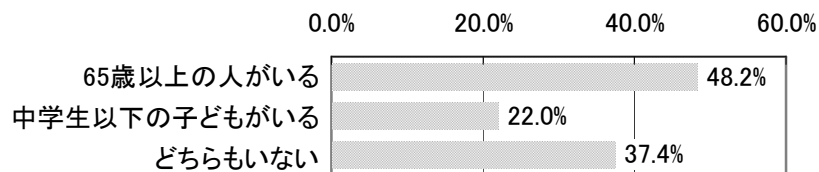
《地区別》



6. 同居している方

あなたが一緒に暮らしている人の中に、次にあてはまる人はいますか。
ご自身も含め、あてはまるものを全て選んでください。

	回答数	構成比
① 65歳以上の人がいる	599	48.2%
② 中学生以下の子どもがいる	273	22.0%
③ どちらもいない	464	37.4%



《全体まとめ》

- 「65歳以上の人がいる」が48.2%と最も多く、「どちらもいない」が37.4%、「中学生以下の子どもがいる」が22.0%となっています。

	性別		年齢							
	男	女	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳以上
① 65歳以上の方がいる	275 51.6%	323 45.9%	16 33.3%	31 17.9%	59 34.7%	86 44.6%	86 36.6%	50 43.9%	146 88.0%	125 90.6%
② 中学生以下の子どもがいる	120 22.5%	153 21.8%	17 35.4%	27 15.6%	95 55.9%	81 42.0%	19 8.1%	10 8.8%	13 7.8%	11 8.0%
③ どちらもいない	185 34.7%	279 39.7%	21 43.8%	118 68.2%	33 19.4%	53 27.5%	140 59.6%	60 52.6%	25 15.1%	14 10.1%
N=	533	703	48	173	170	193	235	114	166	138

※回答者自身も含めて回答する設問であるため、回答者の年齢が「65歳～79歳」と「70歳以上」で「①65歳以上の方がいる」と回答した割合は100%になるはずですが、回答者の記入漏れ等により、100%となっておりません。しかし、地区別集計との整合性を図るため、修正していません。

	地区							
	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区
① 65歳以上の方がいる	79 50.6%	106 48.6%	84 42.6%	71 55.0%	120 51.1%	71 55.9%	47 51.6%	20 24.4%
② 中学生以下の子どもがいる	31 19.9%	48 22.0%	60 30.5%	21 16.3%	33 14.0%	23 18.1%	15 16.5%	41 50.0%
③ どちらもいない	57 36.5%	83 38.1%	77 39.1%	48 37.2%	97 41.3%	44 34.6%	31 34.1%	27 32.9%
N=	156	218	197	129	235	127	91	82

《クロス集計まとめ》

【性別】

- 男性では「65歳以上の方がいる」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性では「どちらもいない」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

- 30歳代では「中学生以下の子どもがいる」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 10歳代、20歳代、50歳代、60～64歳では「どちらもいない」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。

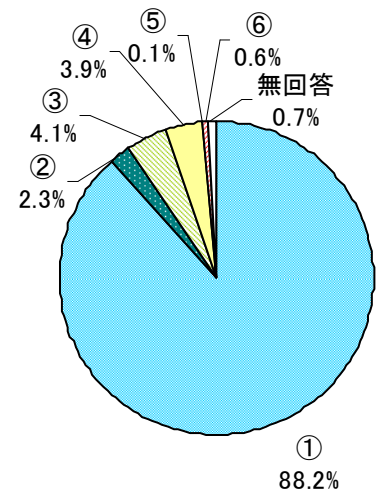
【地区】

- H地区（桃の木台）では「65歳以上の方がいる」の回答割合が他の地区に比べ低く、「中学生以下の子どもがいる」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。

7. 居住形態

現在、お住まいの居住形態はどれですか。

	回答数	構成比
① 持ち家(一戸建て)	1,096	88.2%
② 持ち家(集合住宅・分譲マンションなど)	29	2.3%
③ 公営賃貸住宅	51	4.1%
④ 民間賃貸住宅	48	3.9%
⑤ 社宅・官舎・寮	1	0.1%
⑥ その他	8	0.6%
無回答	9	0.7%
合計	1,242	100.0%



《全体まとめ》

- 「持ち家（一戸建て）」が最も多く、全体の 88.2%を占めています。次いで、「公営賃貸住宅」が 4.1%、「民間賃貸住宅」が 3.9%となっています。

《クロス集計まとめ》

【性別】

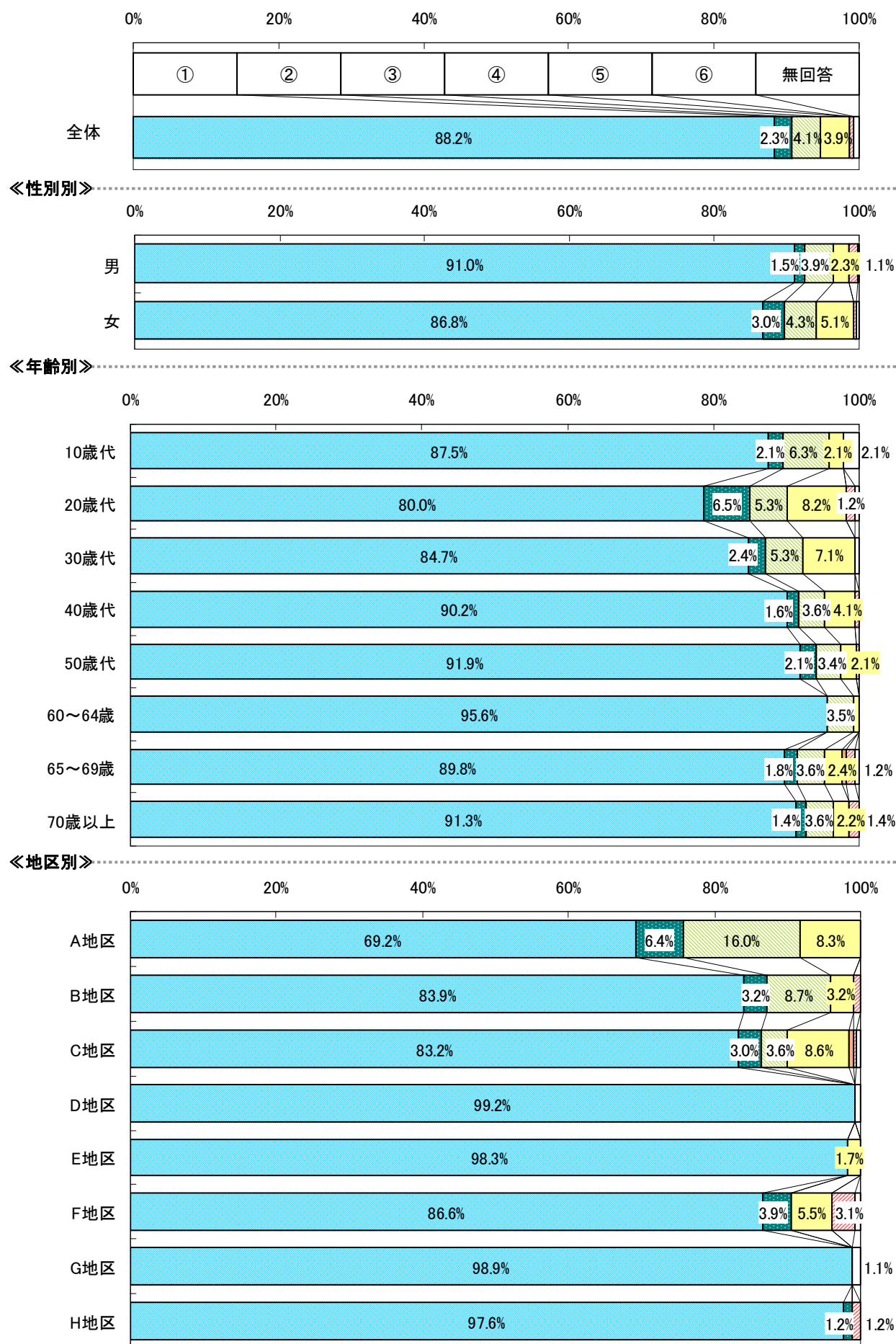
- 男性では「持ち家（一戸建て）」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性では「民間賃貸住宅」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

- 年齢が高くなるにつれ、「持ち家（一戸建て）」の回答割合が高くなる傾向がみられます。

【地区】

- A地区（尾崎・尾崎町）では「持ち家（集合住宅・分譲マンションなど）」「公営賃貸住宅」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- D地区（和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘）、E地区（舞・鳥取三井・光陽台）、G地区（田山・南山中・箱の浦・いずみが丘・東和苑・鴻の台・プロヴァンスの丘）、H地区（桃の木台）では「持ち家（一戸建て）」の回答割合がほとんどを占めています。

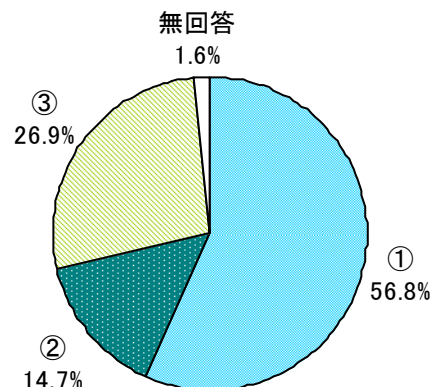


第3章 阪南市の暮らしやすさについて

1. 今後の居住意向

あなたは、阪南市にこれからもお住まいになりたいと思いますか。それとも、阪南市以外に移りたいと思いますか。

	回答数	構成比
① これからも阪南市に住んでいたい	705	56.8%
② できれば阪南市以外の場所に移りたい (移る計画がある)	183	14.7%
③ 考えていない・どちらともいえない	334	26.9%
無回答	20	1.6%
合計	1,242	100.0%



《全体まとめ》

- 「これからも阪南市に住んでいたい」が最も多く、全体の56.8%を占めています。「できれば阪南市以外の場所に移りたい (移る計画がある)」は14.7%、「考えていない・どちらともいえない」は26.9%となっています。

《クロス集計まとめ》

【性別】

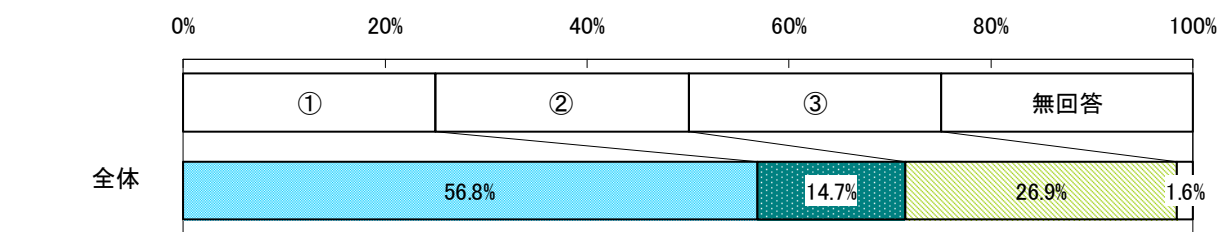
- 男性では「これからも阪南市に住んでいたい」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性では「できれば阪南市以外の場所に移りたい (移る計画がある)」「考えていない・どちらともいえない」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

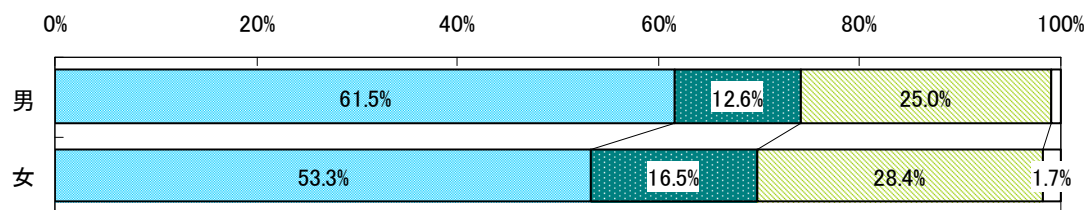
- 年齢が高くなるにつれ「これからも阪南市に住んでいたい」の回答割合が高くなる傾向がみられます。
- 10歳代では「考えていない・どちらともいえない」の回答割合が「これからも阪南市に住んでいたい」の回答割合に比べ高くなっています。

【地区】

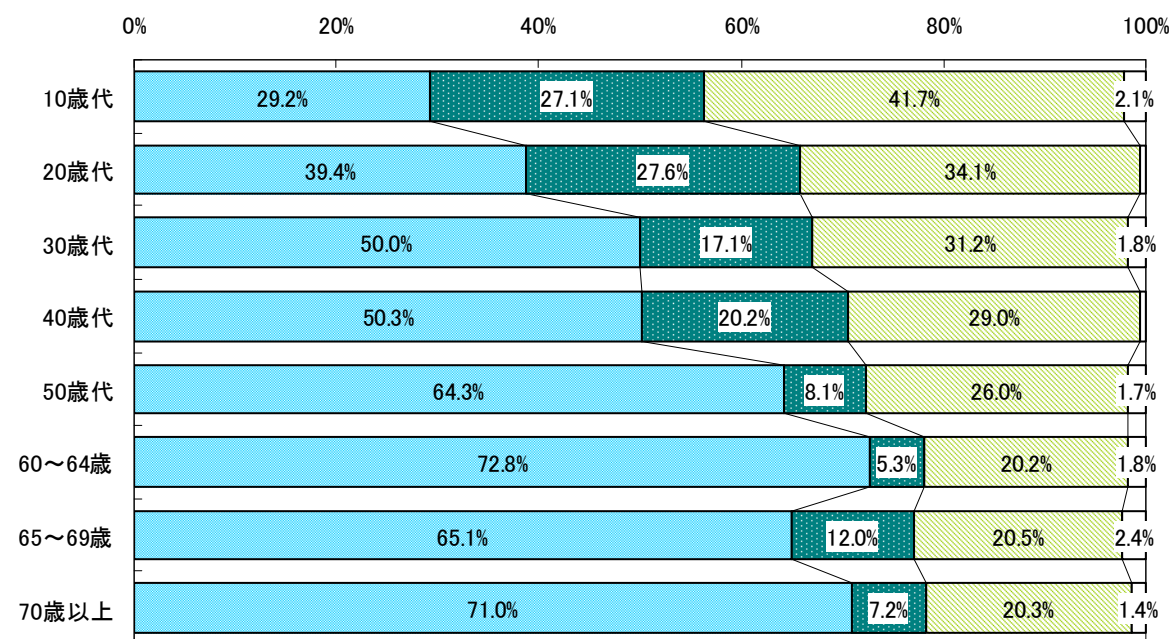
- B地区（下出・黒田・新町・鳥取・シーサイド貝掛・府営石田団地）、C地区（鳥取中・自然田・石田・桑畑・さつき台）、F地区（貝掛・箱作・万葉台・住友金属住宅）では「これかも阪南市に住んでいたい」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
一方、D地区（和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘）、E地区（舞・鳥取三井・光陽台）では低くなっています。
- 「できれば阪南市以外の場所に移りたい (移る計画がある)」の回答者をみると、E地区（舞・鳥取三井・光陽台）やF地区（貝掛・箱作・万葉台・住友金属住宅）が他の地区に比べ高くなっています。
- 「考えていない・どちらともいえない」の回答者をみると、D地区（和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘）が他の地区に比べ高くなっています。



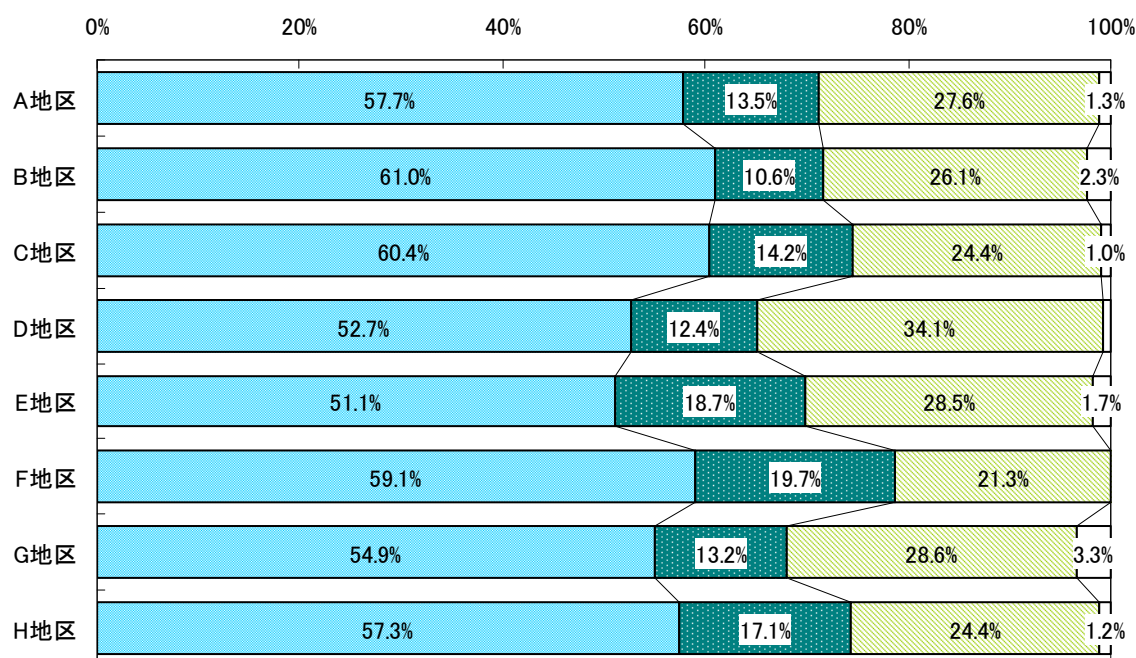
《性別別》



《年齢別》



《地区別》



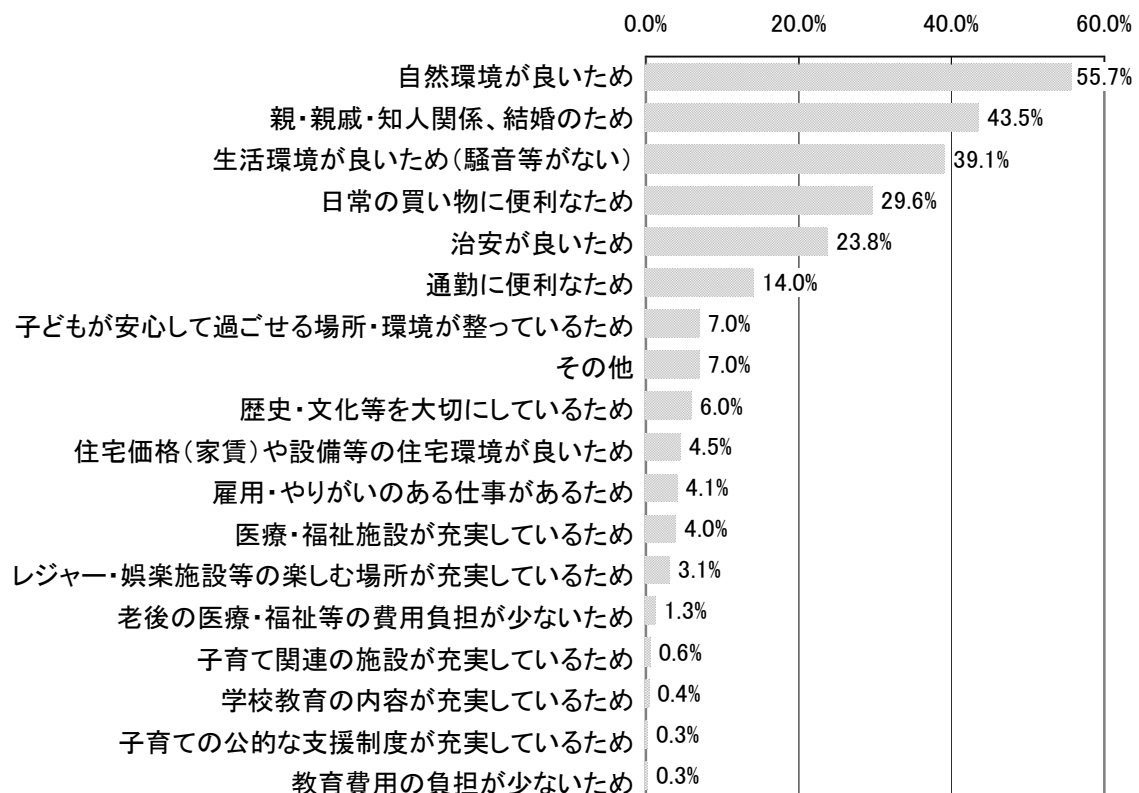
2. これからも住んでいたい理由

これからも阪南市に住んでいたい人にお聞きします。

これからも阪南市に住んでいたい理由として、あてはまるものを**最大3つまで**選んでください。

※前設問の「①これからも阪南市に住んでいたい」を回答した 705 名の理由を示しています。

N = 705		
	回答数	構成比
① 通勤に便利のため	99	14.0%
② 雇用・やりがいのある仕事があるため	29	4.1%
③ 自然環境が良いため	393	55.7%
④ 生活環境が良いため(騒音等がない)	276	39.1%
⑤ 子育ての公的な支援制度が充実しているため	2	0.3%
⑥ 子育て関連の施設が充実しているため	4	0.6%
⑦ 子どもが安心して過ごせる場所・環境が整っているため	49	7.0%
⑧ 教育費用の負担が少ないため	2	0.3%
⑨ 学校教育の内容が充実しているため	3	0.4%
⑩ 日常の買い物に便利のため	209	29.6%
⑪ 治安が良いため	168	23.8%
⑫ レジャー・娯楽施設等の楽しむ場所が充実しているため	22	3.1%
⑬ 住宅価格(家賃)や設備等の住宅環境が良いため	32	4.5%
⑭ 医療・福祉施設が充実しているため	28	4.0%
⑮ 老後の医療・福祉等の費用負担が少ないため	9	1.3%
⑯ 親・親戚・知人関係、結婚のため	307	43.5%
⑰ 歴史・文化等を大切にしているため	42	6.0%
⑱ その他	49	7.0%



《全体まとめ》

- 「自然環境が良いため」が 55.7%と最も多く、次いで「親・親戚・知人関係、結婚のため」が 43.5%、「生活環境が良いため」が 39.1%となっています。

	性別		年齢							
	男	女	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳以上
① 通勤に便利のため	53	46	4	14	17	17	27	9	6	5
	16.2%	12.3%	28.6%	20.9%	20.0%	17.5%	17.9%	10.8%	5.6%	5.1%
② 雇用・やりがいのある仕事があるため	8	21	0	2	5	2	9	3	4	4
	2.4%	5.6%	0.0%	3.0%	5.9%	2.1%	6.0%	3.6%	3.7%	4.1%
③ 自然環境が良いため	201	191	10	30	37	35	87	58	68	67
	61.3%	50.9%	71.4%	44.8%	43.5%	36.1%	57.6%	69.9%	63.0%	68.4%
④ 生活環境が良いため(騒音等がない)	117	159	3	22	26	39	59	31	47	49
	35.7%	42.4%	21.4%	32.8%	30.6%	40.2%	39.1%	37.3%	43.5%	50.0%
⑤ 子育ての公的な支援制度が充実しているため	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0
	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%
⑥ 子育て関連の施設が充実しているため	0	4	0	1	1	1	0	1	0	0
	0.0%	1.1%	0.0%	1.5%	1.2%	1.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%
⑦ 子どもが安心して過ごせる場所・環境が整っているため	25	24	1	7	12	4	6	4	4	11
	7.6%	6.4%	7.1%	10.4%	14.1%	4.1%	4.0%	4.8%	3.7%	11.2%
⑧ 教育費用の負担が少ないため	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0
	0.3%	0.3%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
⑨ 学校教育の内容が充実しているため	0	3	1	0	1	1	0	0	0	0
	0.0%	0.8%	7.1%	0.0%	1.2%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑩ 日常の買い物に便利のため	91	117	4	15	11	18	47	26	48	39
	27.7%	31.2%	28.6%	22.4%	12.9%	18.6%	31.1%	31.3%	44.4%	39.8%
⑪ 治安が良いため	76	92	5	19	19	18	27	25	32	23
	23.2%	24.5%	35.7%	28.4%	22.4%	18.6%	17.9%	30.1%	29.6%	23.5%
⑫ レジャー・娯楽施設等の楽しむ場所が充実しているため	12	10	1	2	2	3	5	5	1	3
	3.7%	2.7%	7.1%	3.0%	2.4%	3.1%	3.3%	6.0%	0.9%	3.1%
⑬ 住宅価格(家賃)や設備等の住宅環境が良いため	18	14	2	4	5	6	8	1	3	3
	5.5%	3.7%	14.3%	6.0%	5.9%	6.2%	5.3%	1.2%	2.8%	3.1%
⑭ 医療・福祉施設が充実しているため	14	14	0	3	0	2	3	2	8	10
	4.3%	3.7%	0.0%	4.5%	0.0%	2.1%	2.0%	2.4%	7.4%	10.2%
⑮ 老後の医療・福祉等の費用負担が少ないため	4	5	0	0	0	0	2	0	1	6
	1.2%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.9%	6.1%
⑯ 親・親戚・知人関係、結婚のため	129	176	4	35	47	54	63	34	39	29
	39.3%	46.9%	28.6%	52.2%	55.3%	55.7%	41.7%	41.0%	36.1%	29.6%
⑰ 歴史・文化等を大切にしているため	32	9	2	5	4	6	8	2	8	6
	9.8%	2.4%	14.3%	7.5%	4.7%	6.2%	5.3%	2.4%	7.4%	6.1%
⑱ その他	24	25	1	4	8	8	11	3	9	5
	7.3%	6.7%	7.1%	6.0%	9.4%	8.2%	7.3%	3.6%	8.3%	5.1%
N=	328	375	14	67	85	97	151	83	108	98

	地区							
	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区
① 通勤に便利のため	19 21.1%	27 20.3%	20 16.8%	4 5.9%	11 9.2%	10 13.3%	3 6.0%	4 8.5%
② 雇用・やりがいのある仕事があるため	5 5.6%	4 3.0%	5 4.2%	3 4.4%	7 5.8%	4 5.3%	1 2.0%	0 0.0%
③ 自然環境が良いため	34 37.8%	51 38.3%	58 48.7%	42 61.8%	80 66.7%	49 65.3%	46 92.0%	32 68.1%
④ 生活環境が良いため(騒音等がない)	33 36.7%	43 32.3%	33 27.7%	25 36.8%	59 49.2%	31 41.3%	27 54.0%	24 51.1%
⑤ 子育ての公的な支援制度が充実しているため	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	1 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥ 子育て関連の施設が充実しているため	0 0.0%	2 1.5%	1 0.8%	1 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦ 子どもが安心して過ごせる場所・環境が整っているため	2 2.2%	5 3.8%	8 6.7%	5 7.4%	4 3.3%	7 9.3%	3 6.0%	15 31.9%
⑧ 教育費用の負担が少ないため	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%
⑨ 学校教育の内容が充実しているため	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	2 4.3%
⑩ 日常の買い物に便利のため	55 61.1%	62 46.6%	43 36.1%	12 17.6%	19 15.8%	13 17.3%	2 4.0%	2 4.3%
⑪ 治安が良いため	15 16.7%	24 18.0%	27 22.7%	21 30.9%	31 25.8%	22 29.3%	18 36.0%	10 21.3%
⑫ レジャー・娯楽施設等の楽しむ場所が充実しているため	4 4.4%	2 1.5%	0 0.0%	3 4.4%	4 3.3%	4 5.3%	3 6.0%	2 4.3%
⑬ 住宅価格(家賃)や設備等の住宅環境が良いため	2 2.2%	5 3.8%	5 4.2%	5 7.4%	6 5.0%	4 5.3%	2 4.0%	3 6.4%
⑭ 医療・福祉施設が充実しているため	3 3.3%	11 8.3%	6 5.0%	0 0.0%	5 4.2%	2 2.7%	0 0.0%	1 2.1%
⑮ 老後の医療・福祉等の費用負担が少ないため	2 2.2%	1 0.8%	2 1.7%	1 1.5%	2 1.7%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%
⑯ 親・親戚・知人関係、結婚のため	45 50.0%	69 51.9%	52 43.7%	28 41.2%	48 40.0%	33 44.0%	17 34.0%	13 27.7%
⑰ 歴史・文化等を大切にしているため	6 6.7%	9 6.8%	11 9.2%	4 5.9%	7 5.8%	3 4.0%	0 0.0%	1 2.1%
⑱ その他	4 4.4%	9 6.8%	14 11.8%	8 11.8%	6 5.0%	6 8.0%	0 0.0%	2 4.3%
N=	90	133	119	68	120	75	50	47

《クロス集計まとめ》

【性別】

- 男性では「自然環境が良いため」「歴史・文化等を大切にしているため」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性では「親・親戚・知人関係、結婚のため」「生活環境が良いため（騒音等がない）」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

- 年齢が高くなるにつれ、「通勤に便利のため」の回答割合が低くなる傾向がみられます。
- 10 歳代、50 歳代～70 歳以上では「自然環境が良いため」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 20 歳代～40 歳代では「親・親戚・知人関係、結婚のため」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 40 歳代～70 歳以上では「生活環境が良いため（騒音等がない）」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。

【地区】

- A地区（尾崎・尾崎町）、B地区（下出・黒田・新町・鳥取・シーサイド貝掛・府営石田団地）、C地区（鳥取中・自然田・石田・桑畑・さつき台）では「日常の買い物に便利のため」「親・親戚・知人関係、結婚のため」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- G地区（田山・南山中・箱の浦・いずみが丘・東和苑・鴻の台・プロヴァンスの丘）では「自然環境が良いため」「生活環境が良いため（騒音等がない）」「治安が良いため」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- H地区（桃の木台）では「子どもが安心して過ごせる場所・環境が整っているため」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。

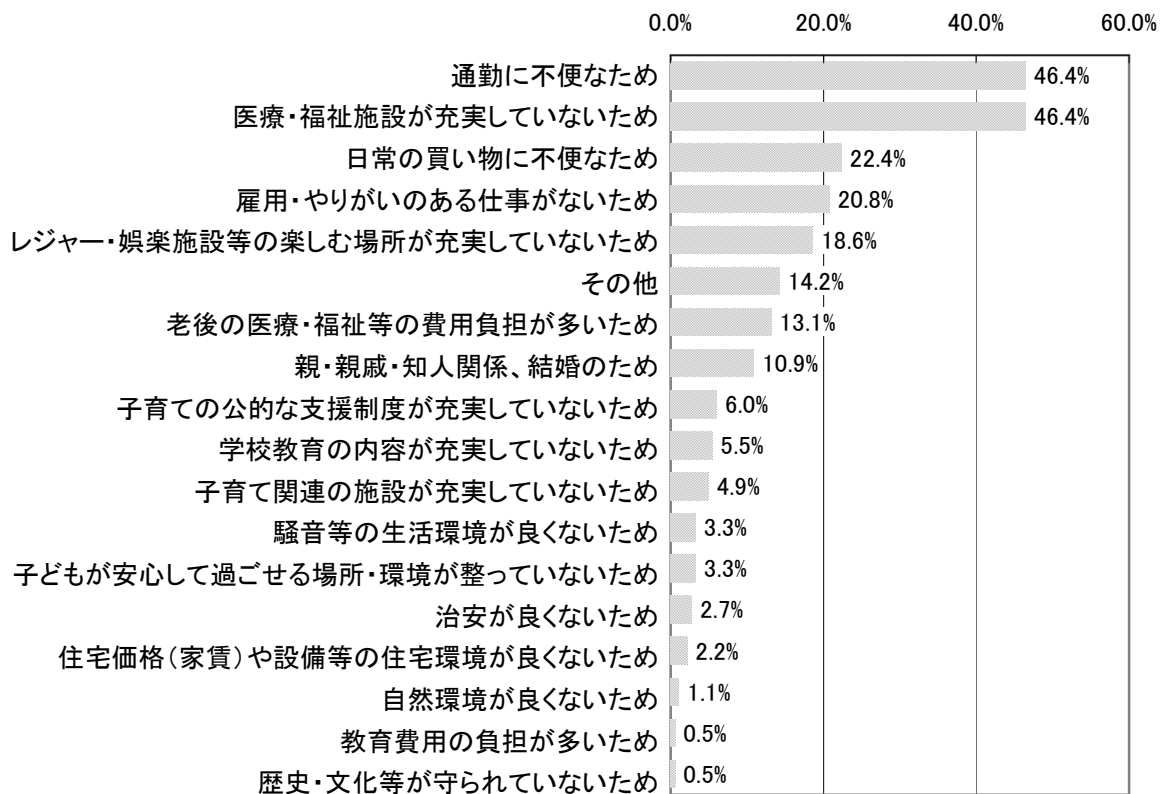
3. 阪南市以外に移りたい理由

阪南市以外に移りたい（移る計画がある）人にお聞きます。

阪南市以外に移りたい理由として、あてはまるものを最大3つまで選んでください。

※前設問の「②阪南市以外に移りたい（移る計画がある）」を回答した 183 名の理由を示しています。

N = 183		
	回答数	構成比
① 通勤に不便なため	85	46.4%
② 雇用・やりがいのある仕事がないため	38	20.8%
③ 自然環境が良くないため	2	1.1%
④ 騒音等の生活環境が良くないため	6	3.3%
⑤ 子育ての公的な支援制度が充実していないため	11	6.0%
⑥ 子育て関連の施設が充実していないため	9	4.9%
⑦ 子どもが安心して過ごせる場所・環境が整っていないため	6	3.3%
⑧ 教育費用の負担が多いため	1	0.5%
⑨ 学校教育の内容が充実していないため	10	5.5%
⑩ 日常の買い物に不便なため	41	22.4%
⑪ 治安が良くないため	5	2.7%
⑫ レジャー・娯楽施設等の楽しむ場所が充実していないため	34	18.6%
⑬ 住宅価格(家賃)や設備等の住宅環境が良くないため	4	2.2%
⑭ 医療・福祉施設が充実していないため	85	46.4%
⑮ 老後の医療・福祉等の費用負担が多いため	24	13.1%
⑯ 親・親戚・知人関係、結婚のため	20	10.9%
⑰ 歴史・文化等が守られていないため	1	0.5%
⑱ その他	26	14.2%



《全体まとめ》

- 「通勤に不便なため」「医療・福祉施設が充実していないため」が46.4%と最も多く、次いで「日常の買い物に不便なため」が22.4%となっています。

	性別		年齢							
	男	女	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳以上
① 通勤に不便なため	28 41.8%	57 49.1%	11 84.6%	30 63.8%	11 37.9%	21 53.8%	6 31.6%	0 0.0%	5 25.0%	1 10.0%
② 雇用・やりがいのある仕事がないため	11 16.4%	27 23.3%	3 23.1%	17 36.2%	6 20.7%	8 20.5%	3 15.8%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%
③ 自然環境が良くないため	1 1.5%	1 0.9%	0 0.0%	1 2.1%	1 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
④ 騒音等の生活環境が良くないため	3 4.5%	3 2.6%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.8%	1 16.7%	1 5.0%	0 0.0%
⑤ 子育ての公的な支援制度が充実していないため	3 4.5%	8 6.9%	0 0.0%	3 6.4%	2 6.9%	6 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑥ 子育て関連の施設が充実していないため	4 6.0%	5 4.3%	1 7.7%	3 6.4%	3 10.3%	2 5.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑦ 子どもが安心して過ごせる場所・環境が整っていないため	2 3.0%	4 3.4%	0 0.0%	2 4.3%	3 10.3%	1 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧ 教育費用の負担が多いため	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑨ 学校教育の内容が充実していないため	2 3.0%	8 6.9%	1 7.7%	1 2.1%	3 10.3%	3 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	1 10.0%
⑩ 日常の買い物に不便なため	17 25.4%	24 20.7%	4 30.8%	6 12.8%	5 17.2%	9 23.1%	5 26.3%	3 50.0%	5 25.0%	4 40.0%
⑪ 治安が良くないため	0 0.0%	5 4.3%	0 0.0%	1 2.1%	2 6.9%	1 2.6%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
⑫ レジャー・娯楽施設等の楽しむ場所が充実していないため	9 13.4%	25 21.6%	7 53.8%	13 27.7%	5 17.2%	3 7.7%	3 15.8%	1 16.7%	1 5.0%	1 10.0%
⑬ 住宅価格(家賃)や設備等の住宅環境が良くないため	2 3.0%	2 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.4%	2 5.1%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑭ 医療・福祉施設が充実していないため	38 56.7%	47 40.5%	3 23.1%	17 36.2%	15 51.7%	20 51.3%	14 73.7%	2 33.3%	10 50.0%	4 40.0%
⑮ 老後の医療・福祉等の費用負担が多いため	11 16.4%	13 11.2%	0 0.0%	1 2.1%	1 3.4%	5 12.8%	6 31.6%	2 33.3%	8 40.0%	1 10.0%
⑯ 親・親戚・知人関係、結婚のため	7 10.4%	13 11.2%	1 7.7%	5 10.6%	8 27.6%	1 2.6%	2 10.5%	0 0.0%	3 15.0%	0 0.0%
⑰ 歴史・文化等を守られていないため	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%
⑱ その他	13 19.4%	13 11.2%	1 7.7%	9 19.1%	2 6.9%	6 15.4%	3 15.8%	0 0.0%	4 20.0%	1 10.0%
N=	67	116	13	47	29	39	19	6	20	10

	地区							
	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区
① 通勤に不便なため	11 52.4%	7 30.4%	10 35.7%	8 50.0%	24 54.5%	11 44.0%	6 50.0%	8 57.1%
② 雇用・やりがいのある仕事がないため	3 14.3%	5 21.7%	7 25.0%	4 25.0%	12 27.3%	3 12.0%	1 8.3%	3 21.4%
③ 自然環境が良くないため	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
④ 騒音等の生活環境が良くないため	0 0.0%	1 4.3%	1 3.6%	2 12.5%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%
⑤ 子育ての公的な支援制度が充実していないため	3 14.3%	1 4.3%	3 10.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 12.0%	0 0.0%	1 7.1%
⑥ 子育て関連の施設が充実していないため	0 0.0%	1 4.3%	3 10.7%	0 0.0%	2 4.5%	1 4.0%	0 0.0%	2 14.3%
⑦ 子どもが安心して過ごせる場所・環境が整っていないため	0 0.0%	2 8.7%	3 10.7%	0 0.0%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑧ 教育費用の負担が多いため	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%
⑨ 学校教育の内容が充実していないため	0 0.0%	3 13.0%	4 14.3%	0 0.0%	3 6.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑩ 日常の買い物に不便なため	2 9.5%	0 0.0%	2 7.1%	5 31.3%	11 25.0%	12 48.0%	7 58.3%	2 14.3%
⑪ 治安が良くないため	0 0.0%	2 8.7%	1 3.6%	1 6.3%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑫ レジャー・娯楽施設等の楽しむ場所が充実していないため	6 28.6%	5 21.7%	7 25.0%	3 18.8%	7 15.9%	3 12.0%	1 8.3%	2 14.3%
⑬ 住宅価格(家賃)や設備等の住宅環境が良くないため	1 4.8%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.3%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑭ 医療・福祉施設が充実していないため	8 38.1%	10 43.5%	13 46.4%	7 43.8%	22 50.0%	9 36.0%	6 50.0%	10 71.4%
⑮ 老後の医療・福祉等の費用負担が多いため	1 4.8%	3 13.0%	1 3.6%	6 37.5%	6 13.6%	4 16.0%	0 0.0%	3 21.4%
⑯ 親・親戚・知人関係、結婚のため	2 9.5%	6 26.1%	3 10.7%	0 0.0%	4 9.1%	4 16.0%	1 8.3%	0 0.0%
⑰ 歴史・文化等を守られていないため	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
⑱ その他	3 14.3%	3 13.0%	6 21.4%	1 6.3%	8 18.2%	0 0.0%	2 16.7%	3 21.4%
N=	21	23	28	16	44	25	12	14

《クロス集計まとめ》

【性別】

- 男性では「日常の買い物に不便なため」「医療・福祉施設が充実していないため」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性では「通勤に不便なため」「雇用・やりがいのある仕事がないため」「レジャー・娯楽施設等の楽しむ場所が充実していないため」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

- 10 歳代では「通勤に不便なため」が 84.6%を占めており、その他の選択肢では「レジャー・娯楽施設等の楽しむ場所が充実していないため」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 20 歳代では「雇用・やりがいのある仕事がないため」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 10 歳代、20 歳代、40 歳代では「通勤に不便なため」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 50 歳代では「医療・福祉施設が充実していないため」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。

【地区】

- F地区（貝掛・箱作・万葉台・住友金属住宅）、G地区（田山・南山中・箱の浦・いずみが丘・東和苑・鴻の台・プロヴァンスの丘）では「日常の買い物に不便なため」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- H地区（桃の木台）では「医療・福祉施設が充実していないため」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。

第4章 阪南市の現状と今後の施策について

1. はじめに

阪南市の施策ごとの現状について、施策の内容が達成されているか、また、それはどれくらい重要かについての回答結果です。

ここでは、以下の構成で説明します。

(1) 施策ごとの達成度・重要度

施策ごとの達成度・重要度を5段階で回答した「回答の構成比」を示します。

(2) 達成度・重要度の指数化

施策の達成度・重要度の回答をもとに、それぞれの施策の達成度・重要度を点数化（指数化）し、施策ごとの達成度・重要度の比較結果を示します。

点数の計算方法はP.32で説明します。

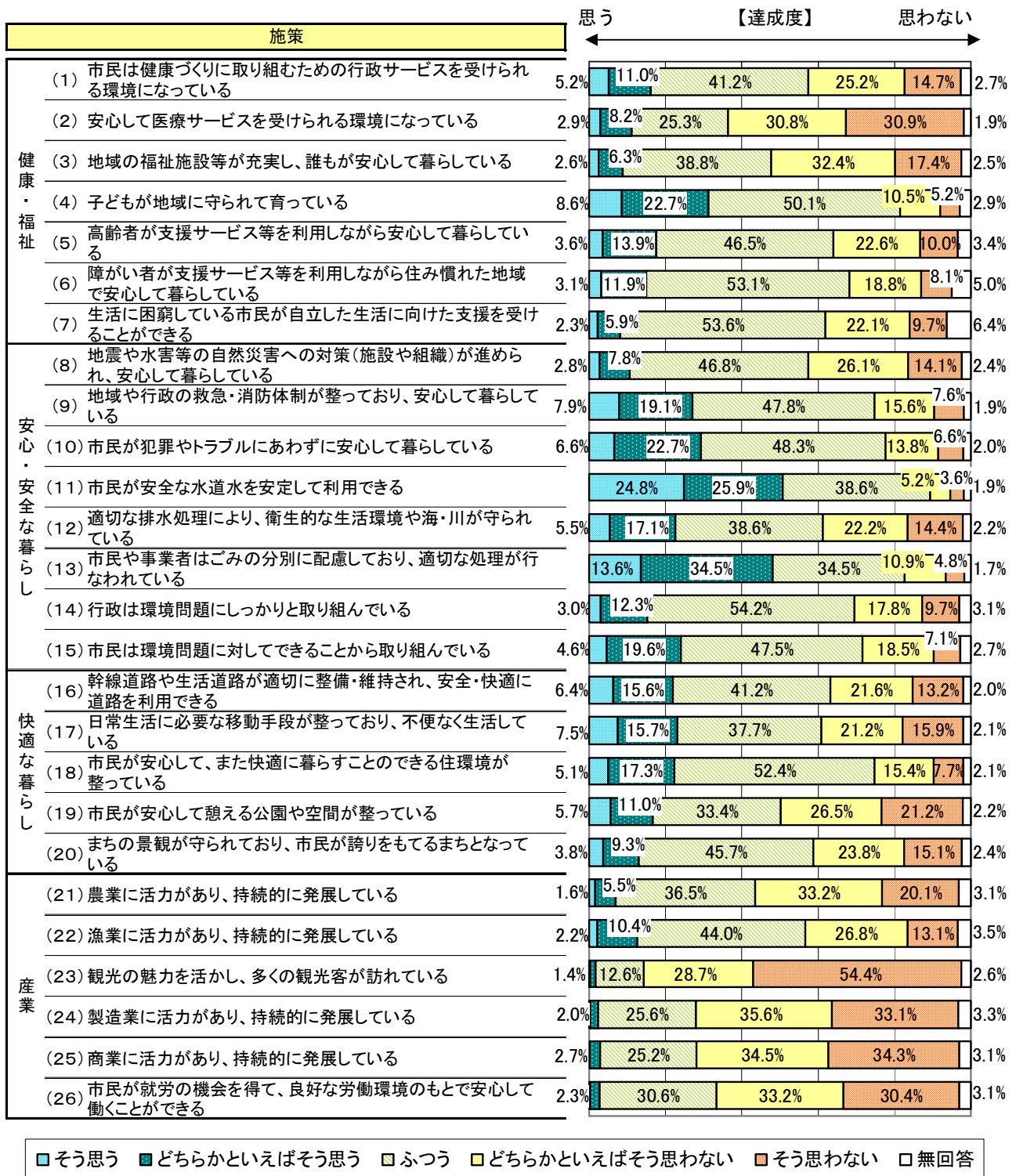
(3) ポートフォリオ

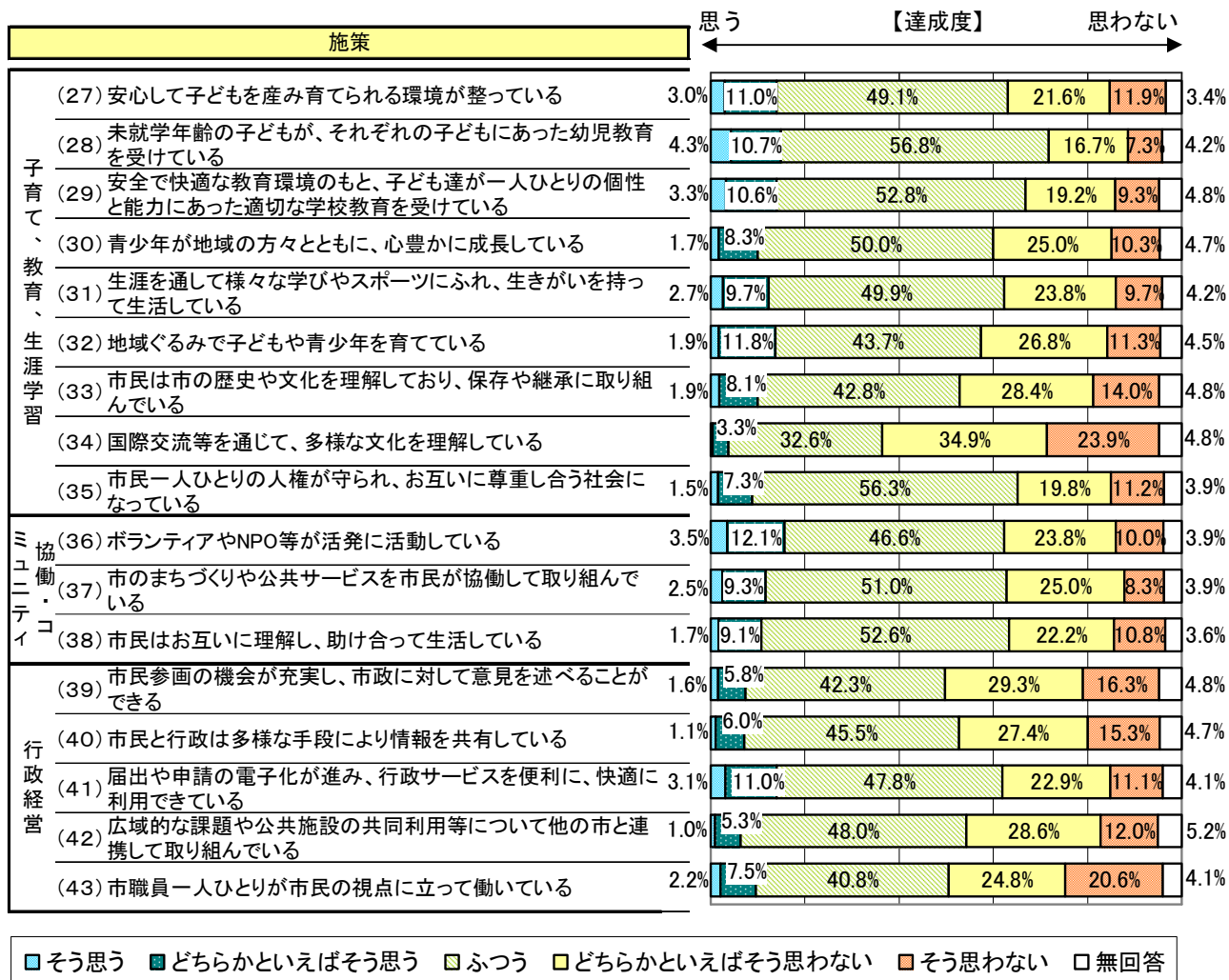
ポートフォリオ分析とは、各施策についての「重要度指数」や「達成度指数」をもとに散布図に表すことで、それぞれの施策の実現に向けた取り組みの方向性や必要性、優先度などを分析するものです。

ポートフォリオ分析の考え方等、詳しくはP.36で説明します。

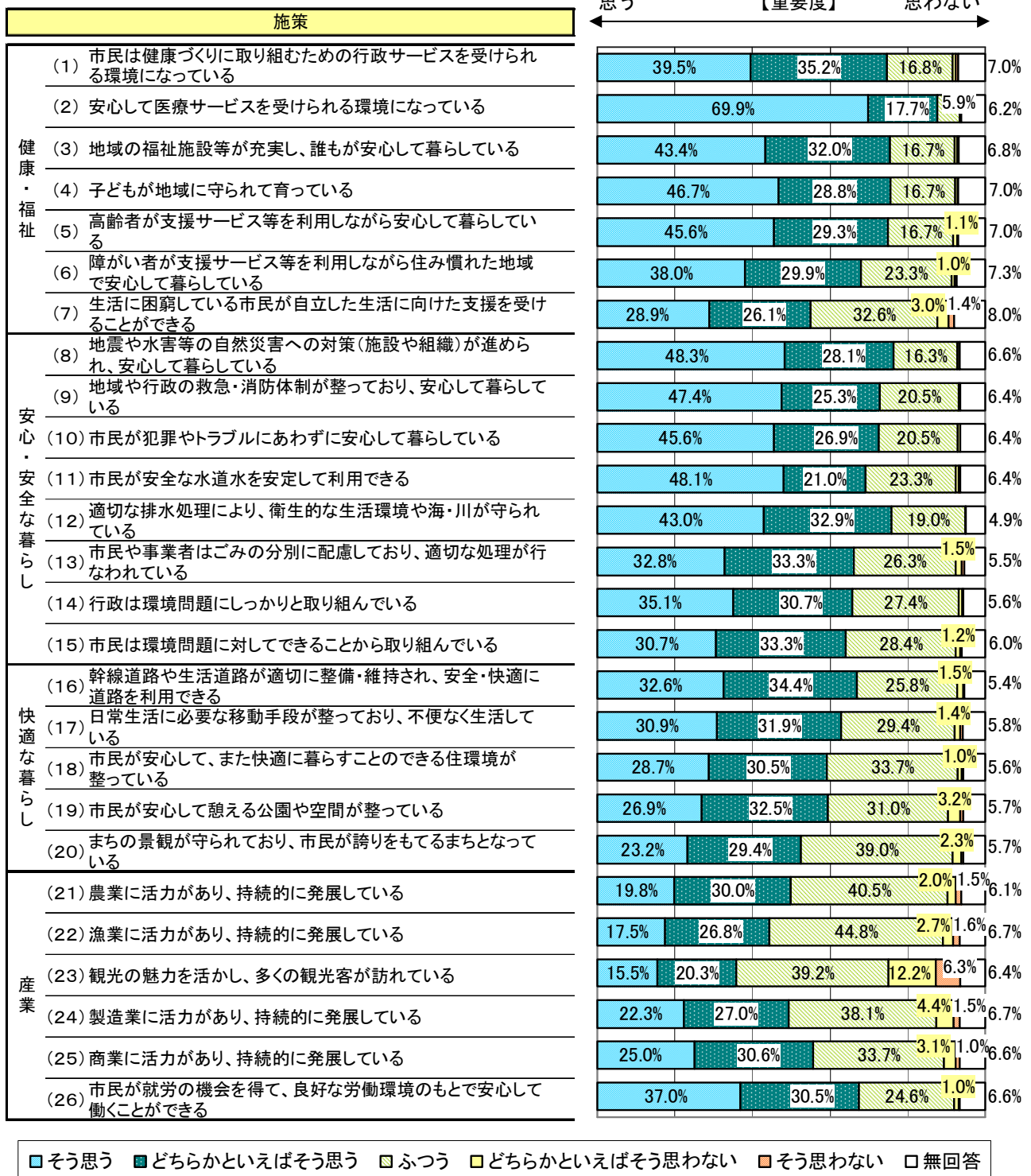
2. 施策ごとの達成度・重要度

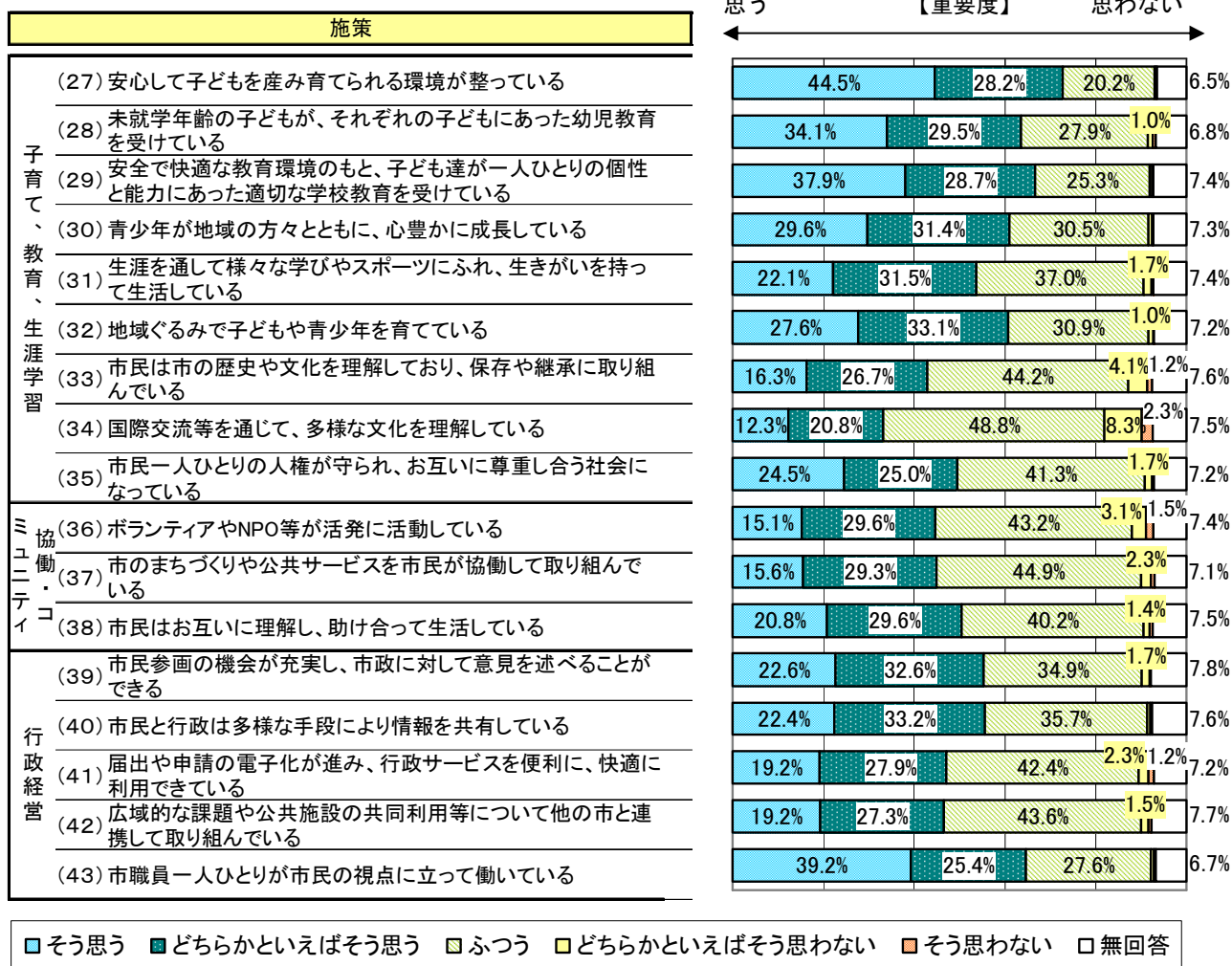
(1) 達成度





(2) 重要度

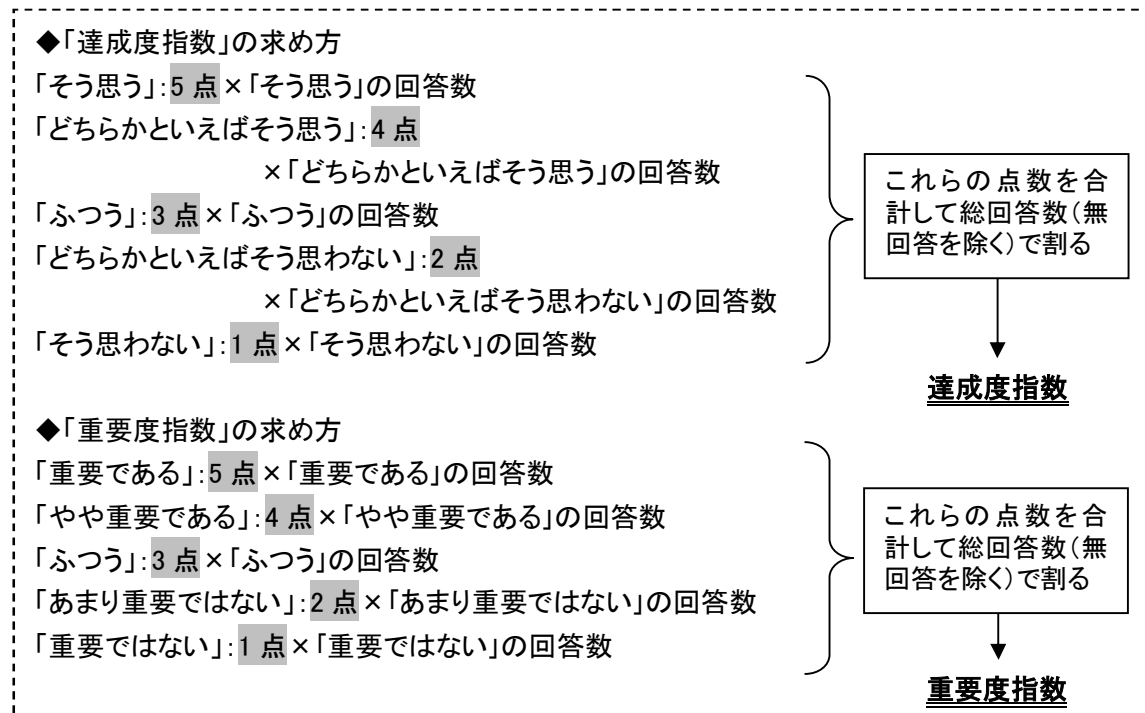




3. 達成度・重要度の指数化

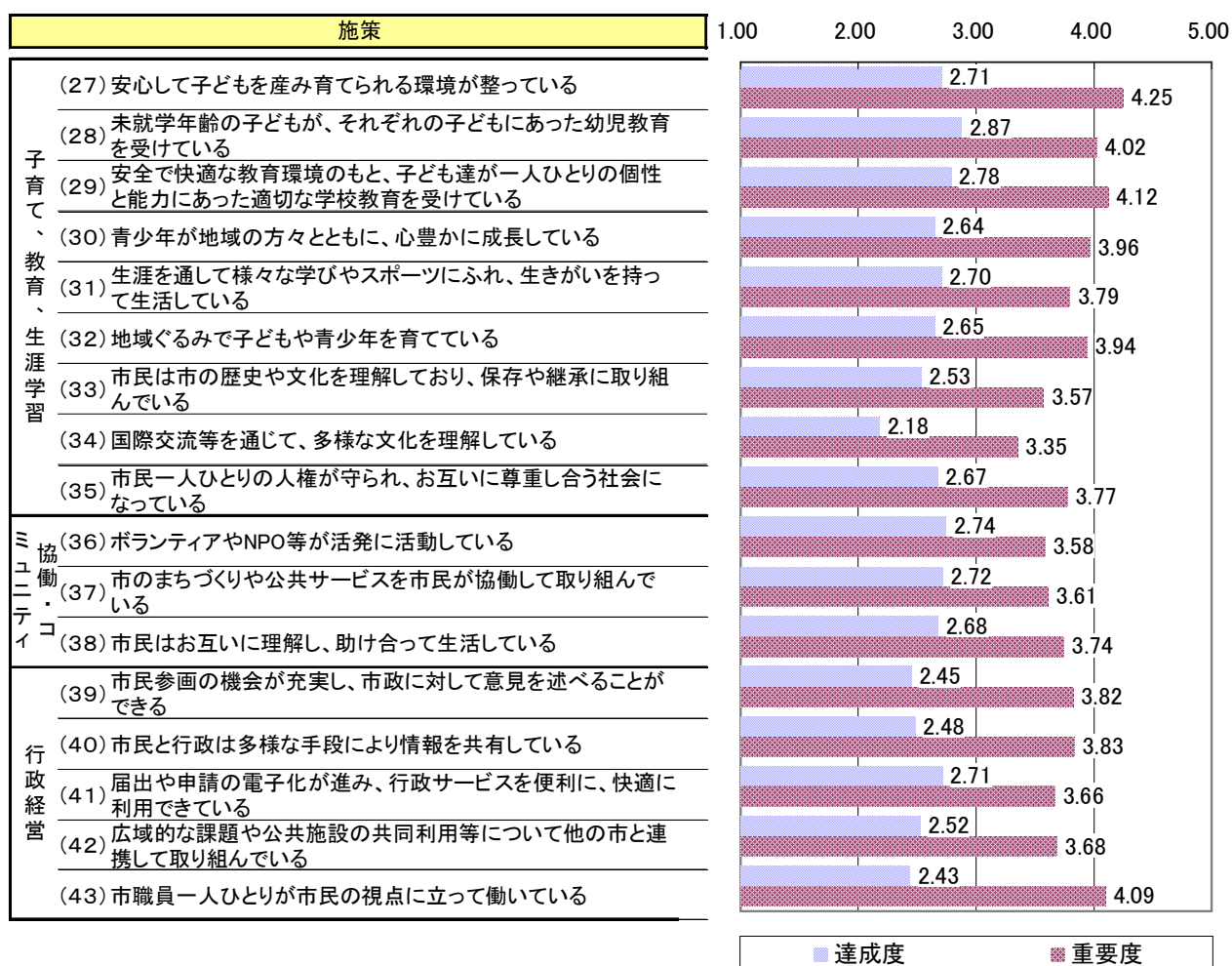
(1) 指数化とは

「指数化」とは、施策の達成度・重要度を比べられるように、それぞれの施策の達成度・重要度を点数化（指数化）したものです。点数の計算方法は以下に示すとおりです。



(2) 指数化の結果





《全体まとめ》

- 達成度指数が高い施策として、「(1 1) 市民が安全な水道水を安定して利用できる」(3.64)、「(1 3) 市民や事業者はごみの分別に配慮しており、適切な処理が行なわれている」(3.42)、「(4) 子どもが地域に守られて育っている」(3.20)などが挙げられます。
- 達成度指数が低い施策として、「(2 3) 観光の魅力を活かし、多くの観光客が訪れている」(1.61)、「(2 5) 商業に活力があり、持続的に発展している」(1.97)、「(2 4) 製造業に活力があり、持続的に発展している」(1.98)などが挙げられます。達成度指数の下位4施策は、すべて産業に関する施策となっています。
- 重要度指数が高い施策として、「(2) 安心して医療サービスを受けられる環境になっている」(4.67)、「(8) 地震や水害等の自然災害への対策(施設や組織)が進められ、安心して暮らしている」(4.33)、「(4) 子どもが地域に守られて育っている」(4.30)などが挙げられます。

4. ポートフォリオ分析

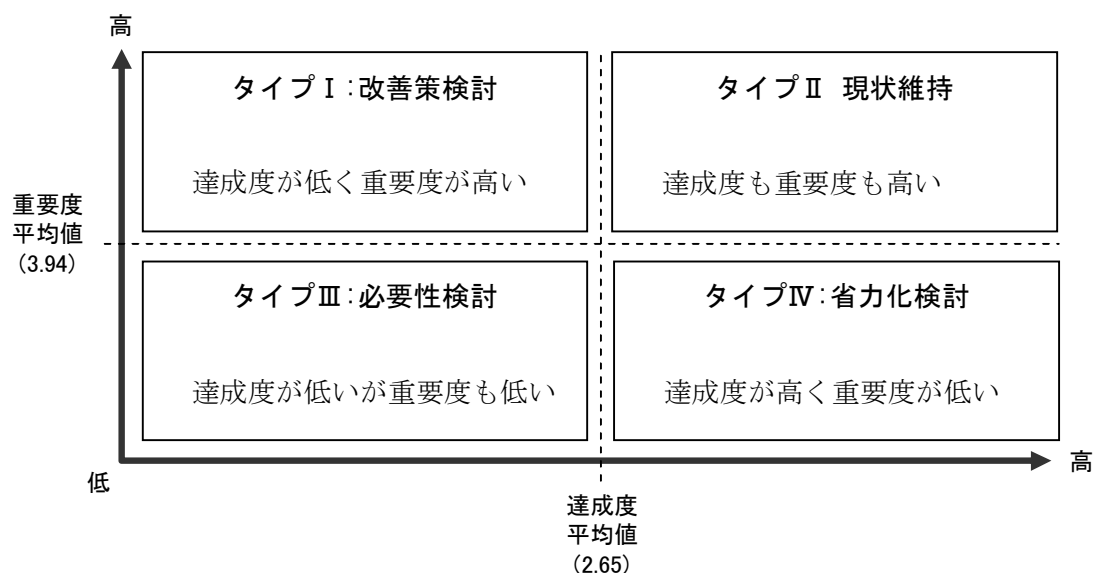
(1) ポートフォリオ分析とは

ポートフォリオ分析とは、各施策についての「重要度指数」や「達成度指数」をもとに散布図に表すことで、それぞれの施策の実現に向けた取り組みの方向性や必要性、優先度などを分析するものです。

「達成度指数」は、まちづくりに対する市民の評価であるといえ、行政・市民が協力して、達成度をより高める努力をすることが求められます。一方、「重要度指数」は市民の価値観であるといえ、総合的な評価を高めるために、まちづくりの方向性検討において十分に配慮すべきものと言えます。

《ポートフォリオ分析の考え方》

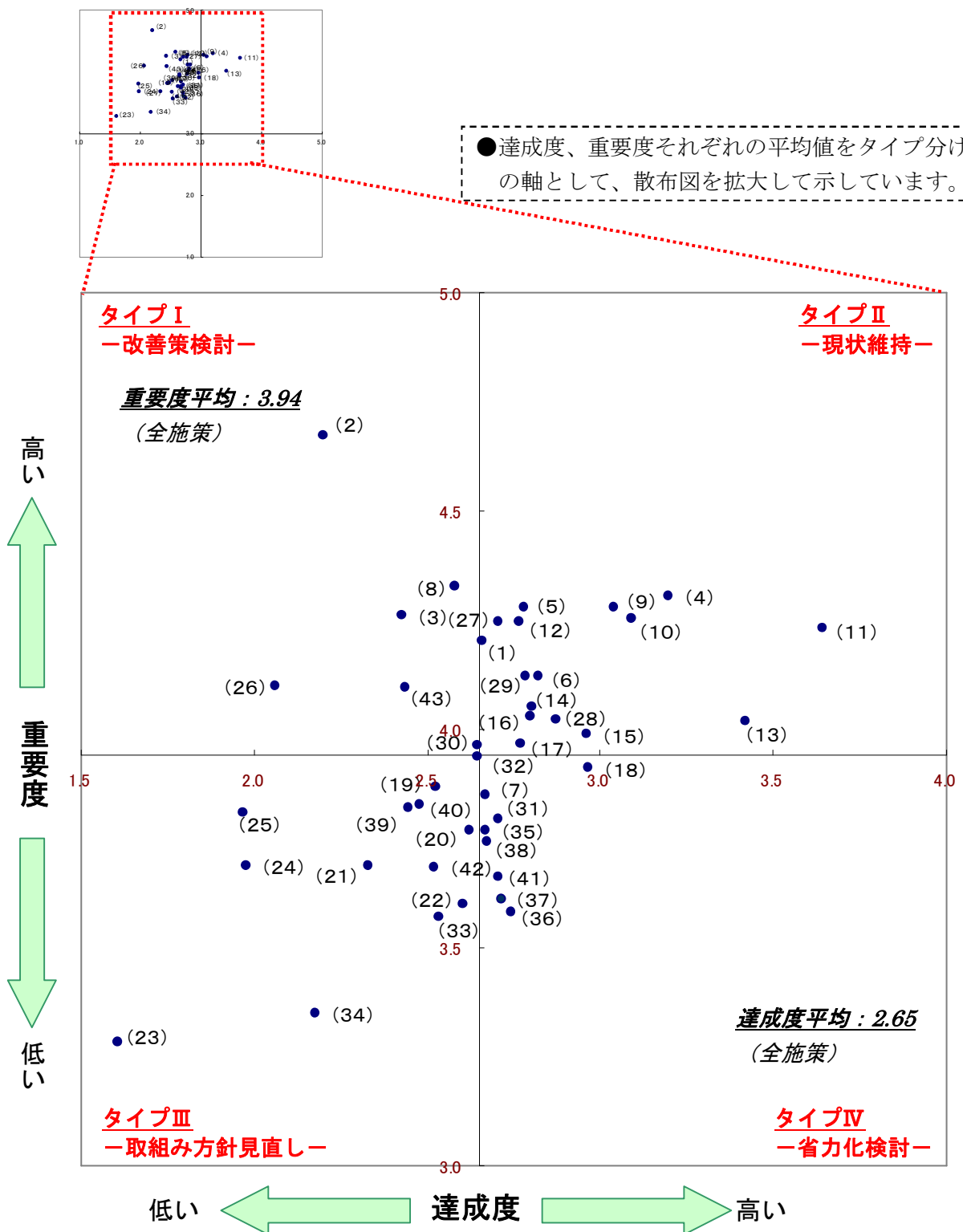
ポートフォリオのグラフは横軸が「達成度指数」を表し、縦軸が「重要度指数」を表しており、全施策の「達成度指数」の平均値と「重要度指数」の平均値を基準にしてグラフの範囲を大きく4つのタイプ（下図）に分類しています。ここで言う「高い」「低い」は、ある施策の「達成度」と「重要度」の評価が、他の施策に対して「相対的に高い」か、「相対的に低い」かを意味しています。



分類	求められること
タイプⅠ 改善策検討	達成度が低く、重要度が高いことから、最優先で改善策を検討しなければならない施策
タイプⅡ 現状維持	重要度、達成度ともに高いことから、引き続き達成度を維持していくべき施策
タイプⅢ 必要性検討	達成度を高める取り組みが必要なのか、重要度が低いことから、必要性も含めて見直しを検討すべきか、あるいは重要度の認識共有化が必要か等、今後の取り組み方針の見直しが求められる施策
タイプⅣ 省力化検討	達成度は高いが重要度が低いことから、このままの状態を保つとともに、今後の取り組みでは、力の入れ方について見直しを検討すべき施策

(2) ポートフォリオ分析結果

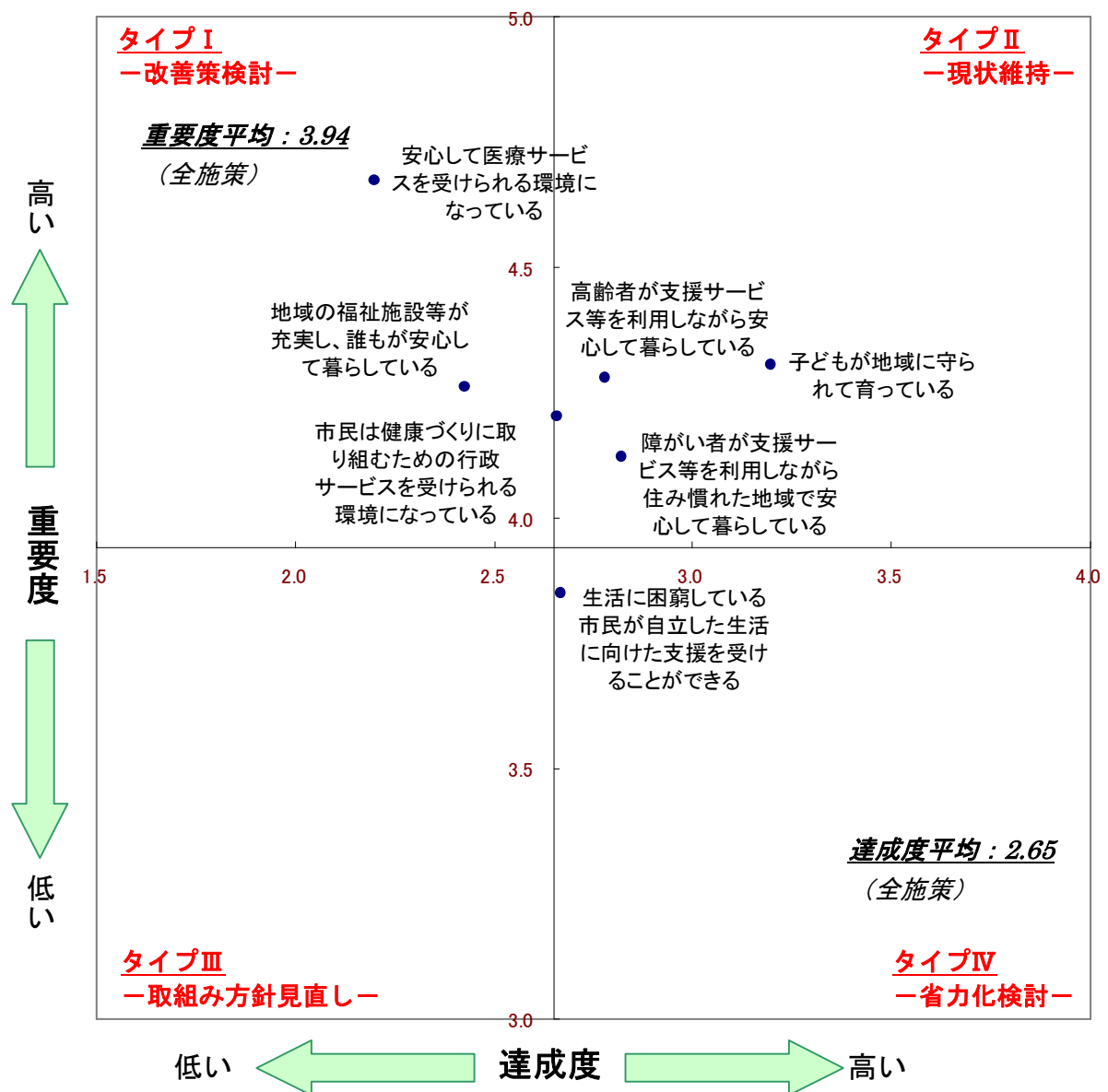
《全施策》



《ポートフォリオ分析（全施策）まとめ》

●タイプⅠ（改善策検討）に属する施策は6施策、タイプⅡ（現状維持）に属する施策は16施策、タイプⅢ（必要性検討）に属する施策は12施策、タイプⅣ（省力化検討）に属する施策は8施策、いずれのタイプにも属さない施策が1施策となっています。

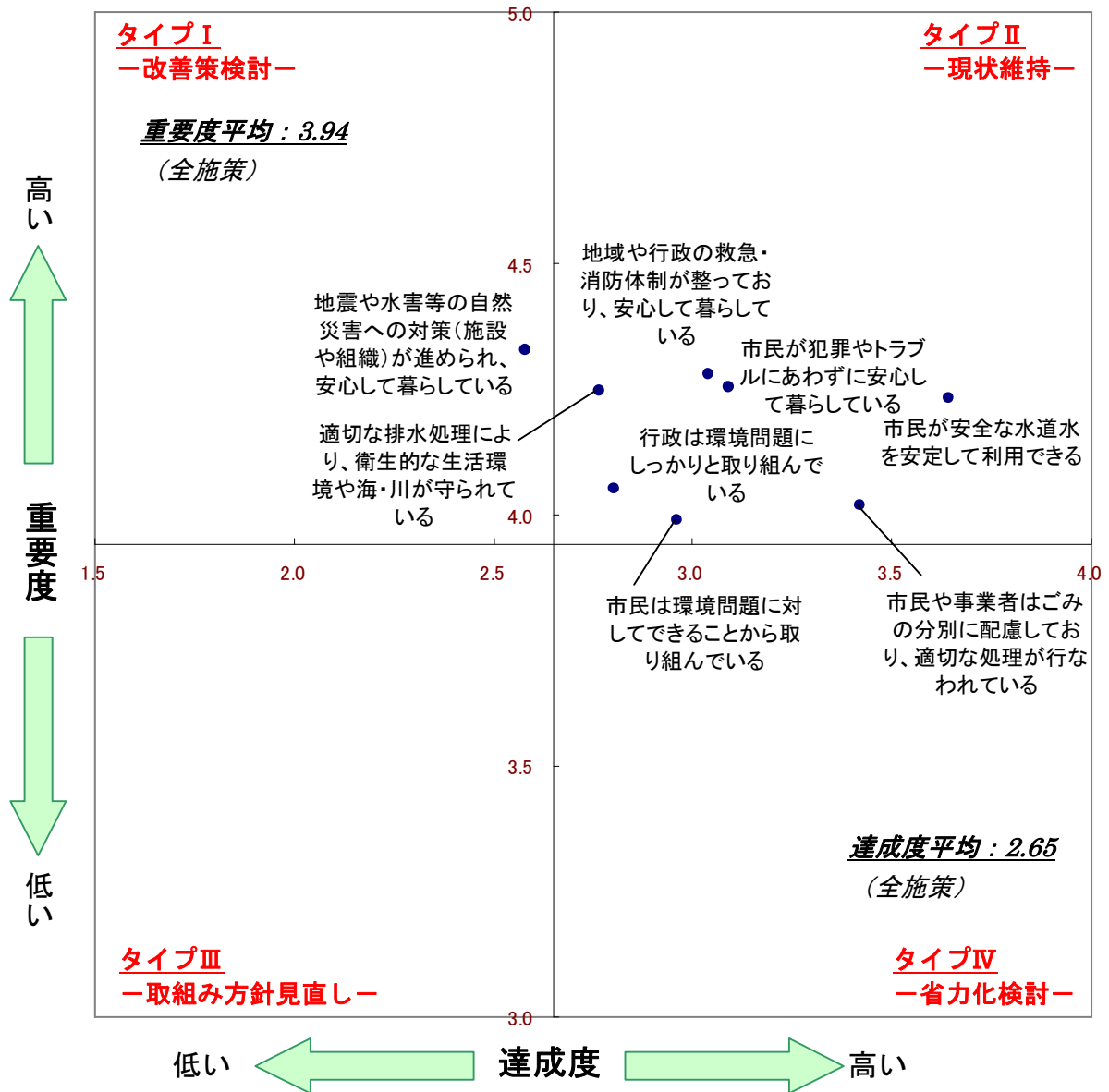
《健康・福祉》



《ポートフォリオ分析（健康・福祉）まとめ》

- 健康・福祉に関する施策は、達成度については施策ごとに差がみられますが、重要度についてはいずれの施策も相対的に高くなっています。
- 中でも「安心して医療サービスを受けられる環境になっている」という施策は、重要度が特に高くなっています。
- 他方、「生活に困窮している市民が自立した生活に向けた支援を受けることができる」という施策は、重要度が相対的に低くなっています。

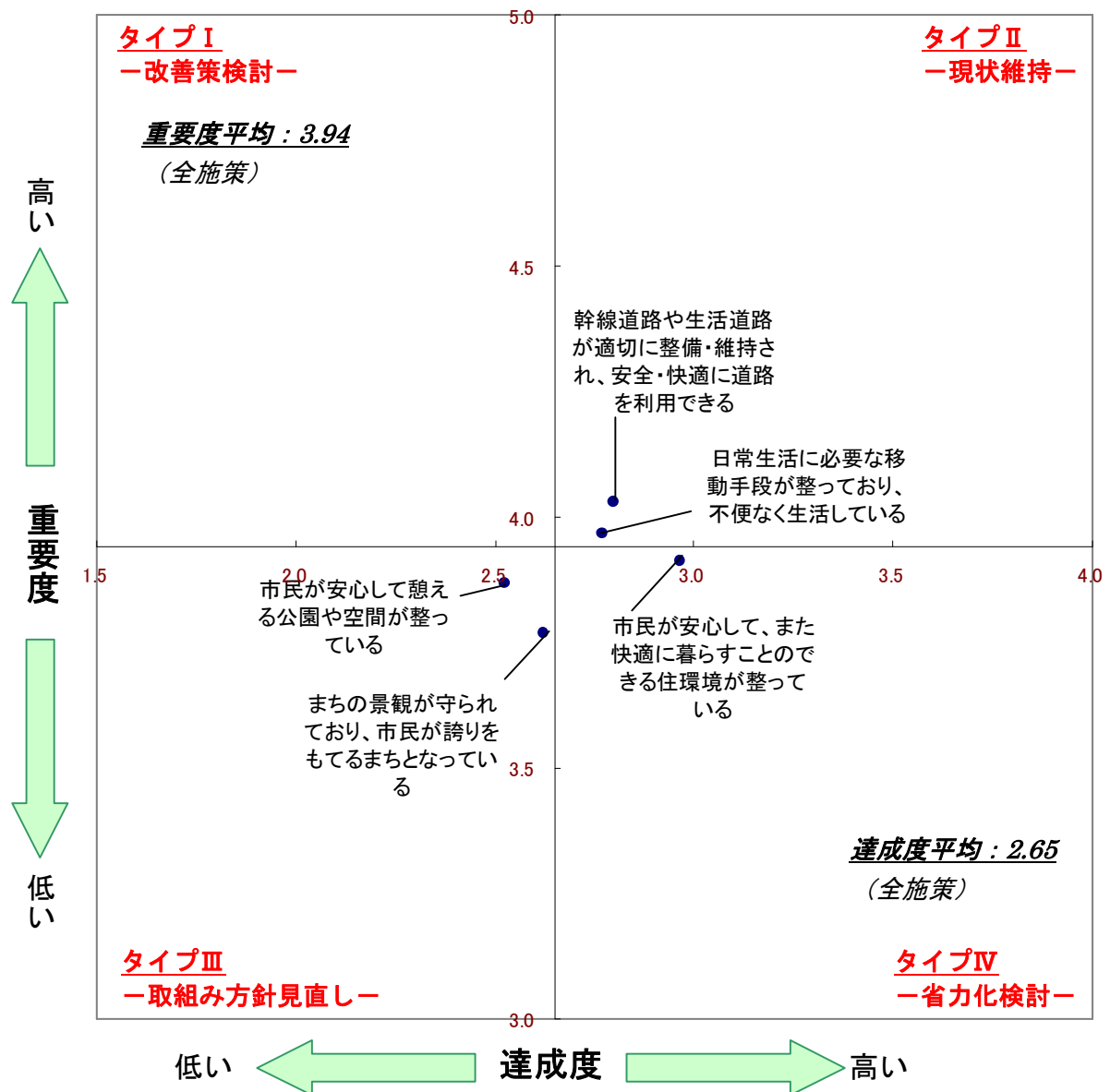
《安心・安全な暮らし》



《ポートフォリオ分析（安心・安全な暮らし）まとめ》

- 「安心・安全な暮らし」に関する施策は、達成度、重要度とも相対的に高くなっています。
- 中でも「市民が安全な水道水を安定して利用できる」という施策は、達成度が特に高くなっています。
- 他方、「地震や水害等の自然災害への対策（施設や組織）が進められ、安心して暮らしている」という施策は、達成度が相対的に低くなっています。

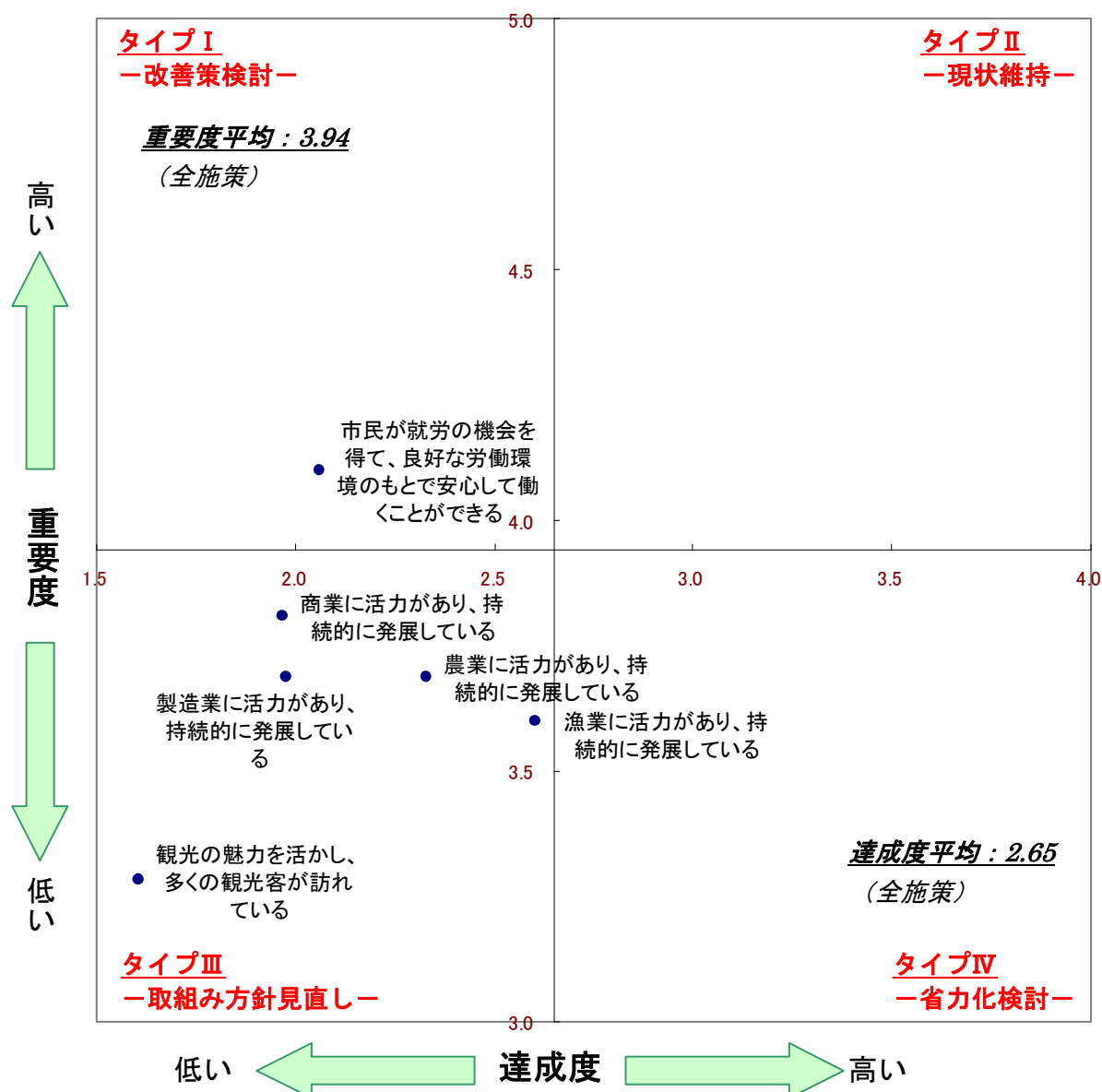
《快適な暮らし》



《ポートフォリオ分析（快適な暮らし）まとめ》

- 「快適な暮らし」に関する施策は達成度、重要度とも全施策の平均に近い値となっています。
- 道路・公共交通・住環境といった内容の施策は達成度、重要度とも相対的に高くなっています。
- 公園、景観といった内容の施策は達成度、重要度とも相対的に低くなっています。

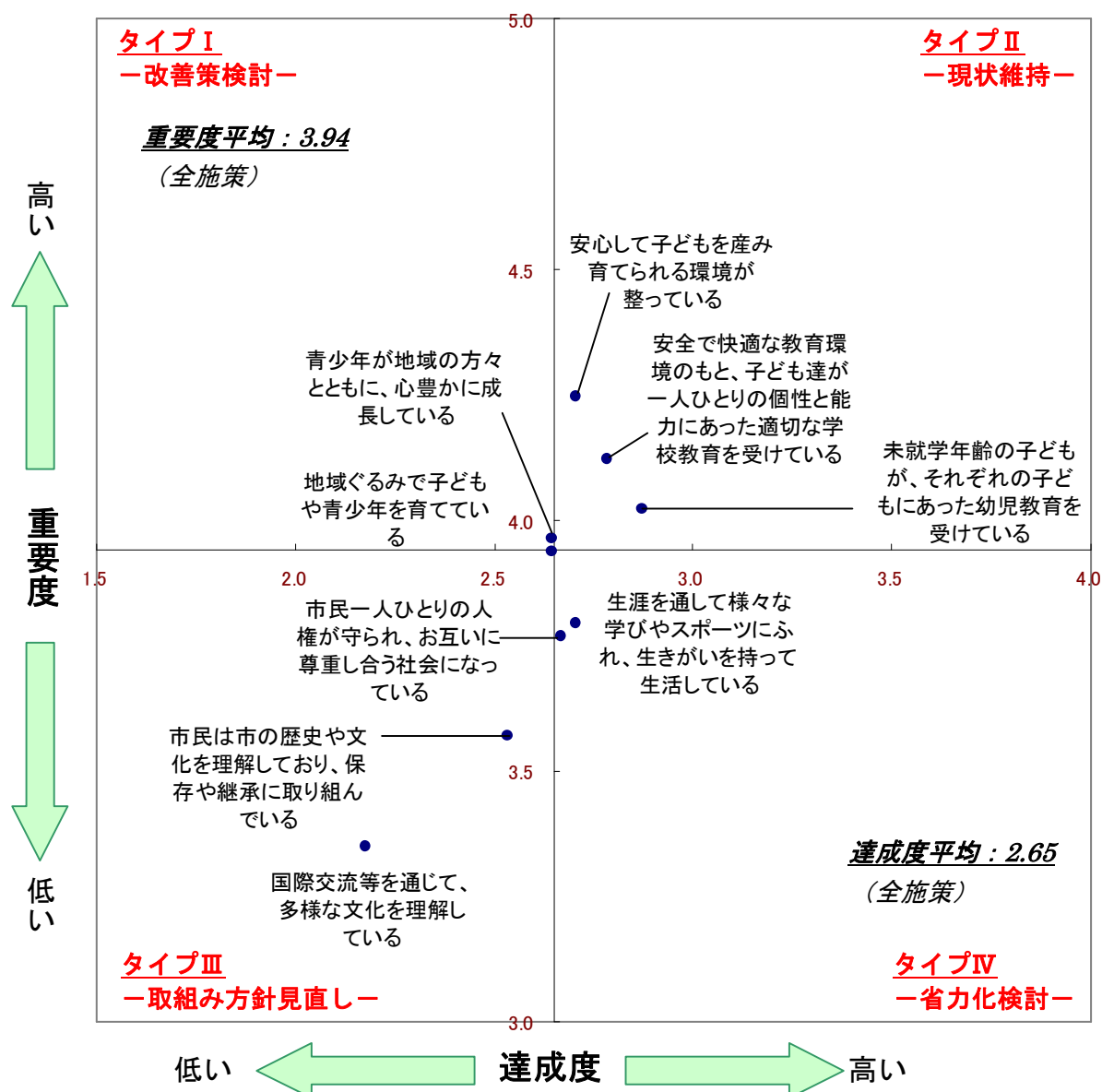
《産業》



《ポートフォリオ分析（産業）まとめ》

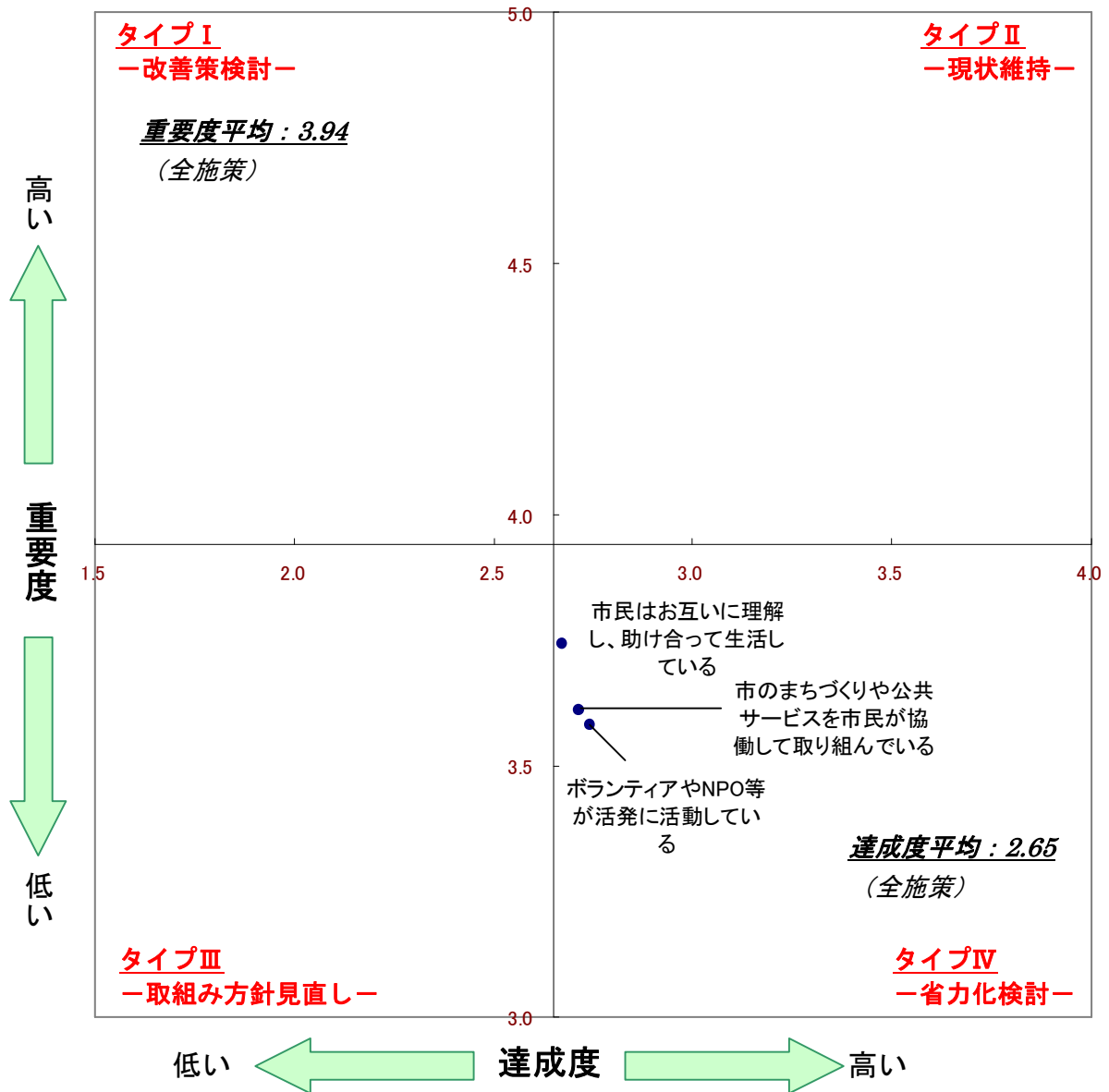
- 「産業」に関する施策は達成度、重要度とも相対的に低くなっています。
- 中でも「観光の魅力を活かし、多くの観光客が訪れている」という施策は、達成度、重要度とも特に低くなっています。
- 他方、就労機会・労働環境や商業といった、市民生活にかかわりの深い施策については、重要度が相対的に高くなっています。

《子育て、教育、生涯学習》



《ポートフォリオ分析（子育て、教育、生涯学習）まとめ》

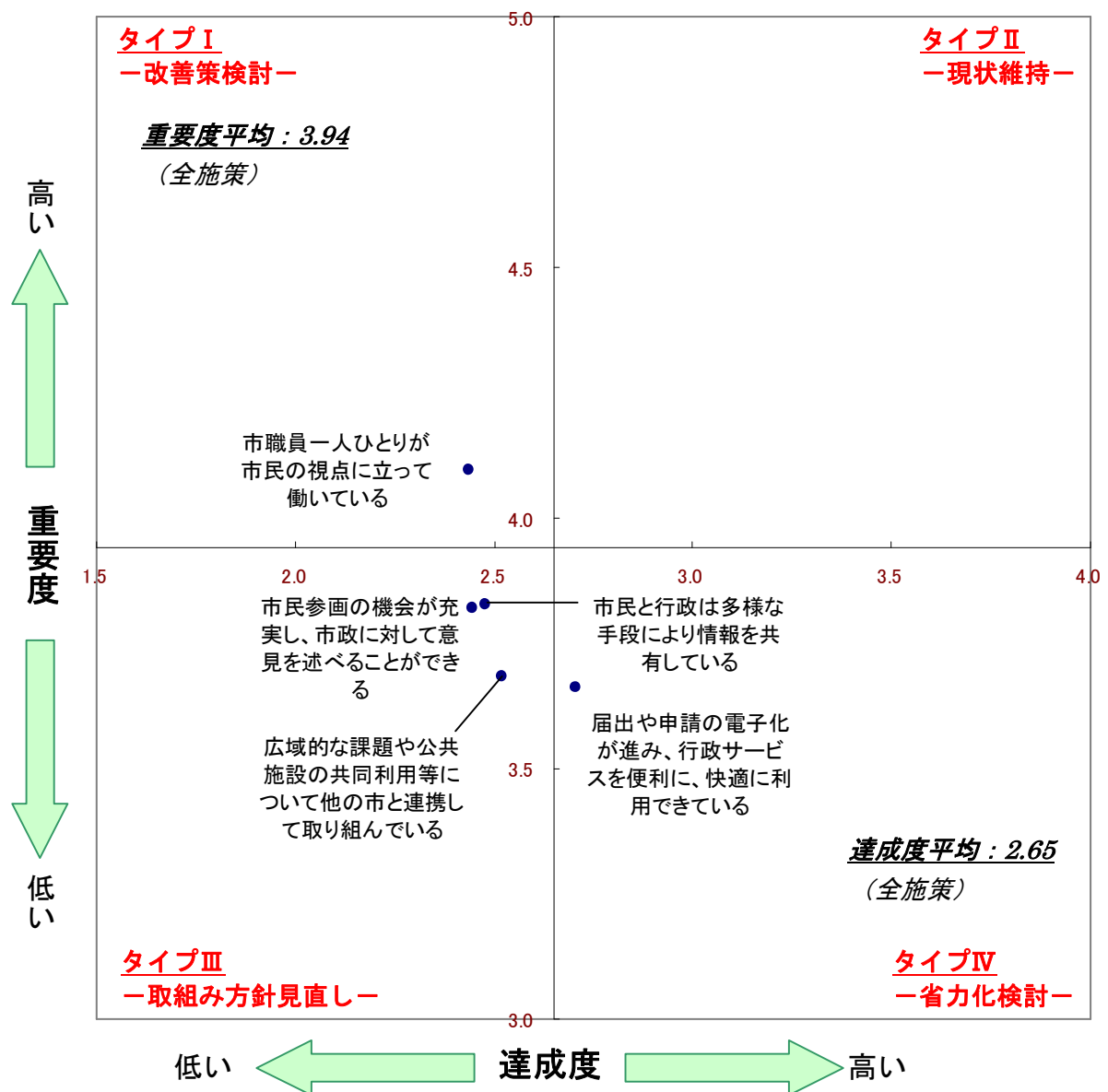
- 「子育て、教育、生涯学習」に関する施策は、達成度は全施策の平均に近い値となっていますが、重要度は施策ごとに差がみられます。
- 子育て、教育といった内容の施策は、重要度が相対的に高くなっています。
- 生涯学習、文化といった内容の施策は、重要度が相対的に低くなっています。中でも、「国際交流等を通じて、多様な文化を理解している」という施策は、重要度が特に低くなっています。



《ポートフォリオ分析（協働・コミュニティ）まとめ》

- 「協働・コミュニティ」に関する施策は、達成度は全施策の平均に近い値となっていますが、重要度は相対的に低くなっています。

《行政経営》



《ポートフォリオ分析（行政経営）まとめ》

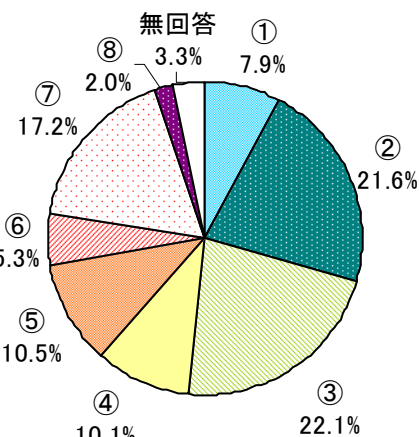
- 「行政経営」に関する施策は達成度、重要度とも相対的に低くなっています。
- しかし、「市職員一人ひとりが市民の視点に立って働いている」という施策は、重要度が相対的に高くなっています。
- また、「届出や申請の電子化が進み、行政サービスを便利に、快適に利用できている」という施策は、達成度が相対的に高くなっています。

第5章 今後のまちづくりについて

1. 産業活性化の方向性

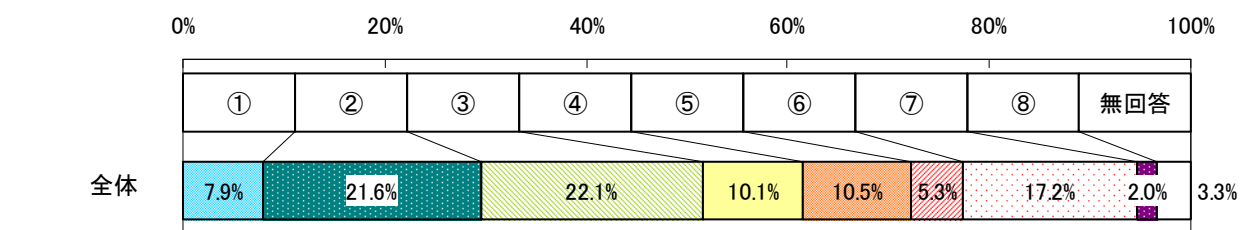
あなたは、阪南市の産業活性化のためには、どのようなまちづくりを展開していくべきだと思いますか。

	回答数	構成比
① 地域産業(例:観光産業)の活性化に重点を置くべき	98	7.9%
② 市内の雇用を創出するため、新たな産業の創造・育成に重点を置くべき	268	21.6%
③ 市内の雇用を早急に創出するため、業種に関係なく外部からの誘致に重点を置くべき	274	22.1%
④ 農産ブランドの確立や農家の担い手育成等、農業振興に重点を置くべき	125	10.1%
⑤ 海という資源を活かし、水産物の流通拡大や担い手育成等、漁業振興に重点を置くべき	131	10.5%
⑥ 多くの観光客が訪れるよう観光資源の掘り起こしやPR等、観光振興に重点を置くべき	66	5.3%
⑦ 地域のイメージアップのため環境への負荷の少ない産業の創造・育成に重点を置くべき	214	17.2%
⑧ その他	25	2.0%
無回答	41	3.3%
合計	1,242	100.0%

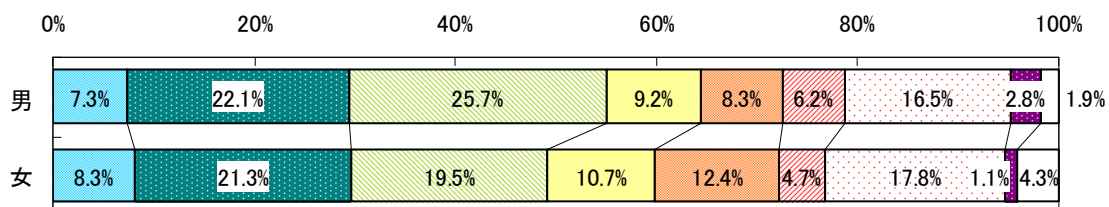


《全体まとめ》

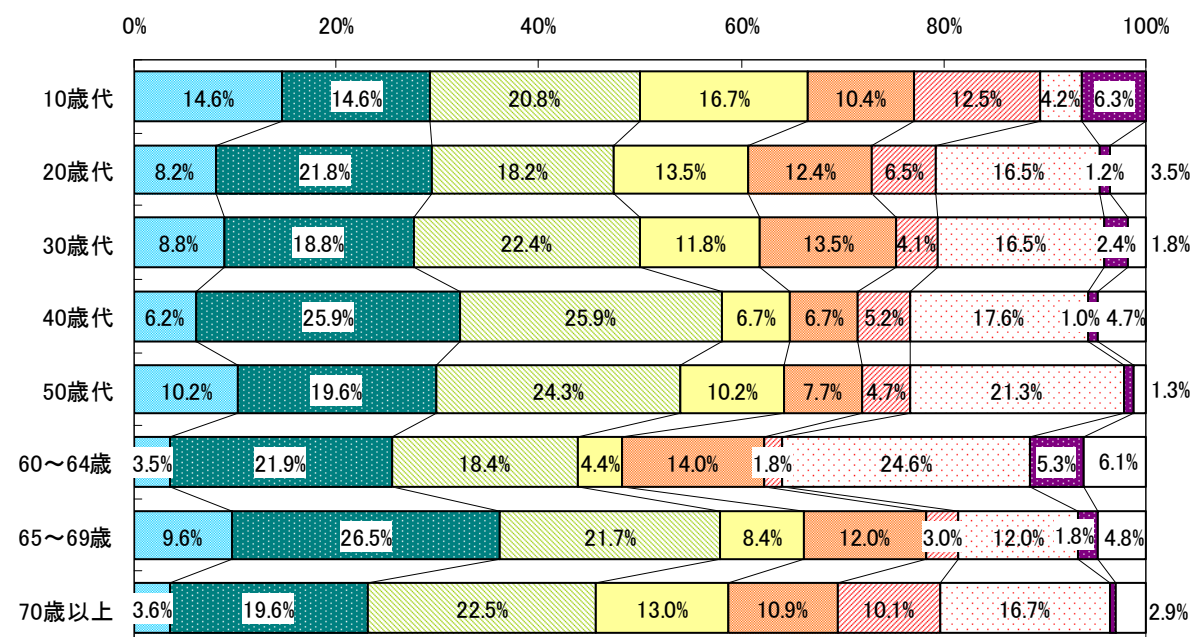
- 「市内の雇用を早急に創出するため、業種に関係なく外部からの誘致に重点を置くべき」が最も多く、全体の22.1%を占めています。次いで「市内の雇用を創出するため、新たな産業の創造・育成に重点を置くべき」が21.6%となっており、市内の雇用創出が上位に入っています。
- 次いで、「地域のイメージアップのため環境への負荷の少ない産業の創造・育成に重点を置くべき」が17.2%となっています。



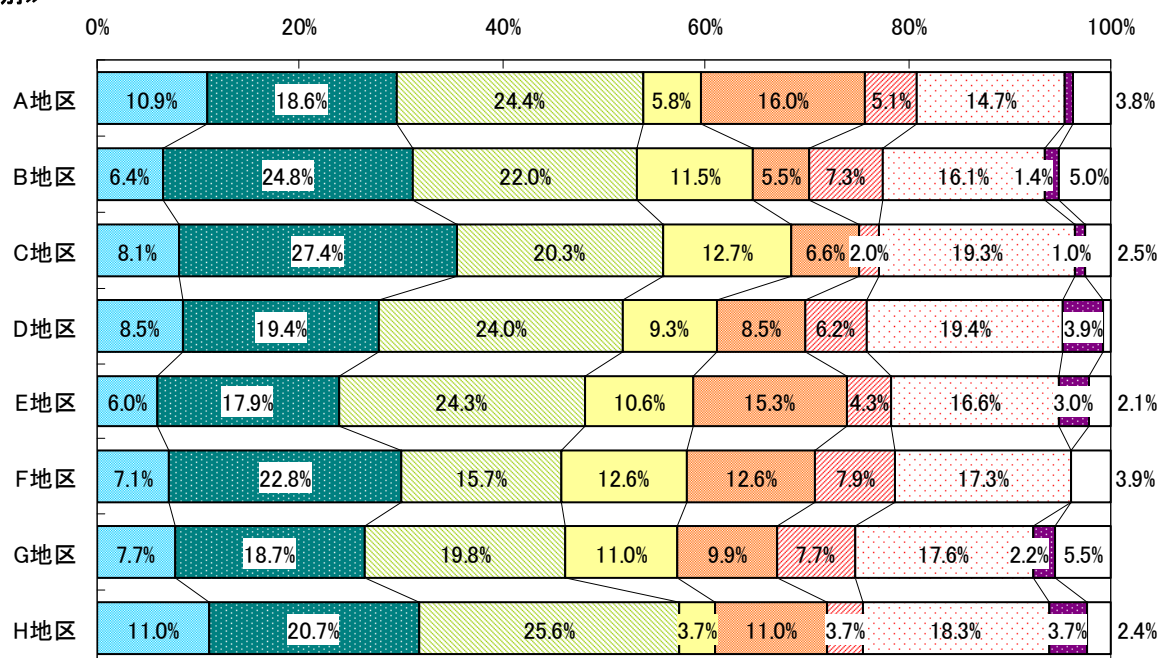
《性別別》



《年齢別》



《地区別》



《クロス集計まとめ》

【性別】

- 男性では「市内の雇用を創出するため、新たな産業の創造・育成に重点を置くべき」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性では「海という資源を活かし、水産物の流通拡大や担い手育成等、漁業振興に重点を置くべき」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

- 10 歳代では「地域産業（例：観光産業）の活性化に重点を置くべき」「農産ブランドの確立や農家の担い手育成等、農業振興に重点を置くべき」「多くの観光客が訪れるよう観光資源の掘り起こしやPR等、観光振興に重点を置くべき」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 40 歳代では「市内の雇用を創出するため、新たな産業の創造・育成に重点を置くべき」「市内の雇用を早急に創出するため、業種に関係なく外部からの誘致に重点を置くべき」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 60～64 歳では「地域のイメージアップのため環境への負荷の少ない産業の創造・育成に重点を置くべき」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 65～69 歳では「市内の雇用を創出するため、新たな産業の創造・育成に重点を置くべき」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。

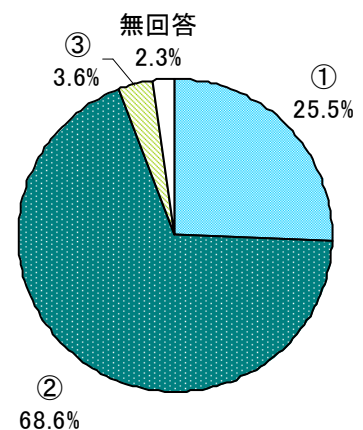
【地区】

- A地区（尾崎・尾崎町）では「海という資源を活かし、水産物の流通拡大や担い手育成等、漁業振興に重点を置くべき」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- C地区（鳥取中・自然田・石田・桑畑・さつき台）では「市内の雇用を創出するため、新たな産業の創造・育成に重点を置くべき」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。

2. 企業誘致の進め方

現在、阪南市では、製造業などの企業誘致を行っています。今後の企業誘致の進め方について、どう考えますか。

	回答数	構成比
① 税金などを優遇してでも、活性化のために推進すべき	317	25.5%
② 企業誘致は必要であるが、市民負担を増やすべきではない	852	68.6%
③ 必要ない	45	3.6%
無回答	28	2.3%
合計	1,242	100.0%



《全体まとめ》

- 「企業誘致は必要であるが、市民負担を増やすべきではない」が最も多く、全体の 68.6%を占めています。次いで、「税金などを優遇してでも、活性化のために推進すべき」が 25.5%、「必要ない」が 3.6%となっています。

《クロス集計まとめ》

【性別】

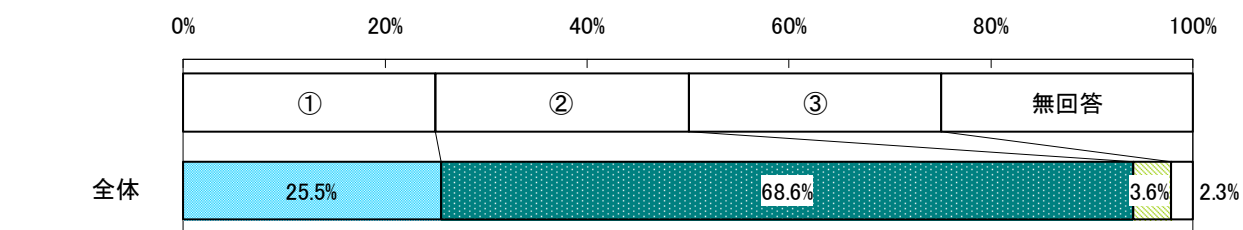
- 男性では「税金などを優遇してでも、活性化のために推進すべき」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性では「企業誘致は必要であるが、市民負担を増やすべきではない」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

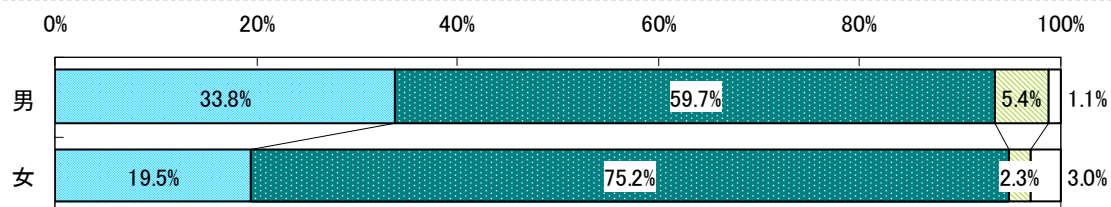
- 20 歳代～50 歳代では、年齢が高くなるにつれ「税金などを優遇してでも、活性化のために推進すべき」の回答割合が高くなる傾向がみられます。

【地区】

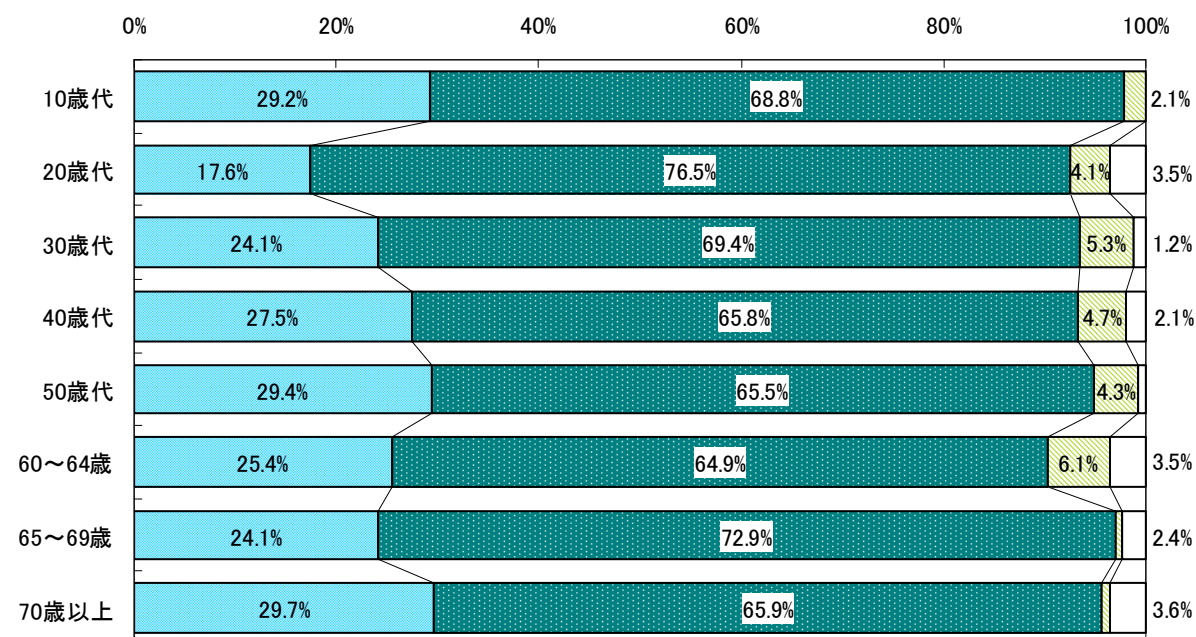
- D地区（和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘）、G地区（田山・南山中・箱の浦・いずみが丘・東和苑・鴻の台・プロヴァンスの丘）、H地区（桃の木台）では「税金などを優遇してでも、活性化のために推進すべき」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- A地区（尾崎・尾崎町）、C地区（鳥取中・自然田・石田・桑畑・さつき台）、F地区（貝掛・箱作・万葉台・住友金属住宅）では「企業誘致は必要であるが、市民負担を増やすべきではない」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- H地区（桃の木台）では「必要ない」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。



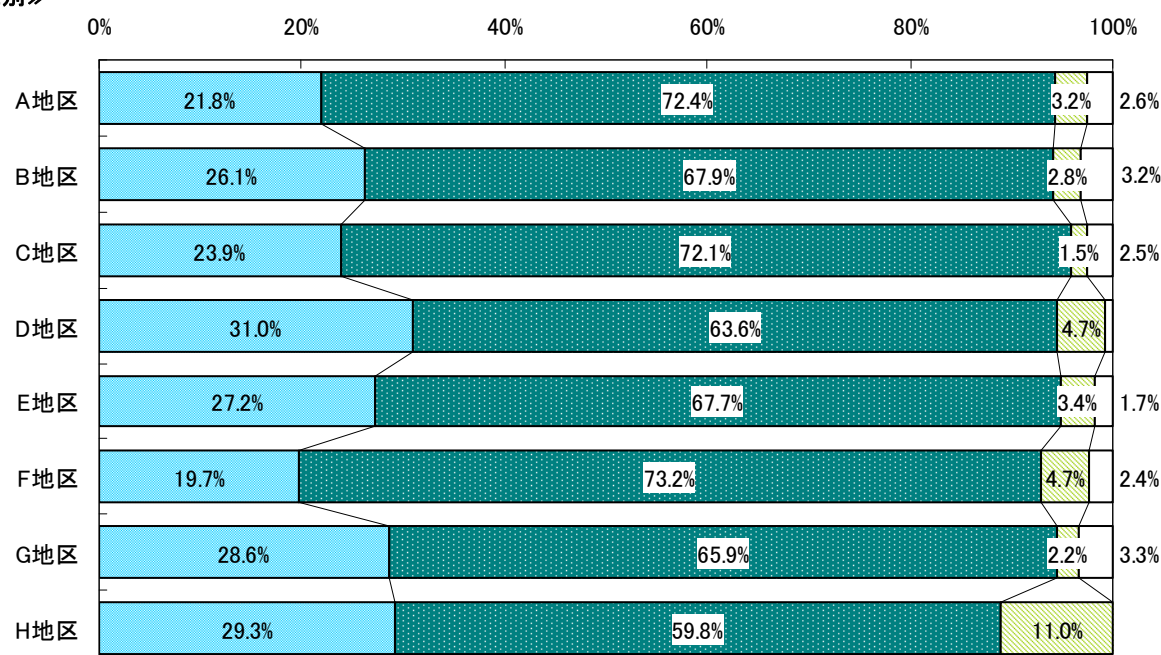
《性別別》



《年齢別》



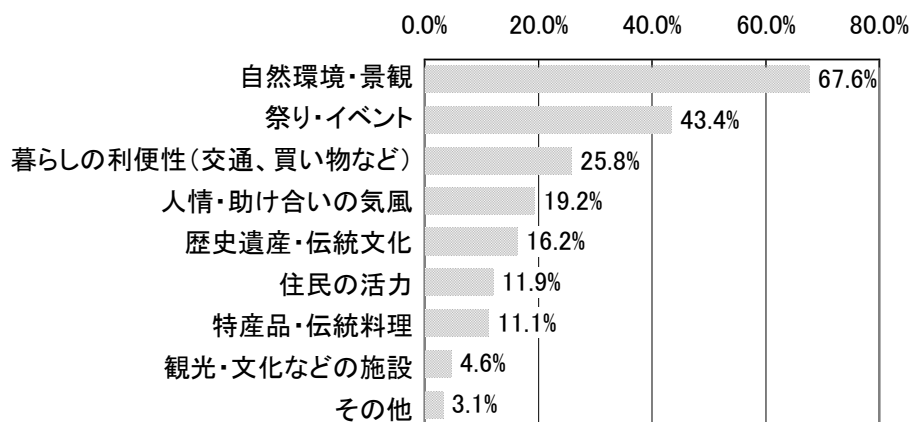
《地区別》



3. 阪南市の資源・強み

阪南市が他に誇れる、地域の資源・強みは何だと思いますか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

N = 1,242		
	回答数	構成比
① 歴史遺産・伝統文化	201	16.2%
② 自然環境・景観	839	67.6%
③ 特産品・伝統料理	138	11.1%
④ 祭り・イベント	539	43.4%
⑤ 観光・文化などの施設	57	4.6%
⑥ 住民の活力	148	11.9%
⑦ 暮らしの利便性(交通、買い物など)	320	25.8%
⑧ 人情・助け合いの気風	239	19.2%
⑨ その他	39	3.1%



《全体まとめ》

- 「自然環境・景観」が 67.6%と最も多く、次いで「祭り・イベント」が 43.4%、「暮らしの利便性(交通・買い物など)」が 25.8%となっています。

《クロス集計まとめ》

【性別】

- 男性では「自然環境・景観」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性では「特産品・伝統料理」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

- 年齢が高くなるにつれ、「自然環境・景観」の回答割合が高くなり、「祭り・イベント」の回答割合が低くなる傾向がみられます。
- 20歳代では「特産品・伝統料理」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 50歳代～70歳以上では「暮らしの利便性(交通・買い物など)」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。

【地区】

- A地区(尾崎・尾崎町)、B地区(下出・黒田・新町・鳥取・シーサイド貝掛・府営石田団地)、C地区(鳥取中・自然田・石田・桑畑・さつき台)、D地区(和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘)では「祭り・イベント」「暮らしの利便性(交通・買い物など)」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- D地区(和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘)、E地区(舞・鳥取三井・光陽台)、F地区(貝掛・箱作・万葉台・住友金属住宅)、G地区(田山・南山中・箱の浦・いずみが丘・東和苑・鴻の台・プロヴァンスの丘)、H地区(桃の木台)では「自然環境・景観」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。

	性別		年齢							
	男	女	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳以上
① 歴史遺産・伝統文化	92 17.3%	106 15.1%	5 10.4%	27 15.6%	21 12.4%	29 15.0%	32 13.6%	25 21.9%	33 19.9%	27 19.6%
② 自然環境・景観	374 70.2%	462 65.7%	24 50.0%	105 60.7%	114 67.1%	123 63.7%	169 71.9%	80 70.2%	116 69.9%	105 76.1%
③ 特産品・伝統料理	45 8.4%	93 13.2%	5 10.4%	31 17.9%	20 11.8%	13 6.7%	22 9.4%	9 7.9%	23 13.9%	15 10.9%
④ 祭り・イベント	222 41.7%	312 44.4%	28 58.3%	89 51.4%	80 47.1%	92 47.7%	98 41.7%	41 36.0%	60 36.1%	47 34.1%
⑤ 観光・文化などの施設	25 4.7%	32 4.6%	2 4.2%	9 5.2%	6 3.5%	3 1.6%	11 4.7%	6 5.3%	8 4.8%	12 8.7%
⑥ 住民の活力	60 11.3%	85 12.1%	5 10.4%	13 7.5%	19 11.2%	12 6.2%	21 8.9%	14 12.3%	34 20.5%	28 20.3%
⑦ 暮らしの利便性(交通、買い物など)	129 24.2%	191 27.2%	9 18.8%	30 17.3%	28 16.5%	36 18.7%	72 30.6%	31 27.2%	63 38.0%	51 37.0%
⑧ 人情・助け合いの気風	106 19.9%	132 18.8%	7 14.6%	34 19.7%	31 18.2%	22 11.4%	37 15.7%	34 29.8%	38 22.9%	35 25.4%
⑨ その他	25 4.7%	14 2.0%	3 6.3%	5 2.9%	5 2.9%	6 3.1%	6 2.6%	5 4.4%	4 2.4%	5 3.6%
N=	533	703	48	173	170	193	235	114	166	138

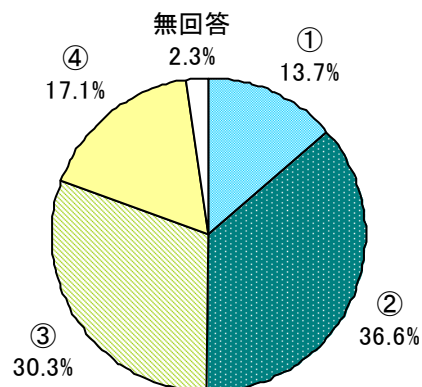
	地区							
	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区
① 歴史遺産・伝統文化	33 21.2%	32 14.7%	42 21.3%	26 20.2%	34 14.5%	14 11.0%	13 14.3%	5 6.1%
② 自然環境・景観	81 51.9%	124 56.9%	108 54.8%	96 74.4%	170 72.3%	100 78.7%	84 92.3%	72 87.8%
③ 特産品・伝統料理	21 13.5%	29 13.3%	21 10.7%	12 9.3%	35 14.9%	10 7.9%	7 7.7%	3 3.7%
④ 祭り・イベント	82 52.6%	117 53.7%	125 63.5%	65 50.4%	65 27.7%	48 37.8%	16 17.6%	17 20.7%
⑤ 観光・文化などの施設	5 3.2%	6 2.8%	7 3.6%	9 7.0%	8 3.4%	12 9.4%	5 5.5%	5 6.1%
⑥ 住民の活力	14 9.0%	26 11.9%	21 10.7%	15 11.6%	39 16.6%	12 9.4%	15 16.5%	4 4.9%
⑦ 暮らしの利便性(交通、買い物など)	62 39.7%	85 39.0%	65 33.0%	28 21.7%	39 16.6%	21 16.5%	10 11.0%	9 11.0%
⑧ 人情・助け合いの気風	30 19.2%	57 26.1%	31 15.7%	22 17.1%	41 17.4%	37 29.1%	14 15.4%	5 6.1%
⑨ その他	5 3.2%	7 3.2%	7 3.6%	2 1.6%	10 4.3%	1 0.8%	3 3.3%	4 4.9%
N=	156	218	197	129	235	127	91	82

第6章 協働のまちづくりについて

1. 社会活動の参加意向

あなたは、ボランティアやNPOなどの社会活動に参加したいと思いますか。

	回答数	構成比
① 積極的に参加したい	170	13.7%
② 付き合い程度に参加したい	455	36.6%
③ 参加できない(参加したいが機会がない)	376	30.3%
④ 参加したくない	213	17.1%
無回答	28	2.3%
合計	1,242	100.0%



《全体まとめ》

- 社会活動に参加したいと考えている回答者（選択肢①～③の合計）が全体の 80.6%を占めています。内訳をみると、「付き合い程度に参加したい」が 36.6%、「参加できない（参加したいが機会がない）」が 30.3%と多く、「積極的に参加したい」は 13.7%となっています。

《クロス集計まとめ》

【性別】

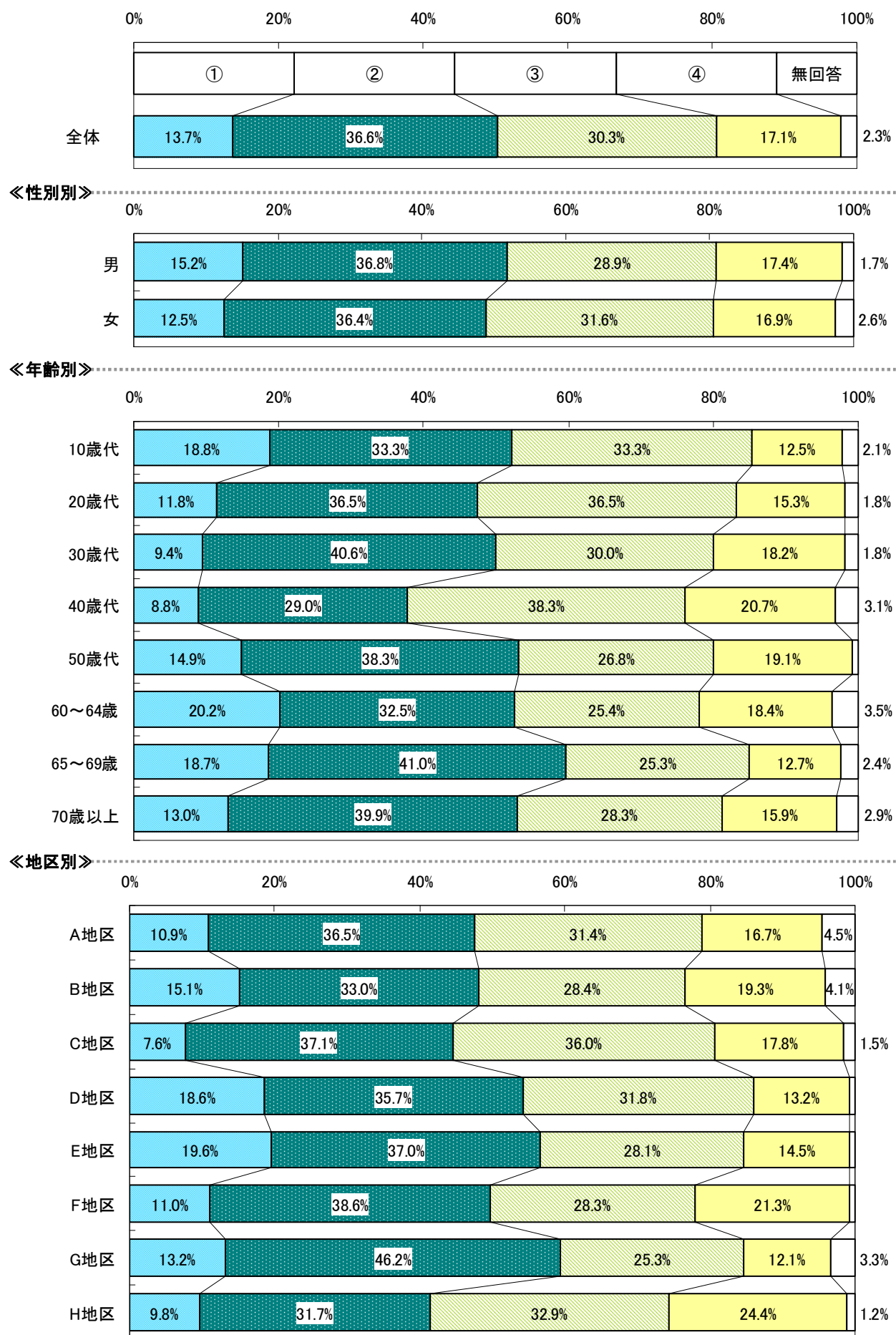
- 男性では「積極的に参加したい」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性では「参加できない（参加したいが機会がない）」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

- 10 歳代、60～64 歳では「積極的に参加したい」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 40 歳代では「参加できない（参加したいが機会がない）」「参加したくない」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。

【地区】

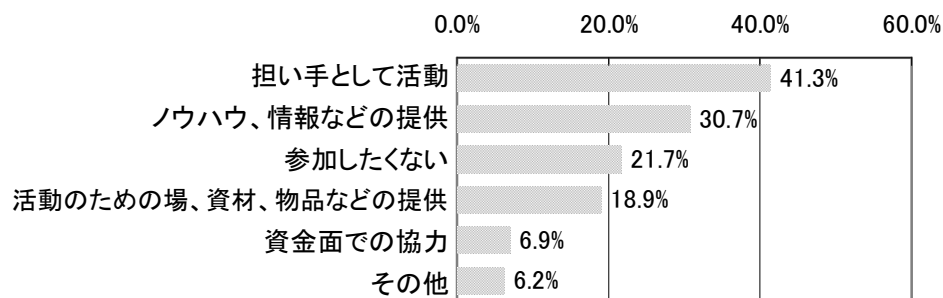
- C地区（鳥取中・自然田・石田・桑畑・さつき台）では「参加できない（参加したいが機会がない）」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- D地区（和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘）、E地区（舞・鳥取三井・光陽台）では「積極的に参加したい」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- G地区（田山・南山中・箱の浦・いずみが丘・東和苑・鴻の台・プロヴァンスの丘）では「付き合い程度に参加したい」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- F地区（貝掛・箱作・万葉台・住友金属住宅）、H地区（桃の木台）では「参加したくない」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。



2. 協働のまちづくりへの関わり方

あなたは、今後、協働のまちづくりに参加する場合、どのような関わり方ができますか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

N = 1,242		
	回答数	構成比
① 担い手として活動	513	41.3%
② 資金面での協力	86	6.9%
③ 活動のための場、資材、物品などの提供	235	18.9%
④ ノウハウ、情報などの提供	381	30.7%
⑤ 参加したくない	269	21.7%
⑥ その他	77	6.2%



《全体まとめ》

- 「担い手として活動」が41.3%と最も多く、次いで「ノウハウ、情報などの提供」が30.7%、「参加したくない」が21.7%となっています。

	性別		年齢							
	男	女	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳以上
① 担い手として活動	233 43.7%	280 39.8%	27 56.3%	88 50.9%	82 48.2%	82 42.5%	80 34.0%	48 42.1%	67 40.4%	39 28.3%
② 資金面での協力	46 8.6%	39 5.5%	2 4.2%	7 4.0%	9 5.3%	10 5.2%	19 8.1%	10 8.8%	15 9.0%	13 9.4%
③ 活動のための場、資材、物品などの提供	91 17.1%	143 20.3%	7 14.6%	35 20.2%	25 14.7%	32 16.6%	49 20.9%	18 15.8%	38 22.9%	31 22.5%
④ ノウハウ、情報などの提供	201 37.7%	178 25.3%	15 31.3%	53 30.6%	49 28.8%	42 21.8%	75 31.9%	47 41.2%	61 36.7%	38 27.5%
⑤ 参加したくない	114 21.4%	155 22.0%	10 20.8%	31 17.9%	36 21.2%	49 25.4%	50 21.3%	23 20.2%	36 21.7%	34 24.6%
⑥ その他	35 6.6%	40 5.7%	1 2.1%	6 3.5%	9 5.3%	6 3.1%	16 6.8%	6 5.3%	12 7.2%	20 14.5%
N=	533	703	48	173	170	193	235	114	166	138

	地区							
	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区
① 担い手として活動	75 48.1%	78 35.8%	75 38.1%	55 42.6%	105 44.7%	54 42.5%	39 42.9%	32 39.0%
② 資金面での協力	8 5.1%	13 6.0%	13 6.6%	8 6.2%	17 7.2%	12 9.4%	10 11.0%	4 4.9%
③ 活動のための場、資材、物品などの提供	39 25.0%	41 18.8%	47 23.9%	17 13.2%	37 15.7%	24 18.9%	22 24.2%	8 9.8%
④ ノウハウ、情報などの提供	52 33.3%	59 27.1%	58 29.4%	49 38.0%	78 33.2%	35 27.6%	26 28.6%	23 28.0%
⑤ 参加したくない	29 18.6%	49 22.5%	51 25.9%	32 24.8%	42 17.9%	27 21.3%	14 15.4%	24 29.3%
⑥ その他	5 3.2%	15 6.9%	14 7.1%	8 6.2%	14 6.0%	7 5.5%	6 6.6%	7 8.5%
N=	156	218	197	129	235	127	91	82

《クロス集計まとめ》

【性別】

- 男性では「担い手として活動」「ノウハウ、情報などの提供」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性では「活動のための場、資材、物品などの提供」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

- 10～50 歳代では、年齢が高くなるにつれ「担い手として活動」の回答割合が低くなる傾向がみられます。
- 60～64 歳では「ノウハウ、情報などの提供」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。

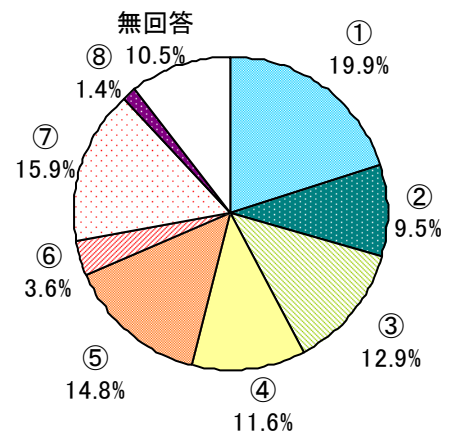
【地区】

- A地区（尾崎・尾崎町）では「担い手として活動」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- D地区（和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘）では「ノウハウ、情報などの提供」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。

3. 行政の役割

今後、協働のまちづくりを進めていくために、行政はどのような役割を担うことを期待しますか。

	回答数	構成比
① 地域づくりのキーマンとなる人材発掘・育成	247	19.9%
② 地域づくりの活動の担い手の拡大	118	9.5%
③ 地域づくりのためのノウハウ・情報の提供	160	12.9%
④ 地域づくりのための資金支援	144	11.6%
⑤ 地域の人材・組織が交流する機会・場の提供	184	14.8%
⑥ 啓発活動	45	3.6%
⑦ 多様な市民活動の機会・場の創出・提供	197	15.9%
⑧ その他	17	1.4%
無回答	130	10.5%
合計	1,242	100.0%



《全体まとめ》

- 「地域づくりのキーマンとなる人材発掘・育成」が最も多く、全体の 19.9%を占めています。次いで「多様な市民活動の機会・場の創出・提供」が 15.9%、「地域の人材・組織が交流する機会・場の提供」が 14.8%となっています。

《クロス集計まとめ》

【性別】

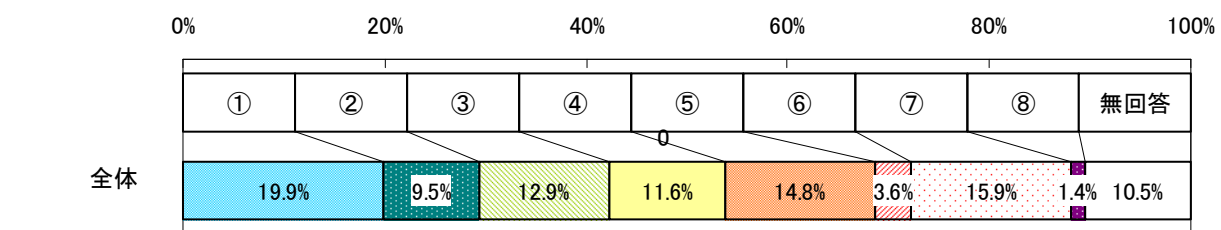
- 男性では「地域づくりのためのノウハウ・情報の提供」の回答割合が女性に比べ高くなっています。

【年齢】

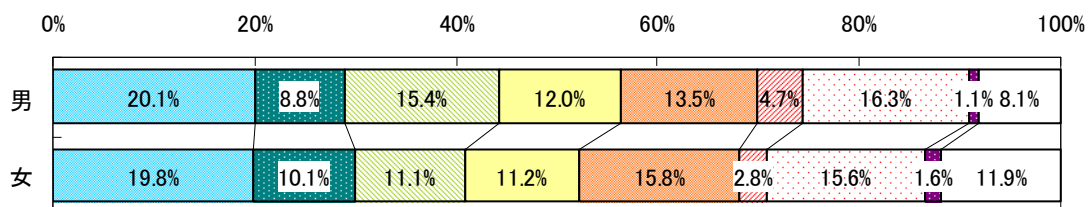
- 10 歳代では「地域づくりのための資金支援」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 10 歳代～20 歳代では「啓発活動」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 30 歳代では「多様な市民活動の機会・場の創出・提供」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 50 歳代では「地域づくりのためのノウハウ・情報の提供」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 65～69 歳、70 歳以上では「地域づくりの活動の担い手の拡大」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。

【地区】

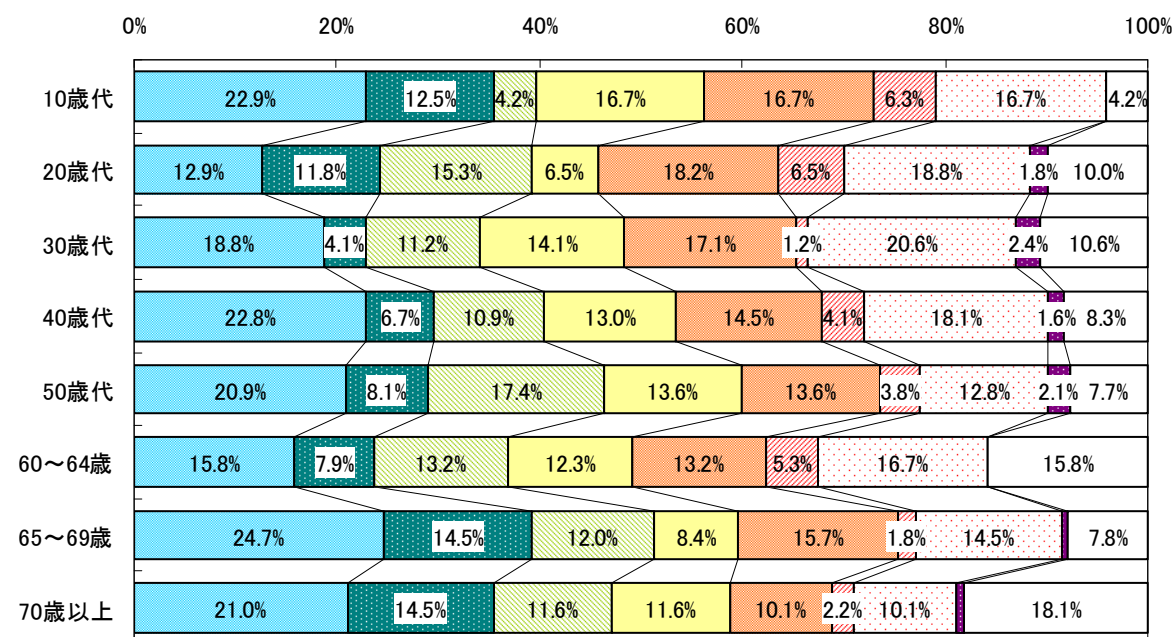
- D地区（和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘）、F地区（貝掛・箱作・万葉台・住友金属住宅）では「地域づくりの活動の担い手の拡大」の回答割合が他の地区に比べ低くなっています。
- D地区（和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘）、G地区（田山・南山中・箱の浦・いずみが丘・東和苑・鴻の台・プロヴァンスの丘）では「多様な市民活動の機会・場の創出・提供」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- H地区（桃の木台）では「地域づくりのためのノウハウ・情報の提供」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。



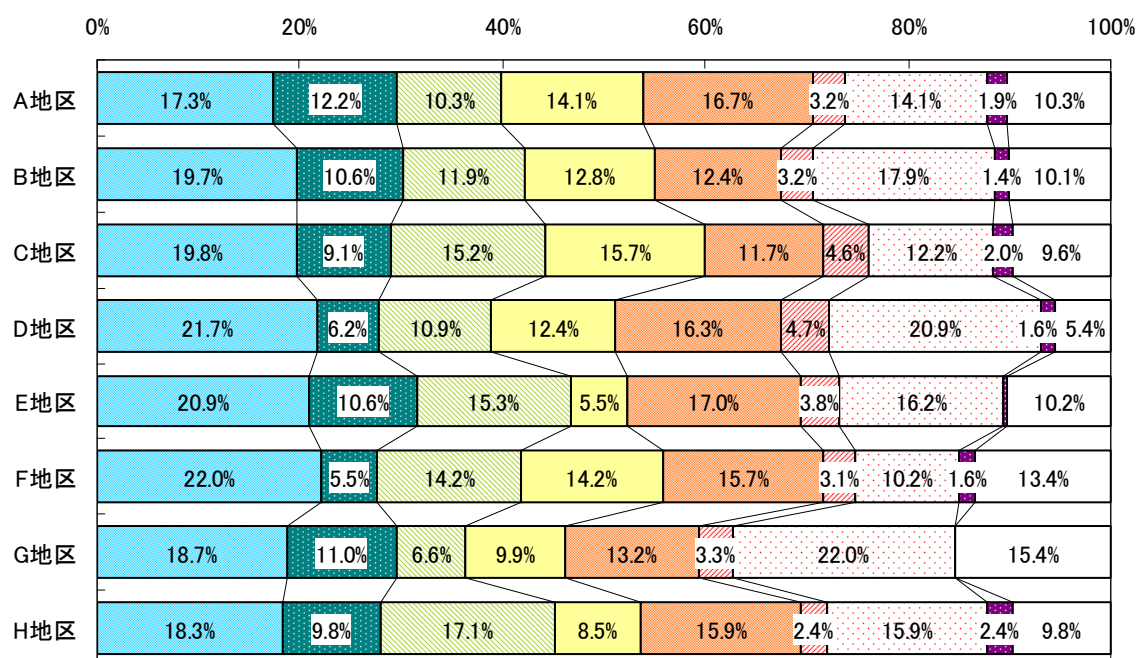
《性別別》



《年齢別》



《地区別》

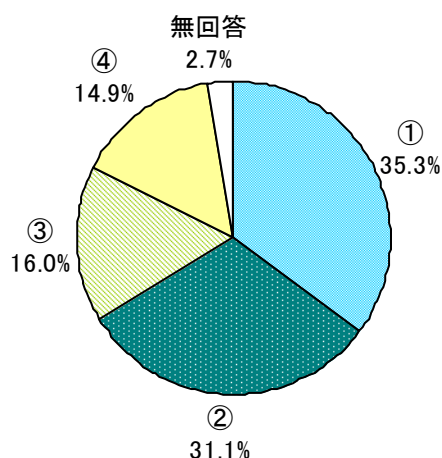


第7章 日常生活について

1. インターネット利用

普段、インターネットを利用していますか。

	回答数	構成比
① よく利用している	438	35.3%
② ときどき利用している	386	31.1%
③ 全く利用していない	199	16.0%
④ 利用できない	185	14.9%
無回答	34	2.7%
合計	1,242	100.0%



《全体まとめ》

- 利用している回答者（選択肢①、②の合計）が全体の 66.4%を占めています。内訳をみると、「よく利用している」が 35.3%、「ときどき利用している」が 31.1%となっています。
- 利用していない回答者（選択肢③、④の合計）は 30.9%となっています。内訳をみると、「全く利用していない」が 16.0%、「利用できない」が 14.9%となっています。

《クロス集計まとめ》

【性別】

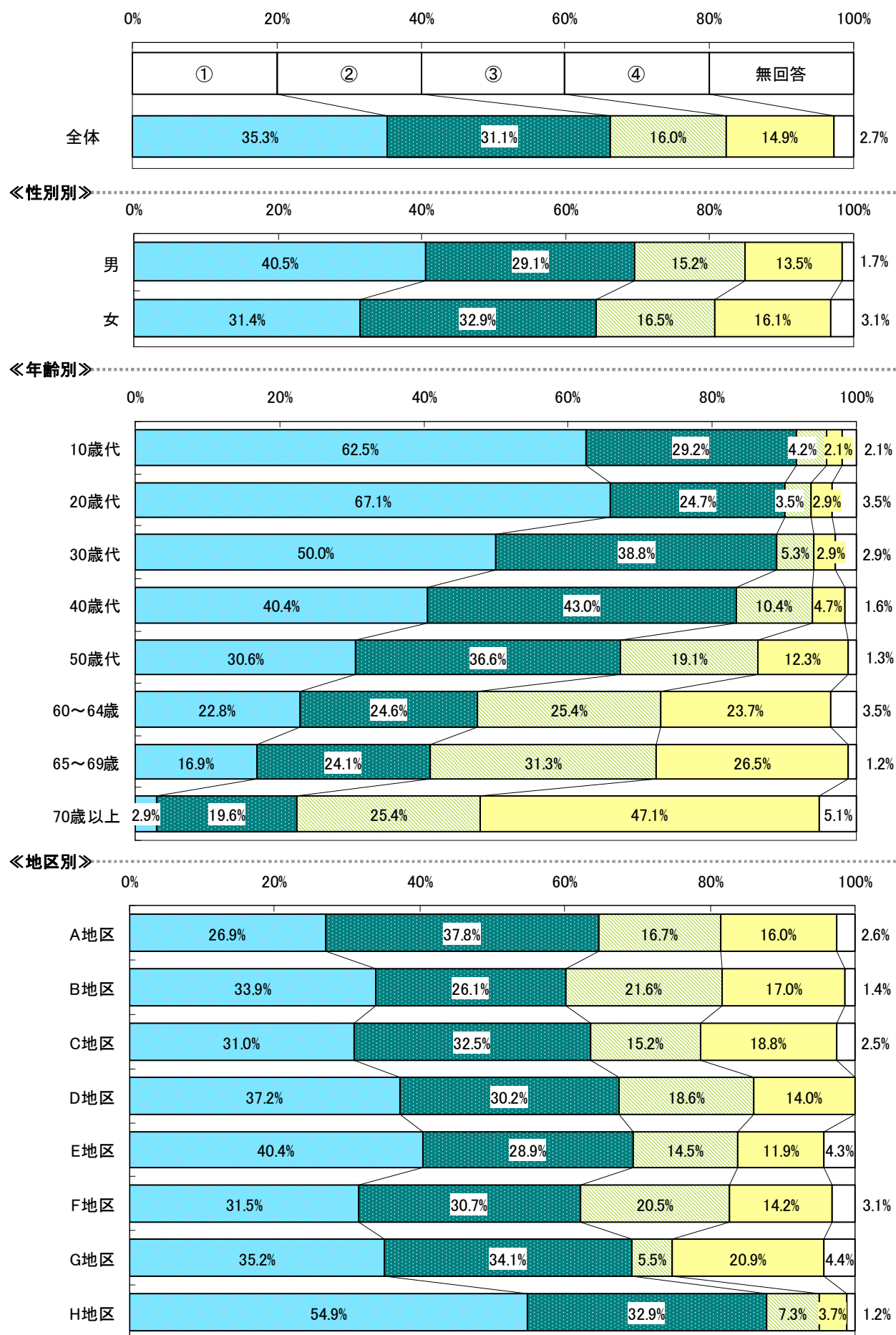
- 男女とも、6割以上が「利用している」又は「ときどき利用している」と回答しています。

【年齢】

- 年齢が高くなるにつれ、利用している回答者（選択肢①、②の合計）の回答割合が低くなる傾向がみられます。
- 70歳以上では「利用できない」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。

【地区】

- G地区（田山・南山中・箱の浦・いずみが丘・東和苑・鴻の台・プロヴァンスの丘）では「利用できない」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- H地区（桃の木台）では、利用している回答者（選択肢①、②の合計）の割合が他の地区に比べ高くなっています。

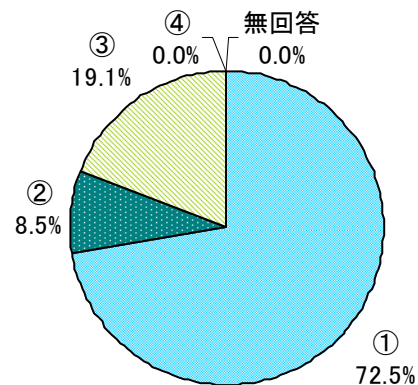


2. インターネットの利用手段

何を使ってインターネットを利用していますか。

※前設問の「①よく利用している」及び「②ときどき利用している」を回答した計 824 名の利用手段を示しています。

	回答数	構成比
① パソコン	597	72.5%
② 携帯電話	70	8.5%
③ 両方(①と②)	157	19.1%
④ その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	824	100.0%



《全体まとめ》

- 「パソコン」が最も多く、全体の 72.5%を占めています。次いで「両方（パソコンと携帯電話）」が 19.1%、「携帯電話」が 8.5%となっています。

《クロス集計まとめ》

【性別】

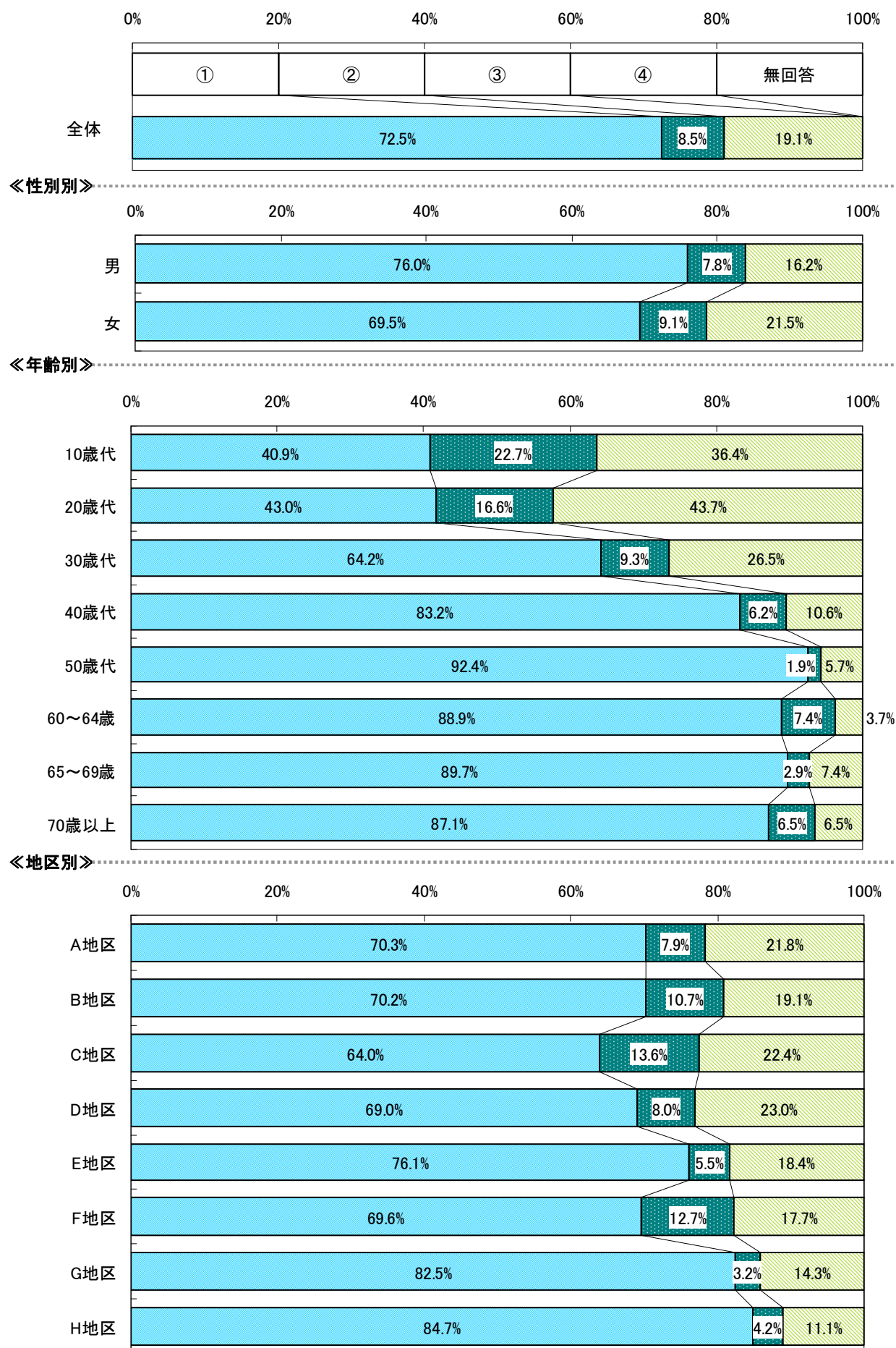
- 男性は「パソコン」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性は「両方（パソコンと携帯電話）」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

- 10 歳代～50 歳代では、年齢が高くなるにつれ、「携帯電話」および「両方（パソコンと携帯電話）」の割合が低くなる傾向がみられます。
- 40 歳代～70 歳以上では、「パソコン」が 80%以上を占めています。

【地区】

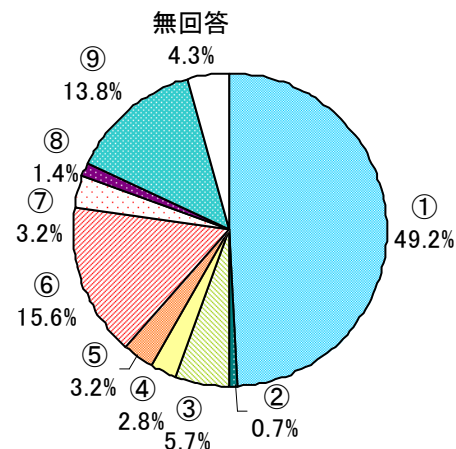
- G地区（田山・南山中・箱の浦・いずみが丘・東和苑・鴻の台・プロヴァンスの丘）、H地区（桃の木台）では「パソコン」が全体に比べ高くなっています。



3. 暮らしの情報の取得手段

暮らしの情報は、主に何から得たいですか。

	回答数	構成比
① 広報はんなん	611	49.2%
② 市施設の掲示物(掲示板)	9	0.7%
③ 市ウェブサイト	71	5.7%
④ 他のウェブサイト	35	2.8%
⑤ 回覧板	40	3.2%
⑥ 新聞	194	15.6%
⑦ 情報誌	40	3.2%
⑧ ラジオ	17	1.4%
⑨ テレビ	171	13.8%
無回答	54	4.3%
合計	1,242	100.0%



《全体まとめ》

- 「広報はんなん」が最も多く、全体の 49.2%を占めています。次いで「新聞」が 15.6%、「テレビ」が 13.8%となっています。

《クロス集計まとめ》

【性別】

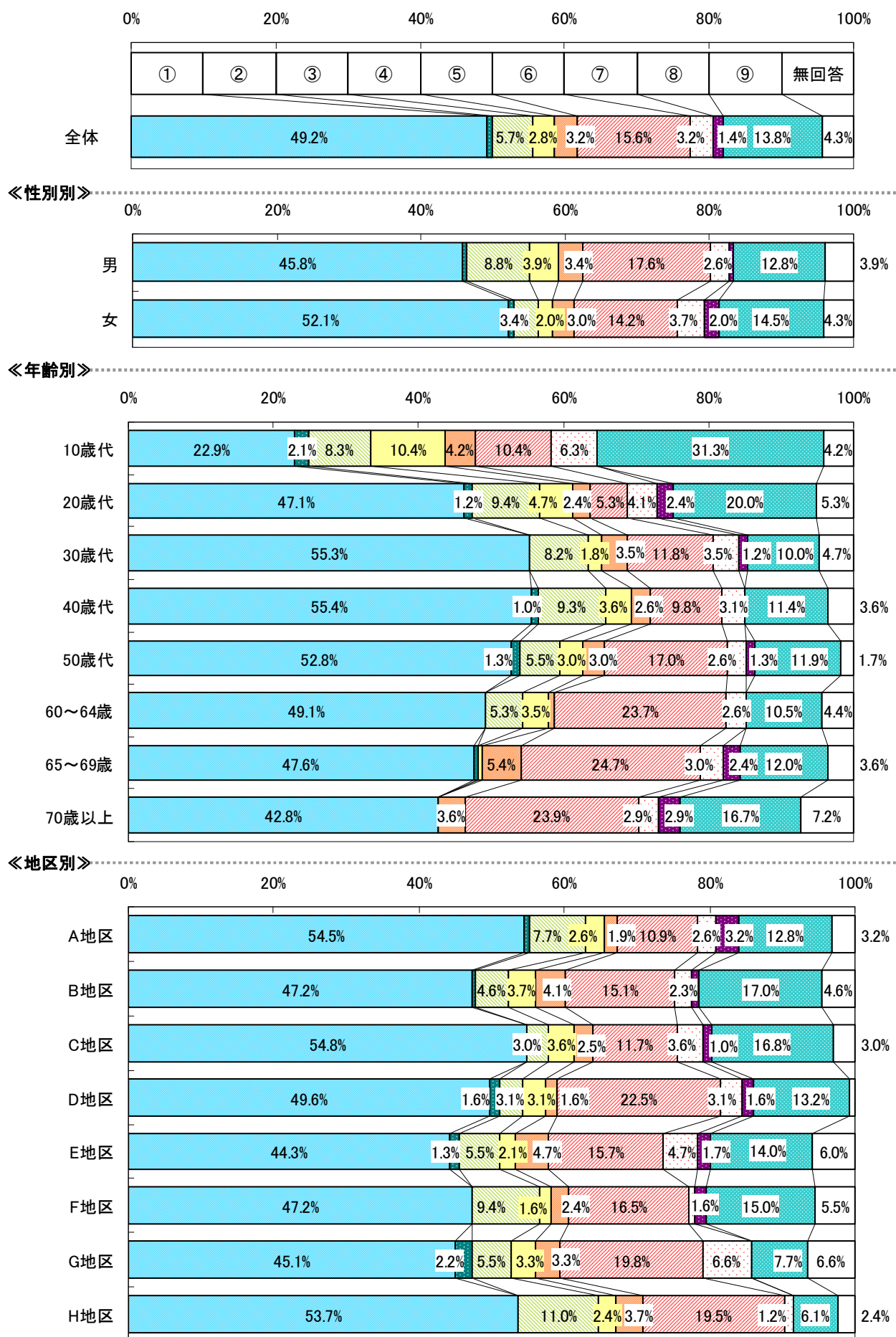
- 男性では「市ウェブサイト」「新聞」の回答割合が女性に比べ高なっています。
- 女性は「広報はんなん」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

- 10 歳代では「テレビ」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 40 歳代～70 歳以上では、年齢が高くなるにつれ、「広報はんなん」の回答割合が低くなる傾向がみられます。
- 20 歳代～70 歳以上では、年齢が高くなるにつれ、「新聞」の回答割合が高くなる傾向がみられます。

【地区】

- A地区（尾崎・尾崎町）、C地区（鳥取中・自然田・石田・桑畑・さつき台）、H地区（桃の木台）では「広報はんなん」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。

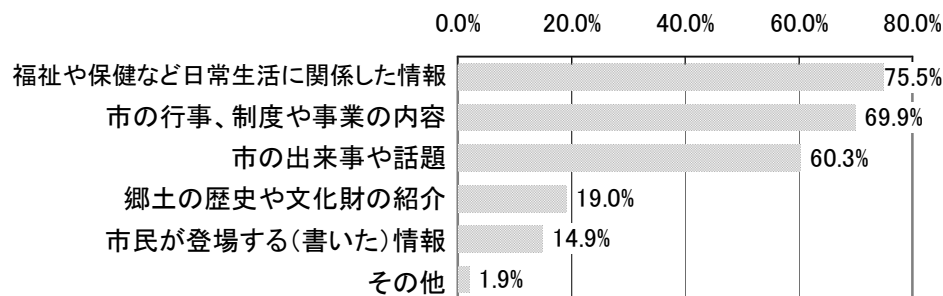


4. 知りたい情報

阪南市のどのような情報を知りたいですか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

N = 1,242

	回答数	構成比
① 市の行事、制度や事業の内容	868	69.9%
② 市の出来事や話題	749	60.3%
③ 郷土の歴史や文化財の紹介	236	19.0%
④ 福祉や保健など日常生活に関係した情報	938	75.5%
⑤ 市民が登場する(書いた)情報	185	14.9%
⑥ その他	24	1.9%



《全体まとめ》

- 「福祉や保健など日常生活に関係した情報」が 75.5%と最も多く、次いで「市の行事、制度や事業の内容」が 69.9%、「市の出来事や話題」が 60.3%となっています。

	性別		年齢							
	男	女	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳以上
① 市の行事、制度や事業の内容	391 73.4%	475 67.6%	25 52.1%	119 68.8%	114 67.1%	144 74.6%	163 69.4%	83 72.8%	126 75.9%	92 66.7%
② 市の出来事や話題	316 59.3%	430 61.2%	34 70.8%	107 61.8%	94 55.3%	108 56.0%	138 58.7%	66 57.9%	113 68.1%	87 63.0%
③ 郷土の歴史や文化財の紹介	109 20.5%	127 18.1%	9 18.8%	37 21.4%	27 15.9%	21 10.9%	44 18.7%	33 28.9%	37 22.3%	28 20.3%
④ 福祉や保健など日常生活に関係した情報	388 72.8%	547 77.8%	24 50.0%	122 70.5%	130 76.5%	148 76.7%	180 76.6%	80 70.2%	136 81.9%	116 84.1%
⑤ 市民が登場する(書いた)情報	79 14.8%	105 14.9%	21 43.8%	31 17.9%	23 13.5%	24 12.4%	32 13.6%	15 13.2%	21 12.7%	18 13.0%
⑥ その他	9 1.7%	15 2.1%	1 2.1%	4 2.3%	4 2.4%	4 2.1%	5 2.1%	0 0.0%	4 2.4%	2 1.4%
N=	533	703	48	173	170	193	235	114	166	138

	地区							
	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区
① 市の行事、制度や事業の内容	121 77.6%	152 69.7%	138 70.1%	92 71.3%	158 67.2%	81 63.8%	60 65.9%	64 78.0%
② 市の出来事や話題	85 54.5%	138 63.3%	130 66.0%	75 58.1%	133 56.6%	79 62.2%	57 62.6%	50 61.0%
③ 郷土の歴史や文化財の紹介	32 20.5%	30 13.8%	39 19.8%	34 26.4%	44 18.7%	28 22.0%	19 20.9%	10 12.2%
④ 福祉や保健など日常生活に関係した情報	122 78.2%	158 72.5%	140 71.1%	95 73.6%	186 79.1%	100 78.7%	69 75.8%	65 79.3%
⑤ 市民が登場する(書いた)情報	18 11.5%	41 18.8%	31 15.7%	19 14.7%	35 14.9%	16 12.6%	13 14.3%	12 14.6%
⑥ その他	2 1.3%	2 0.9%	3 1.5%	1 0.8%	4 1.7%	5 3.9%	4 4.4%	3 3.7%
N=	156	218	197	129	235	127	91	82

《クロス集計まとめ》

【性別】

- 男性では「市の行事、制度や事業の内容」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性では「福祉や保健など日常生活に関係した情報」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

- 10歳代では「市の出来事や話題」「市民が登場する(書いた)情報」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 60～64歳では「郷土の歴史や文化財の紹介」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 65～69歳では「市の行事、制度や事業の内容」が他の年齢に比べ高くなっています。
- 70歳以上では「福祉や保健など日常生活に関係した情報」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。

【地区】

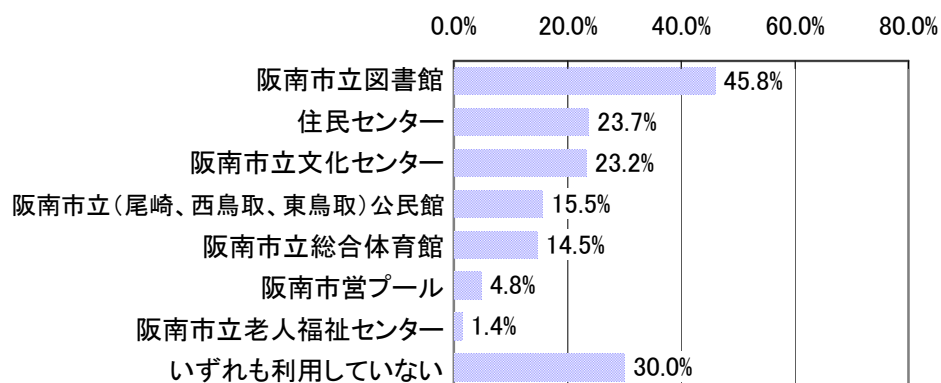
- D地区(和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘)では「郷土の歴史や文化財の紹介」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- H地区(桃の木台)では「市の行事、制度や事業の内容」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。

5. 公共施設の利用有無

この1年間に、次の公共施設を利用する機会がありましたか。次の中から頻度の多いものから順に最大3つまで選んでください。

N = 1,242

	回答数	構成比
① 阪南市立文化センター	288	23.2%
② 阪南市立図書館	569	45.8%
③ 阪南市立(尾崎、西鳥取、東鳥取)公民館	193	15.5%
④ 阪南市立総合体育館	180	14.5%
⑤ 阪南市営プール	59	4.8%
⑥ 住民センター	294	23.7%
⑦ 阪南市立老人福祉センター	17	1.4%
⑧ いずれも利用していない	372	30.0%



《全体まとめ》

- 「阪南市立図書館」が45.8%と最も多く、「住民センター」が23.7%、「阪南市立文化センター」が23.2%となっています。また、「いずれも利用していない」が30.0%となっています。

	性別		年齢							
	男	女	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳以上
① 阪南市立文化センター	108 20.3%	179 25.5%	8 16.7%	27 15.6%	35 20.6%	39 20.2%	48 20.4%	31 27.2%	55 33.1%	44 31.9%
② 阪南市立図書館	225 42.2%	343 48.8%	25 52.1%	79 45.7%	88 51.8%	98 50.8%	96 40.9%	48 42.1%	82 49.4%	52 37.7%
③ 阪南市立(尾崎、西鳥取、東鳥取)公民館	73 13.7%	118 16.8%	2 4.2%	14 8.1%	19 11.2%	29 15.0%	35 14.9%	25 21.9%	42 25.3%	26 18.8%
④ 阪南市立総合体育館	86 16.1%	94 13.4%	12 25.0%	30 17.3%	23 13.5%	34 17.6%	22 9.4%	15 13.2%	25 15.1%	19 13.8%
⑤ 阪南市営プール	25 4.7%	34 4.8%	4 8.3%	11 6.4%	13 7.6%	10 5.2%	7 3.0%	2 1.8%	6 3.6%	6 4.3%
⑥ 住民センター	148 27.8%	146 20.8%	4 8.3%	20 11.6%	34 20.0%	43 22.3%	62 26.4%	26 22.8%	54 32.5%	51 37.0%
⑦ 阪南市立老人福祉センター	8 1.5%	8 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	2 0.9%	4 3.5%	3 1.8%	7 5.1%
⑧ いずれも利用していない	168 31.5%	203 28.9%	14 29.2%	62 35.8%	46 27.1%	56 29.0%	82 34.9%	39 34.2%	38 22.9%	35 25.4%
N=	533	703	48	173	170	193	235	114	166	138

	地区							
	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区
① 阪南市立文化センター	43 27.6%	56 25.7%	38 19.3%	34 26.4%	66 28.1%	28 22.0%	13 14.3%	9 11.0%
② 阪南市立図書館	76 48.7%	93 42.7%	78 39.6%	67 51.9%	114 48.5%	42 33.1%	44 48.4%	54 65.9%
③ 阪南市立(尾崎、西鳥取、東鳥取)公民館	24 15.4%	42 19.3%	28 14.2%	16 12.4%	44 18.7%	17 13.4%	13 14.3%	8 9.8%
④ 阪南市立総合体育館	12 7.7%	29 13.3%	20 10.2%	21 16.3%	57 24.3%	18 14.2%	11 12.1%	12 14.6%
⑤ 阪南市営プール	8 5.1%	6 2.8%	16 8.1%	9 7.0%	6 2.6%	3 2.4%	7 7.7%	4 4.9%
⑥ 住民センター	31 19.9%	41 18.8%	40 20.3%	48 37.2%	48 20.4%	37 29.1%	20 22.0%	28 34.1%
⑦ 阪南市立老人福祉センター	2 1.3%	4 1.8%	1 0.5%	3 2.3%	3 1.3%	1 0.8%	1 1.1%	2 2.4%
⑧ いずれも利用していない	43 27.6%	68 31.2%	75 38.1%	32 24.8%	68 28.9%	40 31.5%	28 30.8%	17 20.7%
N=	156	218	197	129	235	127	91	82

《クロス集計まとめ》

【性別】

- 男性では「住民センター」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性では「阪南市立図書館」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

- 10歳代では「阪南市立総合体育館」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 年齢が高くなるにつれ、「阪南市立文化センター」「住民センター」の回答割合が高くなる傾向がみられます。

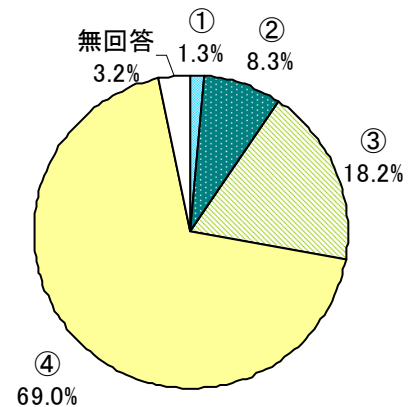
【地区】

- D地区（和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘）、H地区（桃の木台）では「住民センター」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- H地区（桃の木台）では「阪南市立図書館」の回答割合が他の地区に比べ高くなっていますが、F地区（貝掛・箱作・万葉台・住友金属住宅）では低くなっています。

6. 自治基本条例の認知

「阪南市自治基本条例」を知っていますか。

	回答数	構成比
① 内容までよく知っている	16	1.3%
② 見たことがある程度	103	8.3%
③ 名前を知っている程度	226	18.2%
④ 知らない	857	69.0%
無回答	40	3.2%
合計	1,242	100.0%



《全体まとめ》

- 「知らない」が最も多く、全体の 69.0%を占めています。知っている回答者（選択肢①～③の合計）は 27.8%で、内訳をみると「名前を知っている程度」が 18.2%と最も多く、「内容までよく知っている」は 1.3%となっています。

《クロス集計まとめ》

【性別】

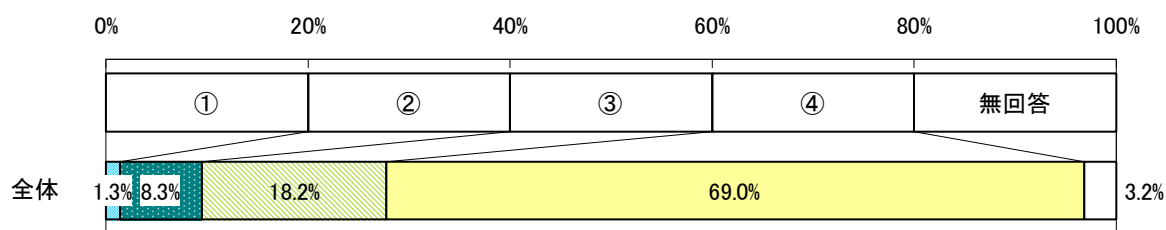
- 男性は「内容までよく知っている」の回答割合が女性に比べ高くなっています。

【年齢】

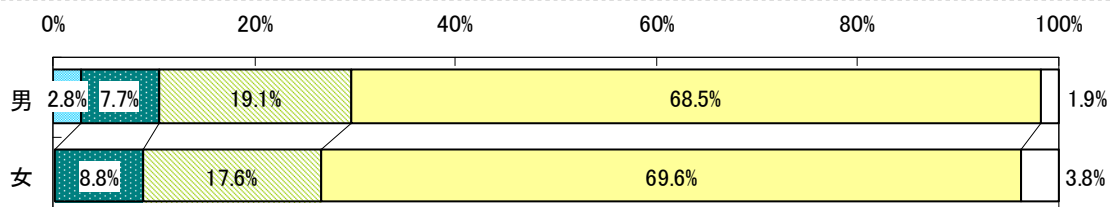
- 年齢が高くなるにつれ、「名前を知っている程度」の回答割合が高くなる傾向がみられます。

【地区】

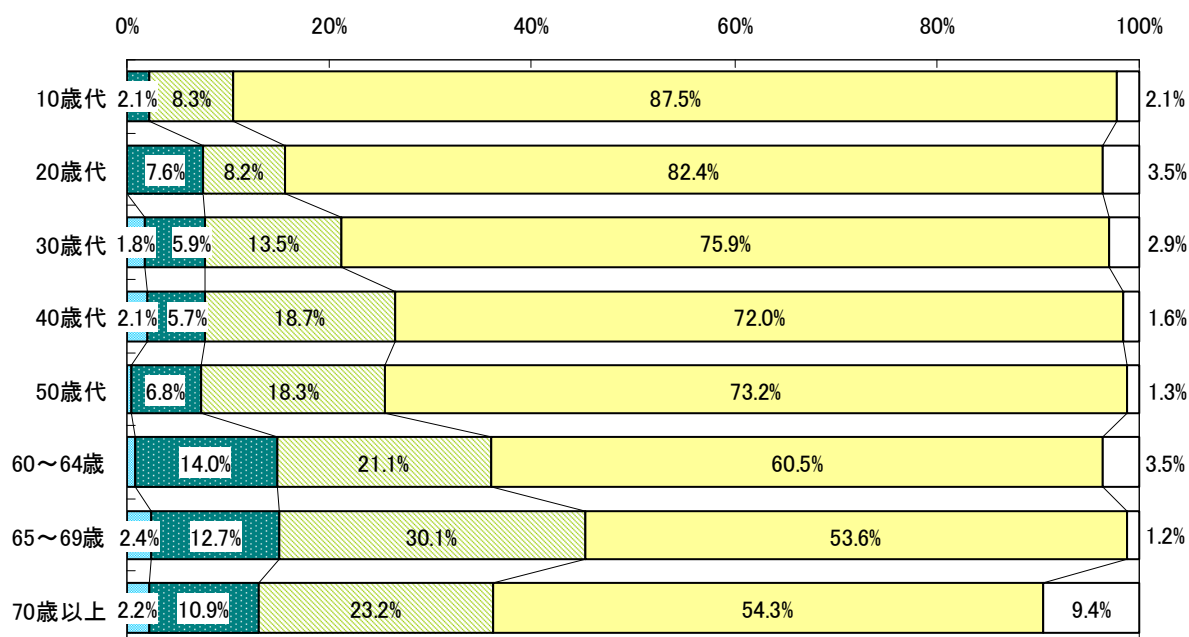
- E地区（舞・鳥取三井・光陽台）、F地区（貝掛・箱作・万葉台・住友金属住宅）では「見たことがある程度」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。



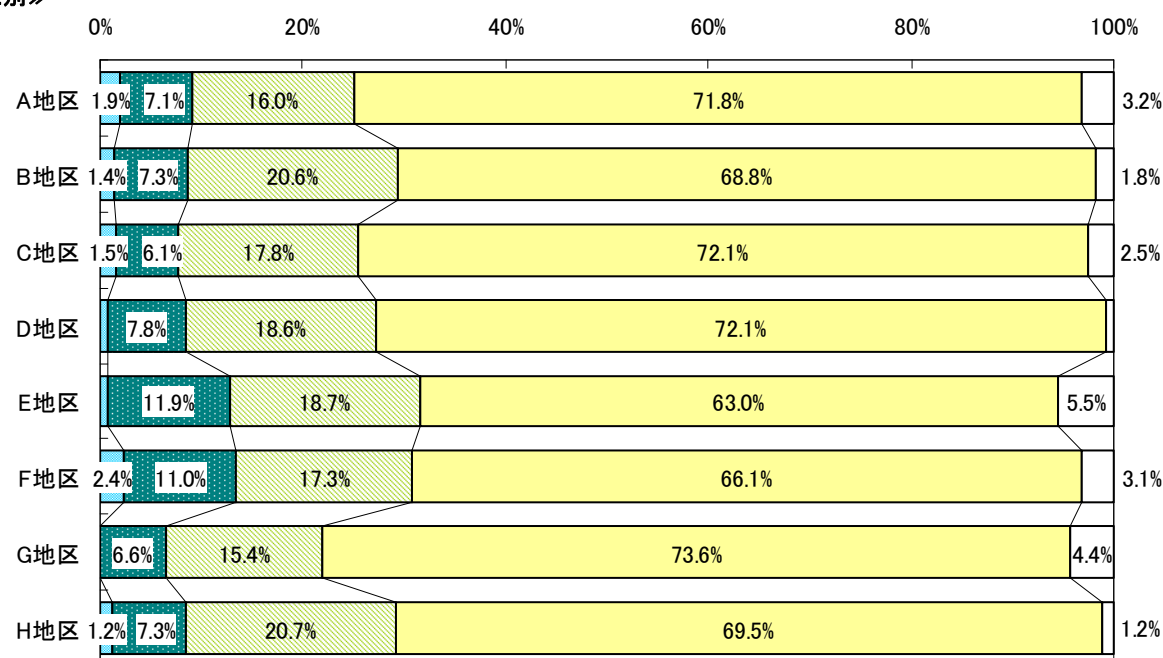
《性別別》



《年齢別》



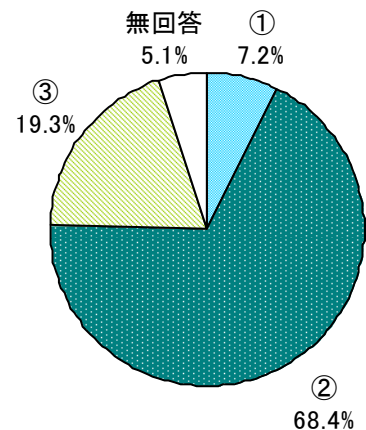
《地区別》



7. 行政サービスと負担

行政サービスと税金などの負担について、どのように考えますか。

	回答数	構成比
① 市民負担が大きくても、すべての行政サービス水準が高いほうがよい	90	7.2%
② 行政サービスに優先度をつけて、現状の市民負担を維持すべき	849	68.4%
③ すべての行政サービス水準が低くても、市民負担が小さいほうがよい	240	19.3%
無回答	63	5.1%
合計	1,242	100.0%



《全体まとめ》

- 「行政サービスに優先度をつけて、現状の市民負担を維持すべき」が最も多く、全体の 68.4% を占めています。次いで「すべての行政サービス水準が低くても、市民負担が小さいほうがよい」は 19.3%、「市民負担が大きくても、すべての行政サービス水準が高いほうがよい」は 7.2% となっています。

《クロス集計まとめ》

【性別】

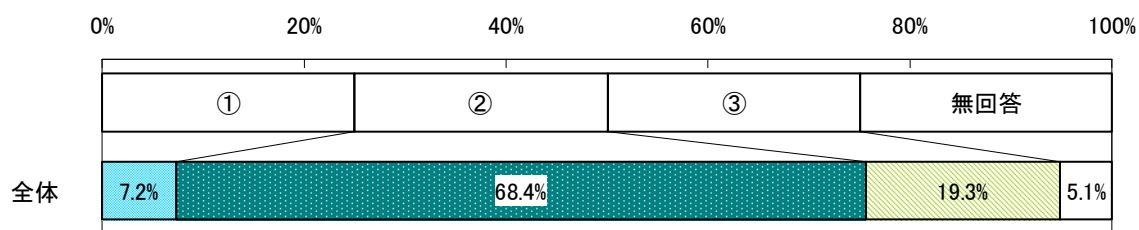
- 男性では「市民負担が大きくても、すべての行政サービス水準が高いほうがよい」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性では「すべての行政サービス水準が低くても、市民負担が小さいほうがよい」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

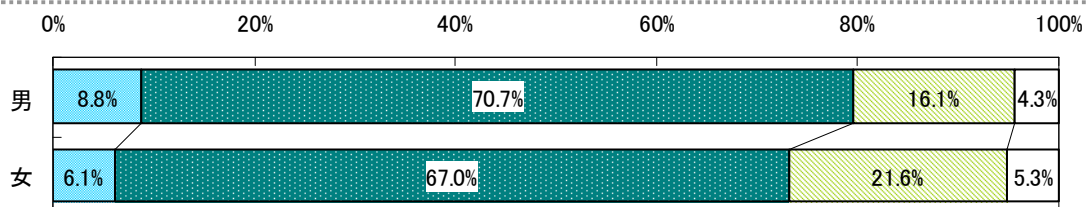
- 10 歳代では「市民負担が大きくても、すべての行政サービス水準が高いほうがよい」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 50 歳代では「行政サービスに優先度をつけて、現状の市民負担を維持すべき」回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 60～64 歳では「すべての行政サービス水準が低くても、市民負担が小さいほうがよい」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。

【地区】

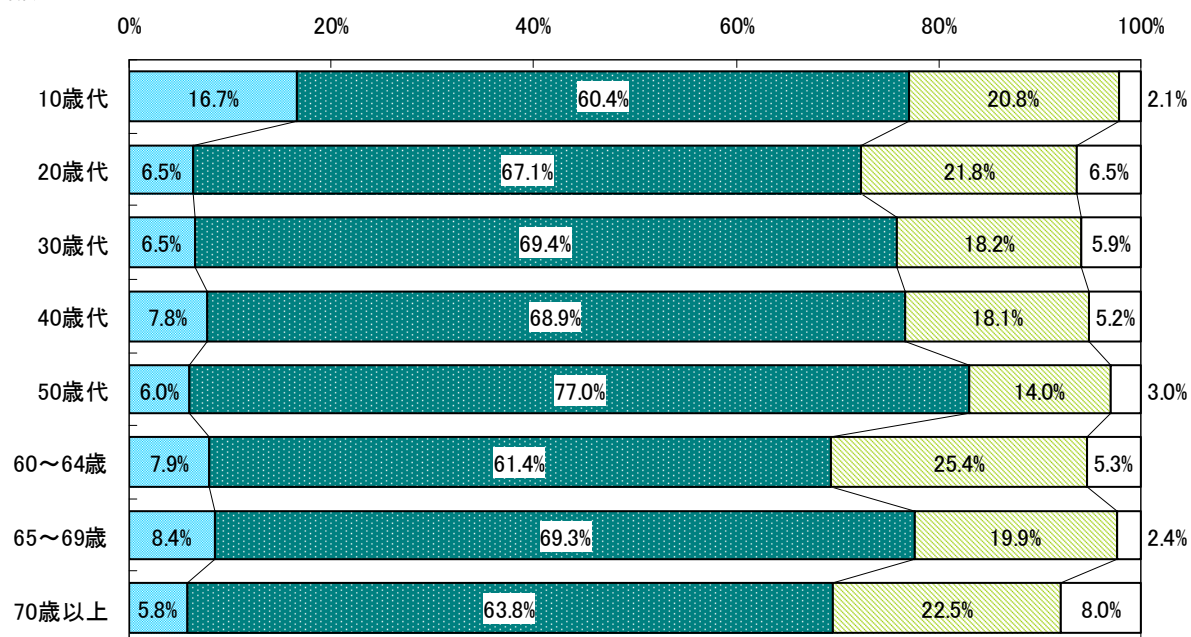
- A 地区（尾崎・尾崎町）、C 地区（鳥取中・自然田・石田・桑畑・さつき台）では「すべての行政サービス水準が低くても、市民負担が小さいほうがよい」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- D 地区（和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘）、E 地区（舞・鳥取三井・光陽台）、H 地区（桃の木台）では「行政サービスに優先度をつけて、現状の市民負担を維持すべき」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。



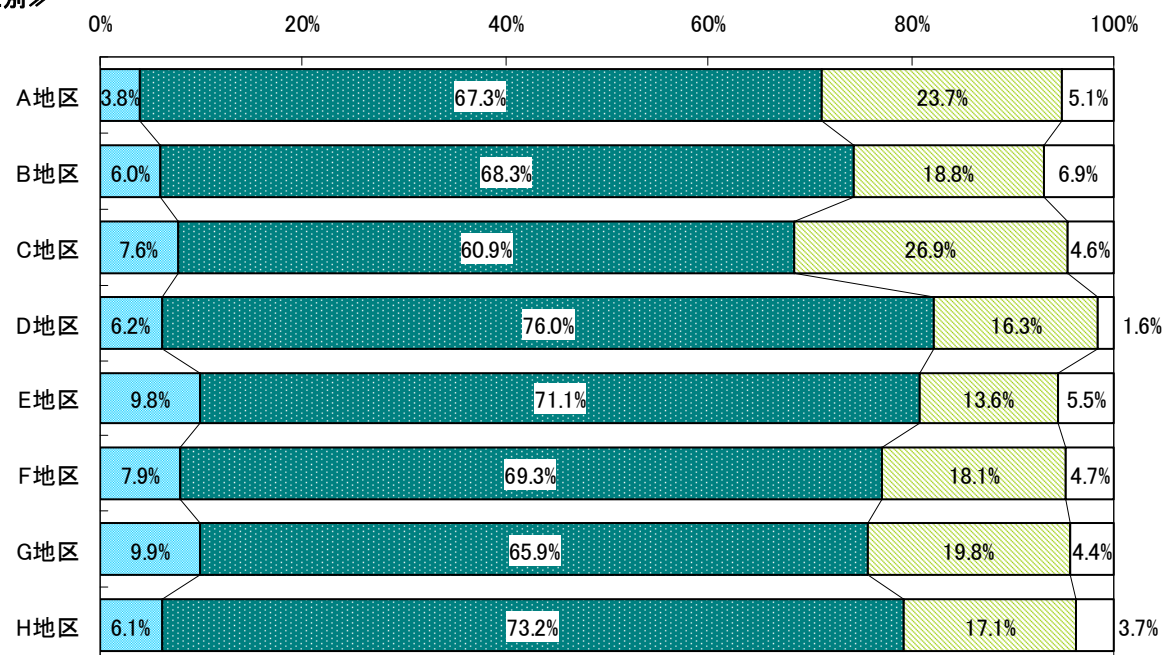
《性別別》



《年齢別》



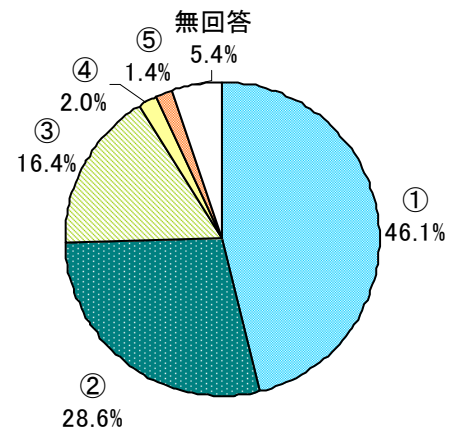
《地区別》



8. 中心市街地の方向性

これからのまちづくりを進めるにあたって、阪南市の中心市街地が、どのようなまちをめざしたら良いと考えますか。

	回答数	構成比
① 住むための機能が集積した場所	573	46.1%
② 商業機能が集積した場所	355	28.6%
③ 市民の文化交流・教育（生涯学習）の場所	204	16.4%
④ 来訪者との交流の場所	25	2.0%
⑤ その他	18	1.4%
無回答	67	5.4%
合計	1,242	100.0%



《全体まとめ》

- 「住むための機能が集積した場所」が最も多く、全体の 46.1%を占めています。次いで「商業機能が集積した場所」が 28.6%、「市民の文化交流・教育（生涯学習）の場所」が 16.4%となっています。

《クロス集計まとめ》

【性別】

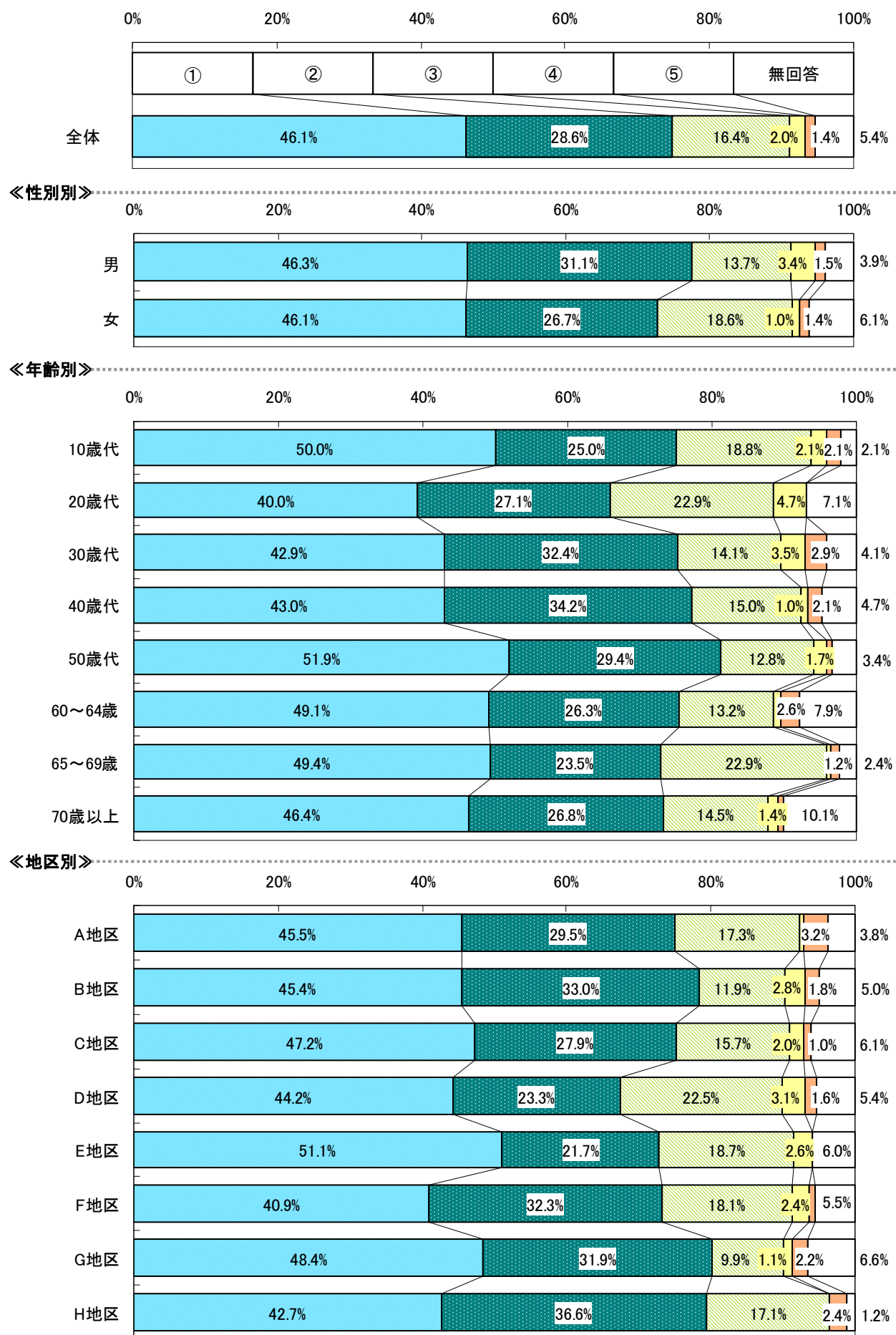
- 男性では「商業機能が集積した場所」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性では「市民の文化交流・教育（生涯学習）の場所」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

- 10 歳代、50 歳代では「住むための機能が集積した場所」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 20 歳代、65～69 歳では「市民の文化交流・教育（生涯学習）の場所」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 30 歳代、40 歳代では「商業機能が集積した場所」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。

【地区】

- D地区（和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘）では「市民の文化交流・教育（生涯学習）の場所」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- E地区では「住むための機能が集積した場所」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。
- H地区（桃の木台）では「商業機能が集積した場所」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。

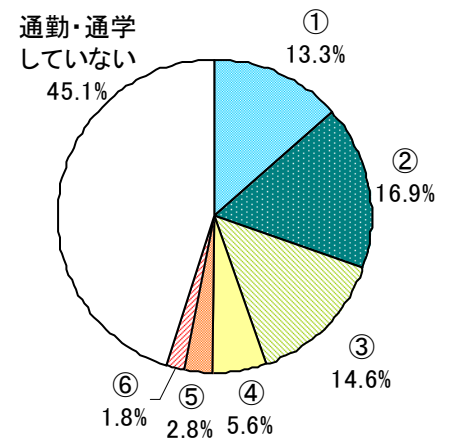


9. 通勤・通学先

通勤・通学されている人にお聞きします。

通勤・通学先はどちらですか。

	回答数	構成比
① 阪南市内	165	13.3%
② 阪南市以外の泉南地域(岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、熊取町、田尻町、岬町)	210	16.9%
③ 大阪市・泉北地域(堺市、高石市、泉大津市、和泉市、忠岡町)	181	14.6%
④ ①～③以外的大阪府内	69	5.6%
⑤ 和歌山県内	35	2.8%
⑥ 大阪府・和歌山県以外の府県内	22	1.8%
通勤・通学していない	560	45.1%
合計	1,242	100.0%



《全体まとめ》

- 「阪南市以外の泉南地域（岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、熊取町、田尻町、岬町）」が最も多く、全体の 16.9% を占めています。次いで、「大阪市・泉北地域（堺市、高石市、泉大津市、和泉市、忠岡町）」が 14.6%、「阪南市内」が 13.3% となっています。

《クロス集計まとめ》

【性別】

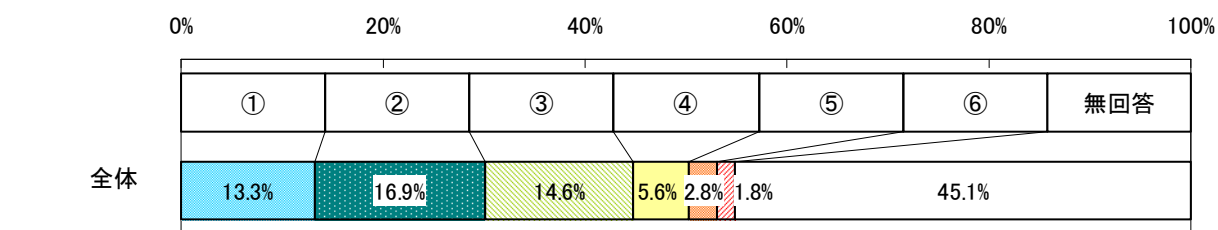
- 男性では、「大阪市・泉北地域」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性では「阪南市内」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

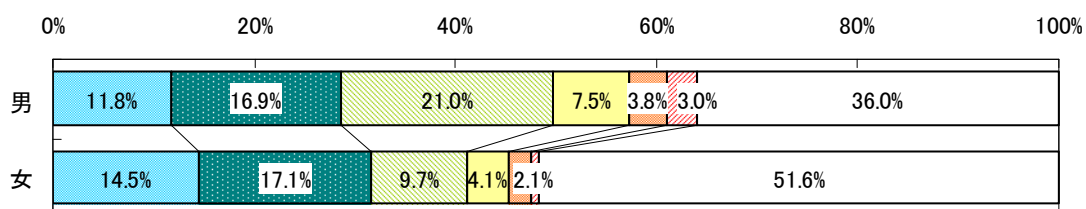
- 10 歳代では「大阪市・泉北地域」「和歌山県内」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 30 歳代、40 歳代では「阪南市内」が他の年齢に比べ高くなっています。
- 年齢が高くなるにつれて、「阪南市以外の泉南地域」「大阪市・泉北地域」の回答割合が低くなる傾向がみられます。

【地区】

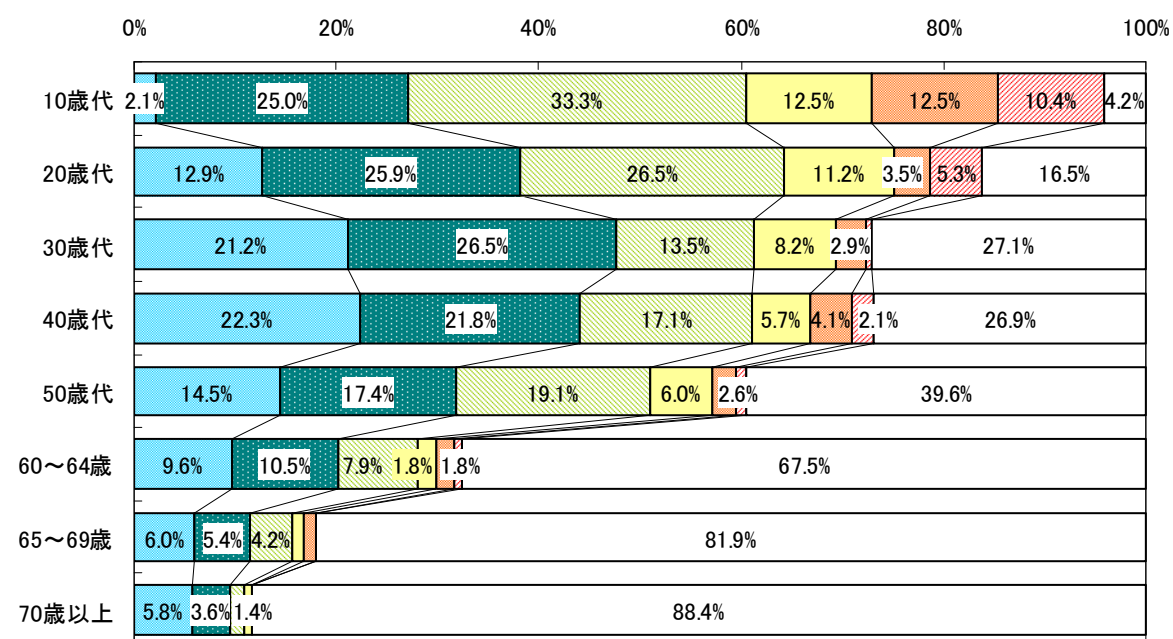
- A 地区（尾崎・尾崎町）、B 地区（下出・黒田・新町・鳥取・シーサイド貝掛・府営石田団地）、C 地区（鳥取中・自然田・石田・桑畑・さつき台）では「阪南市内」の回答割合が、他の地区に比べ高くなっています。
- H 地区（桃の木台）では「大阪市・泉北地域」の回答割合が他の地区に比べ高くなっています。



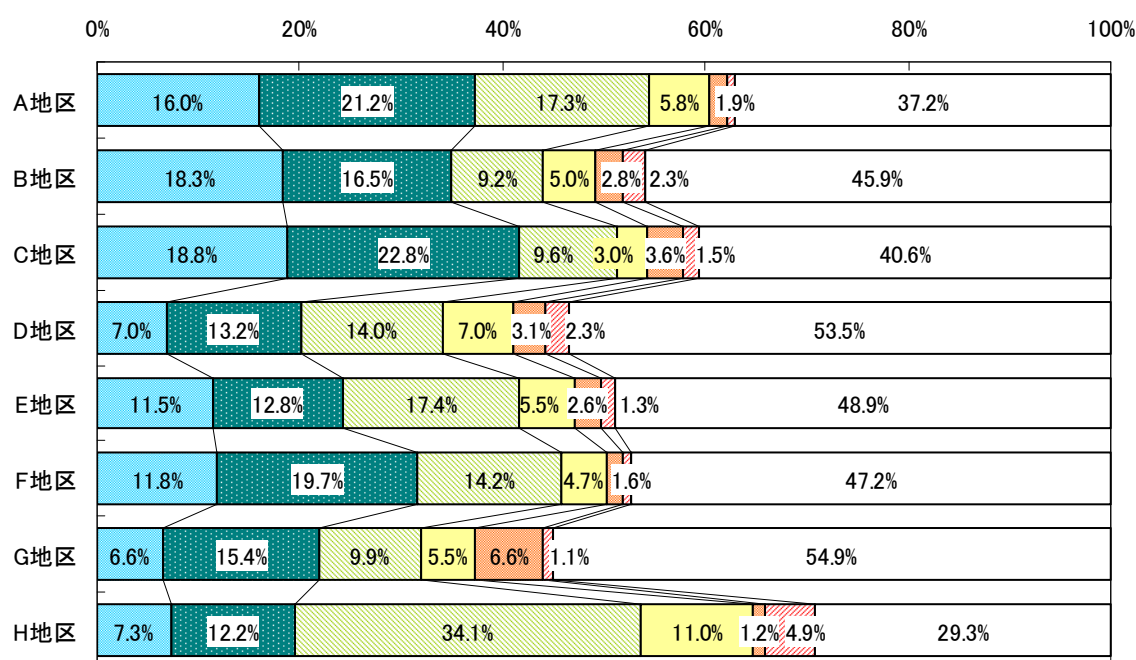
《性別別》



《年齢別》



《地区別》

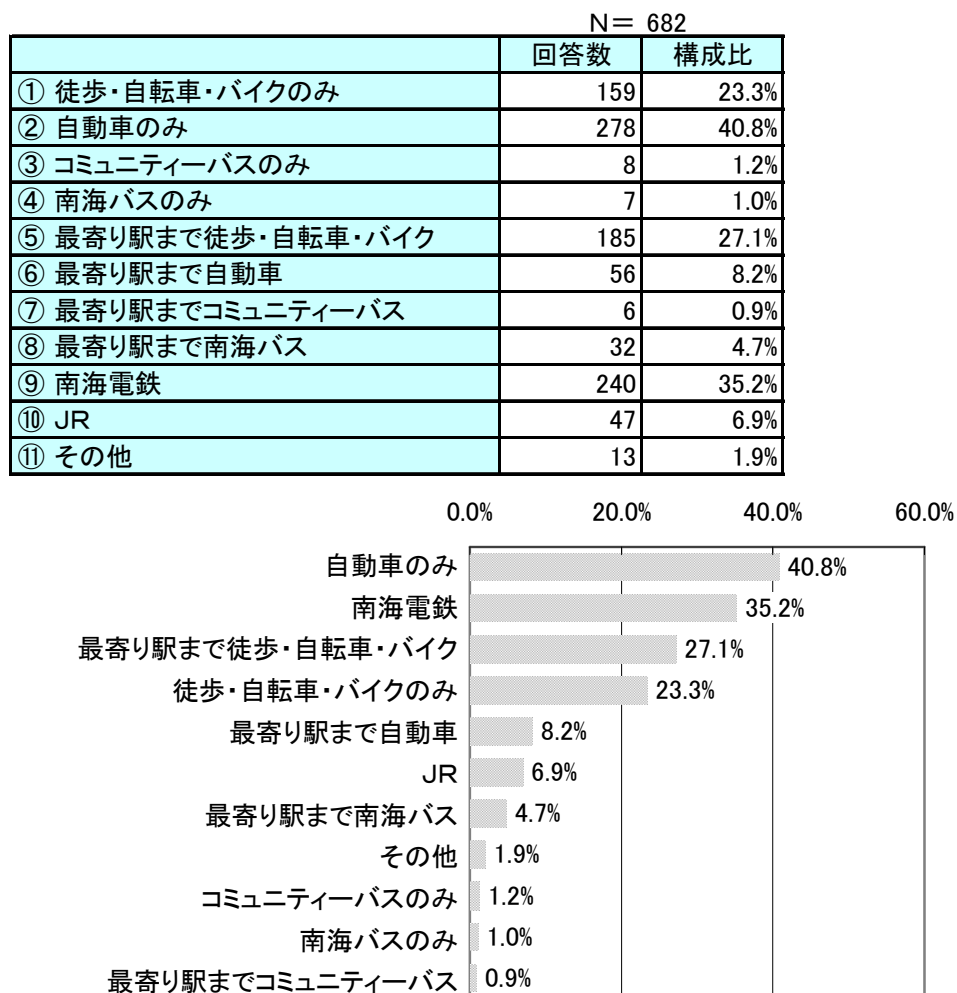


10. 通勤・通学手段

通勤・通学されている人にお聞きします。

主にどのような交通手段で通勤・通学していますか（阪南市外に通勤・通学されている人は、阪南市内の交通手段のみ回答してください）。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

※前設問の「通勤・通学していない」を除く計 682 名（①～⑥を選択した人）の通勤・通学手段を示しています。



《全体まとめ》

- 「自動車のみ」が 40.8%と最も多く、次いで「南海電鉄」が 35.2%、「最寄り駅まで徒歩・自転車・バイク」が 27.1%となっています。

《クロス集計まとめ》

【性別】

- 男性では「南海電鉄」の回答割合が女性に比べ高くなっています。
- 女性では「徒歩・自転車・バイクのみ」の回答割合が男性に比べ高くなっています。

【年齢】

- 10 歳代、20 歳代では「最寄り駅まで徒歩・自転車・バイク」「南海電鉄」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。
- 30 歳代以上では、「徒歩・自転車・バイクのみ」「自動車のみ」が他の年齢と比べ多くなっています。
- 65～69 歳、70 歳以上では「徒歩・自転車・バイクのみ」の回答割合が他の年齢に比べ高くなっています。

	性別		年齢							
	男	女	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳以上
① 徒歩・自転車・バイクのみ	74 21.7%	85 25.0%	3 6.5%	34 23.4%	27 21.8%	37 26.2%	30 21.1%	10 27.0%	12 40.0%	6 37.5%
② 自動車のみ	136 39.9%	142 41.8%	0 0.0%	41 28.3%	73 58.9%	64 45.4%	62 43.7%	16 43.2%	14 46.7%	8 50.0%
③ コミュニティーバスのみ	2 0.6%	6 1.8%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%	1 0.7%	3 2.1%	0 0.0%	1 3.3%	2 12.5%
④ 南海バスのみ	3 0.9%	4 1.2%	1 2.2%	2 1.4%	1 0.8%	0 0.0%	2 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%
⑤ 最寄り駅まで徒歩・自転車・バイク	94 27.6%	90 26.5%	34 73.9%	56 38.6%	19 15.3%	26 18.4%	32 22.5%	7 18.9%	6 20.0%	4 25.0%
⑥ 最寄り駅まで自動車	27 7.9%	29 8.5%	5 10.9%	12 8.3%	7 5.6%	8 5.7%	14 9.9%	4 10.8%	4 13.3%	2 12.5%
⑦ 最寄り駅までコミュニティーバス	3 0.9%	3 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.4%	1 2.7%	1 3.3%	2 12.5%
⑧ 最寄り駅まで南海バス	22 6.5%	10 2.9%	5 10.9%	3 2.1%	5 4.0%	9 6.4%	9 6.3%	0 0.0%	1 3.3%	0 0.0%
⑨ 南海電鉄	135 39.6%	104 30.6%	34 73.9%	61 42.1%	26 21.0%	42 29.8%	51 35.9%	14 37.8%	8 26.7%	3 18.8%
⑩ JR	26 7.6%	21 6.2%	9 19.6%	13 9.0%	8 6.5%	5 3.5%	7 4.9%	2 5.4%	3 10.0%	0 0.0%
⑪ その他	6 1.8%	7 2.1%	2 4.3%	5 3.4%	1 0.8%	1 0.7%	4 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
N=	341	340	46	145	124	141	142	37	30	16

	地区							
	A地区	B地区	C地区	D地区	E地区	F地区	G地区	H地区
① 徒歩・自転車・バイクのみ	37 37.8%	36 30.5%	23 19.7%	10 16.7%	39 32.5%	7 10.4%	2 4.9%	5 8.6%
② 自動車のみ	33 33.7%	49 41.5%	64 54.7%	23 38.3%	36 30.0%	32 47.8%	21 51.2%	19 32.8%
③ コミュニティーバスのみ	1 1.0%	0 0.0%	1 0.9%	3 5.0%	2 1.7%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%
④ 南海バスのみ	1 1.0%	0 0.0%	2 1.7%	1 1.7%	2 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%
⑤ 最寄り駅まで徒歩・自転車・バイク	20 20.4%	28 23.7%	29 24.8%	23 38.3%	39 32.5%	21 31.3%	9 22.0%	15 25.9%
⑥ 最寄り駅まで自動車	7 7.1%	2 1.7%	7 6.0%	4 6.7%	14 11.7%	6 9.0%	8 19.5%	8 13.8%
⑦ 最寄り駅までコミュニティーバス	2 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.8%	1 1.5%	2 4.9%	0 0.0%
⑧ 最寄り駅まで南海バス	2 2.0%	2 1.7%	7 6.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	21 36.2%
⑨ 南海電鉄	34 34.7%	42 35.6%	20 17.1%	1 1.7%	60 50.0%	30 44.8%	16 39.0%	35 60.3%
⑩ JR	0 0.0%	0 0.0%	14 12.0%	23 38.3%	5 4.2%	3 4.5%	0 0.0%	2 3.4%
⑪ その他	3 3.1%	1 0.8%	2 1.7%	1 1.7%	4 3.3%	1 1.5%	0 0.0%	1 1.7%
N=	98	118	117	60	120	67	41	58

《クロス集計まとめ》

【地区】

- A地区（尾崎・尾崎町）では「徒歩・自転車・バイクのみ」の回答割合が、D地区（和泉鳥取・山中溪・桜ヶ丘・緑ヶ丘）では「最寄り駅まで徒歩・自転車・バイク」「JR」の回答割合が、E地区（舞・鳥取三井・光陽台）、H地区（桃の木台）では「南海電鉄」の回答割合が、それぞれ他の地区に比べ高くなっています。

第8章 自由回答

1. はじめに

今回の住民意識調査では、453 件の自由意見が寄せられました。

ここでは、8つの分野ごとに自由意見を分類し、示しています。なお、類似する意見については1つの項に要約し、「(複数回答)」と併記しています。

2. 健康・福祉について

《福祉全般》

- ・福祉の面を充実させてほしい。(複数回答)

《医療》

○医療全般

- ・医療環境を整備・充実してほしい。(複数回答)
- ・医療を重点的に考えてほしい。(複数回答)
- ・娘も産院が近くにないので出産のための里帰りが出来ない。
- ・医療費の返金制度など知らない制度があるので、情報を得やすい環境をつくってほしい。
- ・医療費の不正請求に注意してほしい。
- ・内科、外科、小児科の診療所を桃の木台地区内へ早急に誘致していただきたい。
- ・休日、夜間医療を改善してほしい。
- ・市民が安心して暮すためには健康が第一。
- ・安心して老後を送れるよう、救急搬送のたらい回しなどを改善してほしい。
- ・ヒブワクチンの料金の無料化を考えるべき。
- ・地域医療を充実させてほしい。
- ・地域医療にまで広域的な考え方を採用したら健康維持ができなくなる。
- ・老後の医療がとても心配。
- ・病気の予防に力を入れてほしい。

○病院・市立病院

- ・市立病院を充実させてほしい。(複数回答)
- ・市立病院の医者・看護師の定着率や質を上げてほしい。(複数回答)
- ・市立病院を建て替えてほしい。(複数回答)
- ・救急にもしっかり対応できる病院がほしい。(複数回答)
- ・市立病院の運営の安定・適正化を図ってほしい。(複数回答)
- ・市立病院を市民が安心して利用できるようにしてほしい。(複数回答)
- ・貝塚病院、泉佐野病院、和歌山県立医大などとの広域的な連携を進めてほしい。(複数回答)
- ・市立病院の産科を再開させてほしい。(複数回答)
- ・市立病院の診療科目を増やしてほしい。(複数回答)
- ・市立病院における職員の態度(受付など)が悪い。(複数回答)
- ・市立病院を廃止してほしい。(複数回答)
- ・市立病院の設備・内装を充実させてほしい。
- ・市立病院の体制を1日も早く整えてほしい。
- ・病院を三ヶ月で移らなければならないのは困る。
- ・病院をきちんとしてほしい。
- ・個人病院に市立病院の場所を提供してはどうか。

- ・市立病院を移設してほしい。
- ・市立病院の桃の木台移転計画はどうなったのか。
- ・市立病院は残すべき。
- ・高齢化も進み対応しきれないので、箱作周辺にも病院を建ててほしい。
- ・隣の市町村と協力して拠点となる総合病院を建設する。
- ・車がない人は遠くの病院へ行けない。
- ・まず近くの市立病院の事を第一に市民に聞き耳を傾けてほしい。
- ・緊急時の病院の一覧表などを広報はなんに掲載してほしい。
- ・市立病院に研修医を積極的に受け入れてほしい、またその受け皿を完備してほしい。
- ・阪南スカイタウン内に総合病院などの医療施設を設置してほしい。
- ・市立病院の特化した分野をつくってはどうか。
- ・市立病院を誰もが身近に感じられるようにしてほしい。

《高齢者福祉・介護》

○高齢者福祉

- ・老人福祉施設を充実させてほしい。(複数回答)
- ・老人が住みやすい、安心して暮らせるまちづくりを考えていただきたい。(複数回答)
- ・高齢者が生活、行動し易い環境を整備してほしい。
- ・老人コミュニケーションの場を充実させてほしい。
- ・現役世代が元気な高齢者になれる様、啓発していくことが必要。
- ・福祉バス（コミュニティーバス）を増便してほしい。
- ・口先だけの福祉でなく、日常生活に必要な対策についてきめ細かく取り組んでほしい。
- ・福祉で他より充実した体制を構築してほしい。
- ・健康、福祉の面からの行政サービスを受けられる環境をつくってほしい。
- ・高齢者を温かく見守ってあげられる環境づくりを進めてほしい。
- ・一般の家を活用し、持ち回りで地域の方が集まれる場所をつくってほしい。
- ・人が近くにいる場ができ、防犯面でも良いと思うので、小学校や保育所に老人が集う場をつくってはどうか。
- ・老人用おむつの手当も支給して頂きたい。

○介護

- ・介護環境を整備してほしい。
- ・在宅介護の家族を支える場所をつくってほしい。
- ・介護保険を利用して、自宅で最期を迎えられる事を望む。
- ・介護施設を増やしてほしい。
- ・空き家を使ってグループホームをたくさんつくってほしい。
- ・介護保険制度を利用しないと損と思っている人が多い気がしてならない。
- ・介護タクシーが適正に利用されるようにしてほしい
- ・ケアマネジャーは本人、その家族の状況をよく把握して等級（介護度）を決定してほしい。
- ・高齢者を世話している方のストレスを軽減する体制をつくってほしい。
- ・自分が介護を必要とする時のために、ボランティアなどの活動で点数をためておくシステムがあると聞いたので、取り入れてPRしてほしい。
- ・介護保険のおかげで費用が安くなっているが、大きな金額が介護保険から支払われている事を考えると不安になる。
- ・多くの人が介護保険の世話にならず元気に老後を暮らせるようにしてほしい。

- ・低価格で入所できる老人ホームを増やしてほしい。
- ・介護などもう少し簡単に受けられるようにしてほしい。

《障害者》

- ・障害者用トイレを設置してほしい。
- ・福祉作業所ではなく普通の民間企業で働きたいので、市内で障害者雇用を創出してほしい。
- ・まだまだ障害児の理解が進んでいない部分が多いように思う。障害の有無に関わらず一緒に共同しながら生きていく世の中になってほしい。
- ・障害者や生活保護者のことをもっと考え、補助制度などを充実させることで、暮らしを楽にしたい。
- ・障害者の福祉施設を充実させてほしい。

《生活困窮者》

- ・生活保護の不正受給防止のため、認定を厳しくし、定期的なチェックを実施してほしい。(複数回答)
- ・障害年金または生活保護を、家族と住んでいる場合でも出してほしい。

3. 安心・安全な暮らし

《自然災害》

- ・増水時の対策のため、川（特に男里川）の土砂、草、ごみなどを取り除いてほしい。(複数回答)
- ・危険箇所の整備など、自然災害に対応したまちづくりをしてほしい。(複数回答)
- ・自治体ごとに避難場所が必要であると思う。
- ・防災マップを作成した後は、各自治会で看板を設置すべきであると思うので、個々に防災について関心を持たせるべきである。
- ・防災組織を自治会に委ねすぎていると思うので、バックアップをしてほしい。
- ・災害時の避難場所を知らない人が多いので、自分がどこに避難したらよいのかわかる様にしてほしい。
- ・自治会などを利用して自然災害を防ぐ対策をしてほしい。
- ・水害などは事前に調査して対策をしてほしい。
- ・津波で保育所が大丈夫か心配。

《消防・救急》

- ・桃の木台に消防署を設置してほしい。

《防犯・交通安全》

- ・一時停止無視、無謀運転、歩道走行などがみられるので、自動車、バイクを運転する人はマナーを守ってほしい。(和泉鳥取駅前など)(複数回答)
- ・自転車に乗る人はマナーを守ってほしい(複数回答)。
- ・犯罪も少なく安全、住み良い街なので、それを維持・向上させてほしい。(複数回答)
- ・ここ数年で治安が悪くなったように思う。(複数回答)
- ・箱作駅前の歩道橋で、信号無視をして歩道橋下の道路を渡る人が増えているので、呼びかける必要がある。
- ・女性が事件や事故に巻き込まれず、安全に過ごせるまちにしたい。
- ・治安が良いまちであってほしい。
- ・空き巣などの犯罪でなく凶悪な事件を調べる事に力を入れるよう警察に申し入れてほしい。

《上下水道》

- ・旧市街地などに下水道を整備してほしい。(複数回答)
- ・水道料金が安い。(複数回答)
- ・水道の水がまずい。(複数回答)
- ・下水道の調査・修繕・取替えなど維持管理を行ってほしい。
- ・下水処理をきちんとしてほしい。
- ・他地区のインフラを整備する際には受益者負担を考慮し、公平に実施してほしい。
- ・汚水処理施設の老朽化が問題。
- ・下水道使用料をもう少し安くしてほしい。
- ・下水道の個別負担をなくしてほしい。

《ごみ、再資源化、環境》

○ごみ・再資源化

- ・粗大ゴミの後始末。
- ・他の市に倣ってゴミ袋を有料化しようという安易な政策は疑問。
- ・ゴミの収集に力を入れてほしい。
- ・ペットボトルのキャップ集めを続けてほしい。
- ・リサイクルを促進すべき。アルミ缶、スチール缶、新聞紙や雑誌、プラスチックやトレイ、牛乳パックなどは各自治会に協力してもらって回収すべき。集まった資源は業者に売って、それで得た資金を市政の費用として充てることも出来る。
- ・全員でゴミを集めていない、乱暴にカンを放り投げて収集するなどの状況がみられるので、ゴミ収集の職員を教育してほしい。

○環境

- ・道や公園のポイ捨てを防止し、ゴミのないきれいなまちにしてほしい。(複数回答)
- ・広報や罰金制度などにより、川、山、海、農地などへの不法投棄の防止を徹底してほしい。(複数回答)
- ・犬など動物の糞が多い。(複数回答)
- ・火葬場を整備（建て替えなど）してほしい。(複数回答)
- ・犬、猫やタヌキが多く見受けられる。(複数回答)
- ・地域での清掃活動を増やしてほしい。(複数回答)
- ・川をきれいにしてほしい。(複数回答)
- ・ビニールの肥料袋、家庭ゴミ、産業廃棄物などを燃やしている人がいるので、取締りをきびしくしてほしい。(複数回答)
- ・まちのゴミを拾っても個人のゴミ袋に入れなくてはならないし、多すぎるし、分別できない物がある。
- ・環境に配慮した政策を行ってほしい。
- ・関西国際空港の夜間の騒音が大きい。陸上の航行を禁止してほしい。
- ・猫、犬を飼う際のマナーについて配布してほしい。
- ・市内道路の側溝が煙草のポイ捨てにより美観を損ねている、夏場に悪臭を放っているといった状態がみられる。

4. 快適な暮らし

《道路》

○道路・駐車場

- ・道路を整備してほしい。(東西の動線、幹線道路、右折レーンの設置、市内主要道路、下出・黒田各交差点の南北の道路など)(複数回答)
- ・道路を拡張してほしい。(循環バス道路、石田地区、和泉鳥取駅ガード下、国道26号線までの道路、尾崎駅東西の踏切、駅からの主要道路など)(複数回答)
- ・迷惑駐車を減らしてほしい。(複数回答)
- ・駐車場が少ない。(尾崎駅地区など)(複数回答)
- ・右折レーンを整備してほしい。(和泉鳥取高校交差点など)(複数回答)
- ・道路がデコボコすぎるので改善してほしい。(舞地区など)(複数回答)
- ・道路の渋滞を何とかしてほしい。
- ・第二阪和道路のバイパスを延長してほしい。
- ・道路の舗装を平等に行ってほしい。
- ・南関空橋を阪南市に接続させるなど、りんくうタウンが阪南市まで延びれば、関空のメリットが活かせると思う。

○道路付帯施設

- ・街灯を増やしてほしい。(和泉鳥取駅周辺、男里川沿い、スカイタウンなど)(複数回答)
- ・側溝にふたをしてほしい。(複数回答)
- ・信号を設置してほしい。
- ・カーブミラーを設置してほしい。

○歩道・自転車・駐輪場

- ・歩行者が安全に通行できるよう、拡幅する、凹凸や水溜りなどを解消するなど歩道を整備してほしい。(舞地区など)(複数回答)
- ・駅近くに自転車置き場をつくってほしい。(無料の駐輪場がほしい)(複数回答)
- ・ランニング・散歩等出来る安全な道路がほしい。(複数回答)
- ・自転車、バイクの道をつくってほしい。(複数回答)
- ・車が通ってはいけない道をつくってほしい。
- ・放置自転車が多い。
- ・歩道は狭く、車道は危険なため、自転車でどこを通行してよいかよくわからない。
- ・回収された放置自転車を平日昼間しか取りにいけないのはおかしい。
- ・平日は料金が高いが休日は無料となる、尾崎駅と和泉鳥取駅で料金が異なるなど、駅の駐輪場の料金に不満がある。もう少し安くする、または平等に料金をとるなどの対策を行ってほしい。

○駅前整備

- ・尾崎駅周辺を整備してほしい。(ロータリーや車を止められる場所の整備、高架化など)(複数回答)
- ・尾崎駅周辺の車の混雑を何とかしてほしい。(複数回答)
- ・駅周辺の段差や商業施設の階段などをバリアフリー化してほしい。(鳥取ノ荘駅など)(複数回答)
- ・和泉鳥取駅にタクシー乗り場が欲しい。
- ・尾崎駅周辺が暗っぽく感じる。

《公共交通》

○公共交通全般

- ・交通を便利にしてほしい。(里海公園など)(複数回答)

○鉄道

- ・JR和泉鳥取駅に快速が停車するよう要請してほしい。(複数回答)
- ・駅をバリアフリー化してほしい。(尾崎駅山側、鳥取ノ荘駅)(複数回答)
- ・箱の浦駅を設置してほしい。(複数回答)
- ・南海電車を便利にしてほしい。(所要時間の短縮、箱作駅への特急・急行電車の停車、特急電車の増発、最終電車の繰り下げなど)(複数回答)
- ・鳥取ノ荘駅の改札口を山側にもつくってほしい。
- ・箱作駅改造工事はなぜ縮小されたのか。
- ・山中溪駅の乗降客を恒久的に増やすため、インフラ整備などの政策を実施してほしい。
- ・喫煙室のようなものをつくってほしい。
- ・高齢者の大阪市内への交通費を安くなるようにしてほしい。

○バス

- ・コミュニティバスの増発、運行時間の変更を行なってほしい。(1時間に1本程度、早朝・夜間の増便など)(複数回答)
- ・コミュニティバスのバス停を利用しやすい場所に設置してほしい。(12m道路、平野温泉など)(複数回答)
- ・コミュニティバスのコースを見直してほしい。(JRの駅へのルート設定、光陽台舞コースの見直しなど)(複数回答)
- ・コミュニティバスを小型化してほしい。(複数回答)
- ・バスと電車の時刻を乗り継ぎしやすい様に合わせてほしい。(複数回答)
- ・路線バスを増発してほしい。(複数回答)
- ・コミュニティバスをもっと充実してほしい。
- ・ノーマイカーデーやノーマイカータイムなどの啓発活動と、それに伴うコミュニティバスの増便を実施してほしい。
- ・コミュニティバスが走るようになり便利になった。
- ・移動手段を持たない老人の暮らしを大切にしてほしい。
- ・日曜祝日など、公共交通機関(バス)を市内全域に充実させてほしい。
- ・イオンから関西国際空港に行く100円バスを、尾崎まで延ばしてほしい。
- ・バスで公共施設に楽に行ける様にしてほしい。
- ・岬町のコミュニティバスと当市のバスのターミナルを共有して、移動の便を良くしてほしい。
- ・70歳以上のコミュニティバスの運賃を無料にしてほしい。
- ・コミュニティバスの運転手は、態度、運転、対応が人によってムラがある。
- ・バスのコストは受益者負担にすべき。
- ・イベントの際のバスの運休は迷惑。

《住環境、都市整備》

○住環境

- ・今後は阪南市も空き家が増えてくるのが目に見えている。春休みでも子供の声が聞こえない。
- ・阪南市全体がスカイタウンの様に整備されていたらよいと思う。
- ・空き地の目立つスカイタウンをどうしていくべきか、本気で考えられているのか疑問に思う。

- ・海のある美しい景観を活かし、若い家族世帯が住みたくなるような住空間を整備し、ブランド化による地価、税収の上昇を目指してはどうか。
- ・桃の木台は、住民には建築協定で緑化のしほりを設けながら、誘致先の企業にはそこまで求めていない様な感じがする。
- ・唯一の資源である自然環境を活用した、住み易い魅力ある南大阪のベッドタウンとして発展させるべきである。
- ・よく山を削り、住居などを建てている光景が見られるが、他に余っている土地を有効利用できないのか。

○都市整備

- ・駅前を整備してほしい。(再開発など)(複数回答)
- ・市役所周辺を整備してほしい。(複数回答)
- ・尾崎駅の海側は旧住宅、お寺などがあるが、街並保存をしていく計画はないか。
- ・尾崎駅周辺に公共施設をかため、自動車の乗り入れを制限して環境や歩行者の安全に配慮するなど、長期的展望を持ったまちづくりが大切である。
- ・生活環境を整備してほしい。
- ・周囲の他市に比べ、まちづくりに関して特に力を入れておらず、街が汚い。「美化」されていない。
- ・現在、あまりにも人の往来の少ない活気の無い町になっていると思う。
- ・もっとまち並みを整えてほしい。
- ・南海、JRとの共同開発を推進してほしい。
- ・新興団地を再整備してほしい。
- ・田畑の跡地などの地番を整理してほしい。
- ・都市インフラの整備に課題がある。

《公園・自然環境》

○自然環境

- ・他の市町村に比べ誇りに思うべき豊かな自然があるので、希少生物が生息できる山、川づくりを進めてほしい。(複数回答)
- ・他の市に比べて花や緑が少ない様に思うので増やしてほしい。(複数回答)
- ・田や緑を残してほしい。(複数回答)
- ・昔のような孫に伝えられる自然がないので、老人が小さい子たちと交流しあえる自然がほしい。
- ・自然環境の良いまちづくりを行なってほしい。
- ・老人が憩え、子どもが安心して遊べるまちづくりにしてほしい。
- ・子供が生まれると木をもらうが、植える所がない人には植えられる所を提供してほしい。

○公園

- ・町中に公園・広場がないので整備してほしい。(複数回答)
- ・大きな公園をつくってほしい。(複数回答)
- ・老人のための公園をつくってほしい。(複数回答)
- ・ボール遊びが自由にできる場所をつくってほしい。(複数回答)
- ・遊具の点検をしっかりとしてほしい。(複数回答)
- ・尾崎町にも箱の浦のような公園をつくってほしい。(複数回答)
- ・周辺の市町の人も出掛けて来るような自然公園を造成してほしい。
- ・森林公園を充実させてはどうか。

- ・休耕田などを利用して地区で2〜3、遊具を含めた公園作りをしてほしい。
- ・公園の遊具などが撤去されている。
- ・東鳥取地域に公園を整備してほしい。
- ・誰も使わない公園は不必要。
- ・男里川の阪南市側にも木や花があっても良いと思う。
- ・花壇とか桜があれば言うこと無し。
- ・夏には水遊び出来る浅い人工川をつくってほしい。
- ・タコ公園が死角になるので心配。
- ・憩いの場の設置が必要。
- ・中高年に向けての遊歩道をつくってほしい。

○川・海

- ・雇用や観光客の確保のため、海沿いや川沿いを里海公園のように整備してほしい。(複数回答)
- ・海、海岸をきれいにしてほしい。(尾崎町1丁目 No.8 桶門の下など)(複数回答)
- ・川沿いをきれいに整備してウォーキング道や桜並木にしたら、花見も出来て近くのスーパーも繁盛すると思う。(例：夙川沿い)
- ・男里川について、自然を残しつつ、お年寄りや若い人達も安心、安全に通行でき、散歩できるようにしてほしい。桜の咲く季節にイベントを実施したり、花を植えて遊べるスペースを作ったりできないか。
- ・箱作を除き海辺が整備されておらず、住民の心の癒される場所として成り立ってない。

5. 産業

《産業全般》

- ・農業、漁業、商業、製造業の発展については、以前から絶望視しており、住宅の増加などについて手詰まりと感じている。
- ・雇用や農業漁業、商業共に今ひとつパツとしない。
- ・産業の活性化を推進していただきたい。
- ・産業については、農業、漁業などの後継者も少なく、又、企業誘致も進んでいないように思う。
- ・急激な商業化、工業化は市民の誰もが望んでいないと思う。
- ・情報産業を核に据えて、農業、漁業、住民と昔からある商工業(浪花酒造など)が手を携えて、阪南市をアピールしていったら良いと思う。

《農業・漁業・製造業》

- ・地産地消の場所を作り、農業漁業を活性化する。(道の駅、海の駅、農家レストランなど)(複数回答)
- ・花の栽培、販売、農地の貸与など農地を有効利用してほしい。(複数回答)
- ・市所有の田畑を活用してほしい。(子供達の農園にする、稲作をし米を学校給食や災害時備蓄米として活用する、市が買い取る、など)(複数回答)
- ・農業、農家の後継者が少ない。(複数回答)
- ・年1、2回農業祭などを行ってはどうか。
- ・これから農業は工業農業になる。阪南市は天災、台風など少なく、水は多少考えなければいけないが、先端産業である工業型農業会社を考えたらどうか。
- ・とれとれ市場などの大規模な市場を開催してはどうか。
- ・泉佐野市ある『こーたりーな』の様な新鮮で安全な野菜や食べ物を売る所をつくってほしい。

《観光》

○観光全般

- ・ 阪南ブランドを開発してほしい。（例：水茄子、浪花正宗）（複数回答）
- ・ 若者が少ないのでマリンスポーツやアートなど、若者が集まりやすいイベントを提供してほしい。
- ・ 市のイメージキャラクターをつくり、外部に阪南市をPRする部署（例えば観光協会など）を創設して、「観光」に力を入れたまちづくりを進めるべき。
- ・ 観光マップなどをホームページに載せてほしい。
- ・ 朝市について、他の市は早々から実施している。阪南市の市民は他の市に行きすぎている。
- ・ 他の自治体、市内企業との共同イベントをし、観光客を呼び込んでほしい。（例：河内長野市、大阪狭山市）
- ・ 目玉的な物がなく、場所も説明がいるため、まず阪南市そのものをアピールする必要があると思う。

○集客施設

- ・ 「道の駅」のような、地元の土産物を販売できる場所を市民参加型でつくってはどうか。（複数回答）
- ・ 1日遊べる場所を増やしてほしい。（お金をかけずに遊べる場所、子どもから大人まで楽しめる場所、家族で楽しめる場所など）（複数回答）
- ・ 年間を通じて集客できる施設がないと思う。（複数回答）
- ・ 山中溪地区の道の駅やレクリエーション施設などを整備してほしい。
- ・ 若者が遊べるレジャー施設がほしい。
- ・ 山中溪地区の活性化のため、コンビニの誘致について検討してほしい。
- ・ スーパー銭湯などの混合施設を建設してほしい。
- ・ 自然を活用し、キャンプ場などの施設をつくりアピールしてはどうか。

○観光地（山中溪、里海公園、箱の浦海水浴場）

- ・ 里海公園の駐車料金が高い。（無料にしてほしい）（複数回答）
- ・ 里海公園をもっと活性化してほしい。（レストランの誘致、イベント開催など）（複数回答）
- ・ 海水浴場。ビーチバレー大会、コンサート等々のイベントを開く。（複数回答）
- ・ 桜の時期、山中溪にトイレや駐車場が少ないと思う。
- ・ 山中溪にバーベキューが出来る場所をつくってほしい。
- ・ 山中溪にさつき、アジサイ、梅、桃などの花が咲く通りや公園、池の土手等を作る。
- ・ 山中溪の日本一長いすべり台の周辺を整えて、色々な遊び場を設けてほしい。
- ・ わんぱく公園のすべり台は、温泉の足場や本当の川など、あれば良いがそれだけなので、整備がやりたい放題に思える。
- ・ 山中川沿いの桜並木、ふるさと再生で作ったわんぱく公園はさらに充実した設備にしてほしい。
- ・ 川を整備して遊歩道やホテルがたくさん集まる場所をつくって名所にしてはどうか。
- ・ 山中溪の桜並木、蛍が飛び交う川など大切にしたい。あまり山も切り崩さないでほしい。
- ・ 里海公園は海水浴以外は閑散としており、魚釣りができないので、時間制限を撤廃するなど、以前のように自然の海を開放してほしい。
- ・ 里海公園の利用度を向上させるため、府と協調の基、夏は海水浴、冬はそれなり、一年中活かせる公園を目指してほしい。
- ・ 岬町では里海公園を積極的に活動しているのに、阪南市は活用していない。
- ・ 市外の人を里海公園に連れて行くと海が見られて安らげる公園で気に入ってもらえた。

- ・「せんなん里海公園」、「箱作ぴちぴちビーチ」のトイレの整備がよい。
- ・海水浴場のアピールなどにより観光客を増やし、飲食店などに客が流れる様にしてほしい。
- ・海岸を秋、冬にも活かしてほしい。
- ・ピチピチビーチをもっとPRしてほしい。

《商業・事業所》

○商業・事業所全般

- ・治安・環境の悪化などの悪影響が懸念されるので、企業の誘致、店舗の長時間営業は慎重に検討してほしい（複数回答）
- ・行政による婚活（婚活パーティー、見合いの斡旋など）を開催して、結婚を推進し阪南市に定住してもらうのはどうか。（複数回答）
- ・商業・工業の活性化のための取り組みを進めてほしい。

○商店

- ・車がないと買い物できないので、家の近くにスーパー、電器屋などの商業施設がほしい。（箱作、スカイタウン、下荘など）（複数回答）
- ・尾崎駅など駅前の商店を充実させてほしい。（喫茶店、飲食店、ファストフード、レンタルビデオ店、パン屋、ケーキ屋、薬局など）（複数回答）
- ・国道沿いなど、閉店した店舗および空き地をよく目にする。（複数回答）
- ・桃の木台に郵便局（ATM）を置いてほしい。（複数回答）
- ・買い物を大阪市など市外でしているのが現状である。（複数回答）
- ・食品、日用品小売店などの店舗がもっと増えてほしい。（複数回答）
- ・郊外型の大型商業施設をつくってほしい。（日用品が購入できる場所など）（複数回答）
- ・映画館がないことに驚いた。
- ・尾崎町にも銭湯をつくってほしい。
- ・専門店（電機店）がほしい。
- ・夜でも遊べる所をつくってほしい。
- ・市街地の商業施設を活性化してほしい。
- ・飲食店の数が少なすぎる。（複数回答）
- ・買い物がしやすい都市にしてほしい。
- ・平日でも多くの若者が買い物に来る、うろうろしている姿を見かけ、働く場所がないのかと思ってしまう。
- ・お出かけできる場所が少なく困る。
- ・すべての世代が楽しめるような場を作るべきだと思う。
- ・フリーマーケットを開催できれば人も集まるしお金も回ると思う。
- ・商業的なのは、近くに行ったらイオンもりんくうタウンもあるから必要ないと思う。
- ・電球を買いにいくだけでもイオンへ行かなくてはならなくなった。
- ・主婦向けの地元食材を使い、主婦・高校生・おばあちゃんなどが運営するレストランはどうか。
- ・カラオケやファストフード店など、学生向きの施設をもっとつくってほしい。
- ・新しいお店ができてはすぐに閉店してしまう。
- ・前回のアンケートにも市民の要求の第1位であったスーパーが来てほしいとの結果であったと思うが、行政が努力している様子が市民に伝わって来ない。
- ・商業の誘致にはPRが必要。
- ・駅周辺などにはスーパーがたくさんあり、とても満足している。
- ・スーパーと協力して週2〜3回でもバスを走らせるなどを将来的に考えてほしい。

○企業誘致

- ・市内の雇用創出、財源確保のため企業を誘致する。(例：泉佐野や岩出にある産直市場や田尻の漁業体験) (複数回答)
- ・新たな産業の創出、阪南ブランド(十四匠)の発展、若い人材の発掘、市民からのアイデア募集などを行ってはどうか。
- ・立地条件や経済情勢から企業誘致は難しいので、堺、岸和田、関空関係従事者のベッドタウンとしてのまちづくりをしてほしい。
- ・企業の誘致はもとより、社員寮を建てたり、周りにお金を使ってもらうような所を作ったりしないといけない。
- ・有料老人ホーム、精密機器、IT産業など、環境に良い企業を誘致してほしい。
- ・桃の木台の商業用地に倉庫業は誘致しないはずだったが、誘致に応じる企業が見つからないため、無し崩し的に誘致したのか。
- ・現在この土地で働いていらっしゃる方はどちらかといえば少ないと思う。
- ・国道26号線が高架になり、周辺産業が衰退しているので、早急に策を講じてほしい。

《雇用》

- ・産業を発展させ雇用を充実させてほしい。
- ・すべての人が活力を持って働く環境がほしい。
- ・シルバー人材センターでは同じ人ばかり雇用しているため、新しい人は仕事に就けない。
- ・65才以上の元気な人も働ける所があれば紹介してほしい。
- ・子どもがいる場合、残業、休日勤務が必要、子供の病気の際に診てくれる人がいることが必要などの条件で子育てと仕事が両立できないので、働きやすい環境をつくってほしい。(複数回答)
- ・医療、子育て、福祉などで他より充実した体制を構築してほしい。
- ・テレビで阪南市もすごい企業があると知った。
- ・泉佐野まで遠いので、泉南市か阪南市にハローワークがほしい。
- ・海のそうじなどの仕事を市の方でつくってほしい。
- ・若い人が、阪南市内で働いて市内で住めるような町になってくれるといい。
- ・もっと雇用人数が増えたら、町も活気づくと思う。町で働きたい人が増えたらうれしい。

6. 子育て・教育・生涯学習

《子育て》

○保育所・学童保育

- ・保育所、学童保育などを充実させてほしい。(例：熊取町) (複数回答)
- ・既存資源を活用して保育所をつくってはどうか。(空き家や閉店した商業施設の活用、高齢者ボランティアの活用など) (複数回答)
- ・保育所を作り、無償で入園させ、働く母親をもっと増やすべき。
- ・保育料を安くして、育児のしやすい市にしてほしい。子供を育てていくのにお金が必要。
- ・小学校高学年でも子どもを預かってほしい。
- ・幼稚園で長期休暇中も子どもを預かってほしい。
- ・小学校の長期休暇中も学童で預かってほしい。
- ・子供の健全な育成のための福祉施設の確保が必要。
- ・子供が病気の時に、預かってくれる施設がほしい。
- ・幼・保一元化になれば良いと思う。
- ・定員以上の幼児がおり、私立幼稚園への優遇が強く感じられるので、公立幼稚園を充実させてほしい。

- ・幼稚園のトイレの洋式化を促進してほしい。
- ・3才児保育を始めてほしい。(朝日幼稚園)
- ・駅前託児所の設置(官民)。
- ・幼稚園が廃園になると聞いて不安。

○子育て環境

- ・子育てのしやすい環境を整えてほしい。(複数回答)
- ・海のそばで暮らす楽しさや、自然とともに子育てできる環境をもっと整えてほしい。
- ・杉並区のようにこども手当を現金支給ではなく「子どもクーポン券」という形にすれば良いと思う。→阪南市のお店限定など。
- ・自然環境は良く、住宅価格も安いので、通勤の問題を解決できれば若い人が家を持ち子供を育てられると思う。
- ・子育てで他より充実した体制を構築してほしい。
- ・学級閉鎖の時に、元気な子供達だけ集まれる場所をつくってほしい。
- ・阪南市は、子供の医療が3歳未満までただではなく、1回につき500円取るのが気に入らない。
- ・子育て中の方の楽しい育児教室を開設してほしい。
- ・NPO、福祉協議会のイベントは子どもたちが喜び、貴重な体験となるので助かる。行政も手助けしてほしい。
- ・安心して出産出来る環境をつくってほしい。
- ・保健センターでの発達検査などのデータを教育課へ引き継げるようにしてほしい。
- ・若い母達、これから母になっていく人達のサポートを増やしてほしい。
- ・高齢者を大事にしすぎて、子供の遊び場などがどんどんなくなっていくのが不安。

《学校教育》

- ・小、中学の学力向上など教育に力を入れてほしい。(体育の授業を減らすなど)(複数回答)
- ・学校の施設、設備をもっと充実させてほしい。(プール、エアコン、トイレ改修など)(複数回答)
- ・充実した教育環境を整えるべきだと思う。(複数回答)
- ・子どものマナー・素行を教育してほしい。(府営公園のゴミの山や、食事を食べてすぐ放置するなど)(複数回答)
- ・小学校が一学年にクラスしかないので合併してほしい。(複数回答)
- ・こども手当より、給食費の無料化や文具の支給にした方がよいと思う。
- ・専門学校等の誘致により若者の増加を図ってほしい。
- ・教育レベルが低く孫達の世代になった時に住み続けられる自信がない。
- ・PTAは開けているようだが役員になった人しかわからない。
- ・教育委員会は何をしているのかわからない。
- ・子どもに対する教育、しつけを積極的に行う。
- ・教育現場の人員を他部課からの異動で充当して増やしてほしい。
- ・小学校を最低2クラスにすべきだと思う。
- ・小学校が一クラスしかないので、学校ではきちんと勉強を教え、家庭で復習させる事に重点をおいてほしい。
- ・プールの授業が年3回しかないことが不満。
- ・学校のトイレの洋式化を促進してほしい。
- ・中学校で給食を実施してほしい。
- ・防犯・交流などの目的のため、小学校や保育所に老人が集う場をつくってほしい。

- ・学校も特色があってよいと思うが、校区があるため行きたい学校へ行けない。(修学旅行先などが選べない)
- ・貝掛中学への通学路が暗いので、鳥取中学と統合してほしい。

《青少年育成》

- ・保護者や地域の人々で、将来、阪南市を担う子供達を育てていかなければならないと思う。(複数回答)
- ・子ども達をマナーの悪い大人にしたくないので、まちぐるみで勉強できる取り組みがほしい。
- ・スーパーでの子どものマナーが悪い。
- ・学生の深夜徘徊や、コンビニでのたむろなどが見られ、モラルのかけらもない。
- ・警察の未成年に対する取締りが甘い。
- ・和泉鳥取の駅では、駅員が掃除してもゴミだらけで、注意もしにくい状態だと思う。
- ・大人が叱ったり教えたりできないことがふがいない。
- ・公民館活動は地域の人達の集いの場として大きな役割をしてくれると思う。
- ・中学生のたむろやポイ捨てがあるが、直接注意をしても聞かず、親も知らんぷり、中学校に連絡をしてもイヤイヤ対応するような状態なので、警察の巡回など強化して、親にも皆さんに迷惑を掛けている事を知らせてほしい。
- ・市の中高生、大学生らが小学生を指導するアウトドアの教室を行ってほしい。
- ・喫煙、駅のすわりこみ、電車内の着替えなど、高校生のマナーが酷い。
- ・学校外での授業をする、父兄が教壇に立ち、授業を教える、といった教育が出来ればよい。

《生涯学習・スポーツ》

○生涯学習・スポーツ全般

- ・公民館や体育館などの利用時間を改善してほしい。
- ・自然環境を活かした講座をやってほしい。

○図書館・文化施設

- ・図書館を充実してほしい。(複数回答)
- ・図書館を利用しやすくしてほしい。(開館時間延長、整理のための休館の削減など)(複数回答)
- ・カルチャースクールを実施してほしい。(夜も含めて)(複数回答)
- ・市の行事や学習などが平日の昼間で参加しにくいので、夜の部をつくってほしい。(複数回答)
- ・若い人向けの講座をつくってほしい。(茶道やフラワーアレンジメント、ダンス、バレエ、音楽、歌など)(複数回答)
- ・公民館、体育館、各センターなどを幅広く開放してもらい、生涯学習へのバックアップに寄与してほしい。(複数回答)
- ・図書館の蔵書が古く、少ないので、新刊を入れ、本の種類を増やしてほしい。
- ・阪南市立図書館が充実しているので助かっている。
- ・生涯学習をもっと展開してほしい。
- ・一部だが図書館の人の対応が悪い。
- ・図書館に自習室がほしい。

○スポーツ施設

- ・市民プールの開催日を多くしてほしい。
- ・テニスコートが少ないので、買収などで安く手に入れてほしい。
- ・近場にスポーツができる施設がほしい。(ゴルフ場など)

- ・温水プールを午後 10 時まで営業してほしい。

《歴史・文化》

○歴史

- ・阪南市には歴史・伝統のある祭りがあるので、もっと市自体が力を入れ協力してやるべきだと思う。
- ・山中溪地区の歴史とその環境を大切にしてほしい。
- ・文化的活動に対する行政側の推進姿勢を見直し、文化協会の活性化を図ってほしい。
- ・町の芸術家の展覧会を実施してほしい。

○イベント・行事

- ・祭りに参加していない人のことも考えてほしい。(騒音、交通規制、バスの運休など)(複数回答)
- ・全国的な知名度向上、観光客増加、外国人訪問増加などのために、やぐら祭りをPRしてほしい。(複数回答)
- ・祭りは場所によってよそ者扱いがあるので、新しい住宅地の人などは参加しにくい。
- ・祭りは言葉使いや治安の悪いイメージがあるそうです。
- ・祭りの際無法地帯になるようで心配なので、規律を守り真に楽しめるような祭りにしたいと思う。
- ・阪南市の行事、イベントをもっとしてほしい。
- ・阪南市出身のお笑い芸人を活用し、TVやサラダホールで阪南市をアピールしてもらってはどうか。
- ・X'mas Concert がなくなり寂しい。
- ・秋祭りやパレードの宣伝を泉州地区まで大きくし活性化してほしい。
- ・お祭行事のパレードは 10 年に 1 回で良いと思う。各自治会の負担も大きいので。
- ・年々観客も減っているので、祭りのパレードは以前のように 2 日間だけでもよいのではないかな。
- ・イベントの期間の交通渋滞は頭が痛い。人が集中した時の交通の利便性をもう少し向上させてほしい。
- ・1 年に 1 回市民デーを作り、郷土料理を作って食べたい。
- ・文化的、歴史的なことに対して、市民の関心が低いように思う。
- ・祭りは新興住宅には参加しにくい部分もあるが、見学・参加したいと思っている。
- ・行事、催し物などの案内も知らせてほしい。
- ・子供達が安心して自然と親しめる、海、山、郷土の歴史を活かした「環境立市」として住環境を整備して行くのはどうか。
- ・市民参加型の文化活動の門戸が狭まり、機会が減ったので、せめて前の水準に戻してほしい。
- ・成人式の日程や開始時間について、わかりやすく掲示や案内を送るなどしてほしい。
- ・成人祝いの小さい花束的なものがほしい。

《国際・国内交流》

- ・関空やりんくうタウン国際交流センターが近くにあり、阪南市にも外国人が働き、住んでいる人も多くいるのに国際交流に対する行政の意識が低すぎる。
- ・地域の特徴を知る機会が少ないので、他の地域と連携した企画により交流を増やしてほしい。

7. 協働・コミュニティ

《ボランティア活動》

- ・ボランティア活動参加のための人材育成を積極的に進めてほしい。
- ・市民による公園の整備などは、最近NPO流行りとはいえ行政側受け皿あるいは推進母体がないと難しいことが多いと思う。
- ・行政として、コミュニティやボランティア、サークルの活動をバックアップしてもらいたい。
- ・財源の確保のために、ボランティアを積極的に、行政の場でも活用してほしい。
- ・ボランティアについては、リーダー的な存在の人がいない。
- ・土、日は若者もボランティアに出て、活気ある市にしてほしい。

《協働まちづくり・市民参画》

- ・起業など、高齢者の活動をバックアップしてほしい。（複数回答）
- ・イベントなどでの市民の参画機会を創出してほしい。（複数回答）
- ・参画型まちづくりをじっくりと進めてほしい。
- ・定年を迎えたので、市の諸活動へ貢献したい。
- ・自治会により高齢者の多い所があること、昼間は男性の不在が多いことが課題だと思う。
- ・キーマンとなる人材を発掘、育成してほしい。
- ・元気な高齢者は、身の回りやまちの掃除など社会への還元を実施すべきだと思う。
- ・古き良き時代の「共同体」の組織と退職者の社会参画への場が必要かと考える。
- ・府の交付金廃止により地域の有償ボランティアで維持されているものが崩されるのではないかと心配。
- ・委員会のようなものを、各方面に顔を出している人以外で構成してほしい。いい人材は埋もれている。
- ・行政と市民との情報、意見交換をもっと積極的におこなえば良いと思う。
- ・財政難の中、行政に加え市民が自分の町に感心を持ち、アイデアを出し、協力する姿勢が必要だと思う。
- ・集客施設を設け、ボランティアに施設管理に参加してもらい、税金・保険の支払いを減免することで積極的な参加が見込まれるのではないかと。（参考：徳島県上勝町の事例）
- ・市民活力に課題がある。
- ・健康で生活でき、医療の世話にならないよう地域をあげて老人会の活動を指導すべき。
- ・阪南市は隣近所仲良くでき、自治会に全員加入し自分達の住んでいる人々の様子がわかり、各地区の地区長は自分達の地区の人々をしっかりとつかんでいる。老人、子供などを地域で見守らなければならない、民生委員やボランティアでは災害の時役立たないため、まず隣近所の協力が必要。年末年始に1回ずつ集合し、顔合わせなど、行政の指導してほしい。
- ・安心して暮らせる様に、この先もお互い良い環境とすべく1人1人が協力して行く事が必要。
- ・偏った意見になるので、色々な問題に積極的に参加する人、しない人両方が意見を言える場の提供が必要だと思う。
- ・前市長の時代よりまち興し、まちづくりは市民主導でということで市民に頼っているところが強く、市民も各地区でそれに答えて頑張って張り切ってやっていると思う。

《市民生活》

- ・利権についての活動など、田舎の風土が悪い意味で残り、他地域にある常識が少ないと思う。
- ・若い人と年老いた人との、コミュニケーション、思いやり、会話をふやすことが必要。
- ・人にとって最も基本的で、かつ最も重要な単位は家族であるので、まちづくりにおいて家族に焦点を当てるべき。

8. 行政経営

《行政の情報提供》

- ・ホームページがわかりにくいので、見やすくしてほしい。（市のサービスに関する情報、スポーツ施設の予約など）（複数回答）
- ・市の情報を見るために携帯のウェブサイトもあったらいいと思う。（複数回答）
- ・むやみに行政用語やカタカナ用語（アドプトリバーなど）を用いず、高齢者にもわかるような言葉を使ってほしい。（複数回答）
- ・ホームページの充実、講演会など、市の現状について市民の理解を得るための方策を講じてほしい。（複数回答）
- ・市民活動の情報をもっと知りたい。
- ・アンケートをやるなら、インターネット上で実名の（公開）討論をするべき。
- ・twitterなどで市役所での仕事内容などをつぶやいたり、HPの更新を連絡できたりすると思う。
- ・全国的に良い町とされている所の状況を調査し、良い例を広報「はんなん」に公表してはどうか。
- ・市会議員の1年間の出欠状況をはんなん広報に載せてほしい。
- ・市民の遣り甲斐、協力意識が高まるよう、例えばゴミ分別収集結果、ペットボトルやダンボール資源としてどのように生かされているのか等の結果や成果情報を流してほしい。
- ・放送が何を言っているのか分からない。
- ・若者の興味を引くような媒体で情報を提供するなど、無関心の若者を引き込むような工夫が必要だと思う。
- ・広報活動や啓発活動がもっと必要なのではないのでしょうか。情報を知らないために損をしている市民がたくさんいると思います。
- ・小学校の合併やゴミ袋の有料化などは、市民の目に付くあらゆる所に、ポスターなどで情報を発信すべき事だったと思う。
- ・市民の意識改革のため、市が目指すもの、行っている事を市民に発信することが必要だと思う。
- ・子供達にこの土地で育ったという誇りを持ってもらうため、TVなどで有名な方を招いたり、報じたりする事も必要だと思う。

《職員育成》

- ・職員数を減らしてほしい。（複数回答）
- ・市職員の態度が悪い。（複数回答）
- ・市職員の給料を減らすべき。（複数回答）
- ・平日では行政サービスを受けられないので、所定内の労働のみならず時間外労働や休日のサービス提供も行うべき。（複数回答）
- ・役所の方はもっと現場を見てほしい。（複数回答）
- ・もっと仕事をまじめにやってほしい。（複数回答）
- ・市役所内部の雰囲気が悪い。
- ・電話の応対が悪い。（たらい回し、答えがあいまい、電話番号の間違いなど）
- ・市民の血税で行政が稼動していることをもっと自覚してほしい。
- ・市職員を地域の行事に参加させるよう啓発してほしい。
- ・近年では職員のサービス心が向上してきた様に思う。
- ・阪南市職員の異動、配転が適正な見地で行われているのか疑問を感じる。
- ・市役所は市民の物なので、市役所のことを「うち」と言わないでほしい。
- ・市長、市議、公務員が一体となって、市民のために市の活性化、コスト削減、サービス向上な

どに本気で取り組んでいる姿を見たい。

- ・組織の機能を充分発揮させるため、まず人材育成が必要と考える。
- ・受付の衝立を取り外し、事務所内が見えるようにしてほしい。
- ・なるべく紙のむだ遣いをしない工夫を徹底してほしい。
- ・時間外労働でも市民のため勤務するような職員が多くなれば、阪南市も良くなると思う。

《市政運営》

○市政

- ・行政のサービス程度は不十分である。(複数回答)
- ・府との協調など、組織の再見直しをしてほしい。
- ・役割と分担人員を再検討してほしい。
- ・阪南市は保守的である。もっと奇抜な発想で行政改革をするべきである。
- ・新市長のビジョンが見えない。
- ・協働は重要なことかもしれないが、その前に協働してもらうような提案を作ることが重要なのではないか。
- ・福山市長は元職員、職員とのしがらみにとられる事無く、市役所内の改革をお願いしたい。
- ・前市長は町のゴミ拾いや市民とのふれあいが多かったと思うが、現市長は市民の半分もの人が顔を知らないと思う。
- ・行政は先を見て「どういう市にするか」の方向性を決め、市民の年齢層、生活層などの実態をふまえたまちづくりをしてほしい。
- ・市民を思う先を見る目、リーダーシップのとれる人材が必要。
- ・この市は知名度が低く、またこの市が目指す方向性が我々市民にも大変わかりづらい。魅力的な市にするにはどうすべきか、まずは市民の意識改革から始めてはどうか。
- ・全てを一気に改善していくのは不可能なので、市民の立場に立って市民の意見に耳を傾け、優先順位をつけて取り組んでほしい。
- ・開かれた行政指導を希望する。
- ・市民負担は低くないはずなので、行政のあり方を見直すべき。
- ・阪南市は、“とりあえず、やりました”という感じがある。みらい戦略室をつくって、こんなアンケートを作って、お金も時間もかけている以上、結果を出してほしい。
- ・市民本位の行政サービスをしてほしい。
- ・施設整備をする際、地元出身の府議や国会議員への支援要請、新聞・テレビなどでのPRが必要だと思う。
- ・公共事業における談合防止策として、設計も工事も公募入札するか、設計、工事一括公募入札してはどうか。公募入札は市担当者の手間が掛かるが、実現してもらいたい。
- ・住民にアンケートすればするほど要求は肥大し、応えようとすればするほど、行政コストがかかる。

○総合計画

- ・総合計画の内容が住民に周知されていない。
- ・総合計画と市長の任期がリンクしていない。
- ・明日のことも不明確な世の中なので、実態に合わせた短期的な計画を作成してほしい。
- ・骨格の無い総花的な計画や施策ではだめだと思う。
- ・次世代への「まちづくり」はモチベーションを高くする計画を希望する。

《まちづくり全般》

- ・阪南市の住民として他の町に誇れるもの（特徴）が一つでもほしい。（例：泉佐野は空港、泉南は玉ねぎ、イオン、泉州弁など）（複数回答）
- ・住み良い活気のあるまちづくりをしてほしい。（複数回答）
- ・豊かな自然を守りながら生活できる街をつくってほしい。（複数回答）
- ・「阪南市は住むには良い所だ」と他府県、市民に思われるような町づくりを考えてほしい。（複数回答）
- ・町おこしをするのであれば商店街が一丸となって意識統一を行っていく必要がある。（例：向日市）
- ・まちづくりは非常に重要で、早急に推進すべきものとする。
- ・阪南市全体を考えて焦点を絞って重点的に人、金を投入することを考えることが重要と思う。
- ・一言に言って、全く魅力のない市だと思う。
- ・「60歳以降の人生が楽しく暮らせる阪南市」ということを目標の一つに入れてほしい。
- ・民間を活性化させるためには、行政機構の簡素化、規制排除により民間の選択に任せることが必要である。
- ・市に特徴がない。スポーツや産業など、いろいろな面で積極的に外にPRしていくべきである。
- ・健康、環境への特化した政策など、“阪南市の特長はこれだ”と言うものを実現していただきたい。
- ・若い世代が住みたいと思えるようなまちにしてほしい。
- ・神奈川にある葉山や逗子のような海を活かした特徴は出せないかと思う。
- ・住んで良かったと思えるようなまちであってほしい。
- ・人と人との絆がしっかりとあり、その絆があればいいと思える程関係を深くできるようなまちであってほしい。
- ・自分はこのまちが好きだ、このように進化させてやりたい、と思える人を増やしてほしい。
- ・田舎っぽい雰囲気を出しながらも、普段の生活や娯楽には困らないまちであってほしい。
- ・退職後わずかな年金しかないが、その範囲で生活できる市であってほしい。
- ・阪南市には具体的なイメージ、カラーが感じられない。
- ・昼間人口と夜間人口を逆転させ、大阪、和歌山のベッドタウンからの脱却をめざしてほしい。
- ・市民の不安がない明るい生活が出来るまちづくりを目指してほしい！
- ・目先のことや、住民の選挙票を意識したまちづくりではだめ。
- ・高齢者には住みにくい市である。
- ・産業が発展し雇用が充実し、この町に住み、育んでいきたいと思えるまちづくりをしてほしい。
- ・ハード面のみならずソフト面を重視し、市民が求める町づくりを実施してほしい。
- ・時系列を取り入れた阪南市のランドデザインを描いてほしい。
- ・市民がやはりこれからも阪南市に住んでいたいと思う魅力のある町にしたい。
- ・町の活性化には若い人が魅力を感じ、生き生きと活動できる場が必要。（良いモデル：熊取町。大学を2つも誘致し、若人が町に多く生き生きとしている）
- ・「阪南市に行ってみよう」「阪南市に遊びに来てほしい」と思ってもらえるところからまず第一歩が始まると考えている。
- ・マスコミにもとりあげられる話題性のあるイベント、制度、施設など、又は住環境のすばらしさなど、人気が出るための取り組みをお願いしたい。
- ・位置が認知されていないので、観光アピールをする前に、阪南市そのものをアピールする必要がある。
- ・阪南市は中途半端（田舎でも都会でもなく、不便でも便利でもない）だが、高齢化社会になれば強みにもなると思う。その様な中でサービスが充実すれば、「住み良いまち」との評価につながる。

がると思う。

- ・協働まちづくりと言っても、知恵も大切だが、お金があつて動きが起きると思う。
- ・元気な老人が多数参加されているが、元気な若者の姿が見えてこない様に感じられる。

《財政・税》

- ・税金を無駄遣いしないほしい。(複数回答)
- ・財源確保のため税金の無駄をなくしてほしい。(複数回答)
- ・税負担（住民税、固定資産税、上下水道料金など）が他市と比べて大きすぎる。(複数回答)
- ・国民健康保険料が高すぎる。(複数回答)
- ・財政を健全化してほしい。(複数回答)
- ・まちの活性化による税収増を図る必要がある。
- ・税金の使い道を公表してほしい。
- ・税金、国民健康保険料の未納者を徹底的にフォローすることが必要だと思う。
- ・確定申告には毎年長時間待たされ、高齢者にとって、バス、自転車で行くのが苦痛なので、地区別の住民センターで手続きできるようにしてほしい。
- ・第二阪和の開通により通過都市となり、あちこちに住宅及びマンションばかりが立ち並び、税の収入源はなくなるだろう。
- ・税金を公平に使い、旧市街地の下水道など、負担に見合った整備をしてほしい。
- ・収入と支出のバランスシートを見直してほしい。
- ・事業仕分けを再実施してほしい。
- ・予算、損益を考えられる人材を、外部からの登用含め検討してほしい。
- ・少ない税収を少しでも増税になり優先順位を考えて有意義に使ってもらいたい。
- ・市役所の人件費や人員を減らして、少しでも赤字補填して市民の税金を下げしてほしい。
- ・市内業者育成と言って高い物品を購入するより、安価な物品購入の方が市の財政負担にならないのではないか。
- ・市内のお金持ちに寄付を募ってはどうか。
- ・生活がきびしいので、市民の負担を少なくしてほしい。

《その他（市の財産・議会等）》

○市の財産

- ・使用料値下げやコンサートでの活用など、サラダホールの活用法を見直してほしい。(複数回答)
- ・遊休地などの売却、貸借や民間による使用料収受など、市有地を有効活用してほしい。(複数回答)
- ・市役所の支所を設けてほしい。
- ・財政逼迫の折、受益者負担の観点から、公共施設の利用者にも何らかの協力を要請する必要があるのではないか。
- ・公的機関によるリサイクル商品の受付、展示、譲渡ができる場所を運営してほしい。
- ・現在、空いている幼稚園、保育園を売却して、市の予算の建て直しに充当すべし。
- ・テニスコートの常駐の管理人は不要である。
- ・あたごプラザ反対。
- ・公営のセレモニーホール（宿泊可能）をつくってほしい。料金も市民は安く使えるようにしてほしい。
- ・公共施設を尾崎から箱作へ移設し、市を若返らせるべき。
- ・公共施設を利用できていない。

○議会

- ・市会議員の定数を減らしてほしい。(複数回答)
- ・市議会の歳費を減らしてほしい。(複数回答)
- ・議会はもっとポジティブな議論をしてほしい。
- ・市民の協力を得てよいまちづくりを考えるならば、役所、議員がもっと動かないとだめだと思う。
- ・市議会は市民に推薦されて選出されているので、率先して地域で行動してほしい。
- ・移動中にシートベルトをしていない議員がいる。
- ・市会議員に会派はいらないのではないか。
- ・議員が議会を欠席した際には議員報酬をマイナスにするなどの基準を設けてほしい。
- ・議員は選挙の時だけ立派な事を言って、あとは何をしているのか解らないので、考え方を改めてほしい。

9. その他

○アンケート

- ・アンケートに答えの見当が付かない、わからない項目がある。(「わからない」の回答欄が必要)(複数回答)
- ・このアンケートは無駄、無意味。(複数回答)
- ・アンケートの結果を公表、フィードバックしてほしい。(複数回答)
- ・アンケートが漠然としていて答えにくい。(複数回答)
- ・アンケートにおいて行政の意気込みが感じられない。(複数回答)
- ・アンケートの内容が多すぎるので、コンパクトにまとめて実現性のある重要アンケートにしてほしい。
- ・アンケートは、もっと固定感のないざっくりばらんに書けるような形にするべき。
- ・問6の(6)、(7)は固定観念がありもっとちがう解答がある。
- ・総合計画の内容が住民に周知されていない時点でアンケートをとっても、行政との乖離を生むだけである。
- ・回答者にこれ程負担を強いるものは望ましくないので、事前に検討し、何を聞くべきか整理しておくべき。
- ・もっと詳しい質問が必要だと思う。
- ・無作為とはいえこれで2回目なので、同じ人に送らない方法を考えてほしい。
- ・アンケートをインターネットで実施してほしい。
- ・アンケートの企画を知らなかったので、市の行政に参加できたように思わせる意味でも前進、成功だと思う。
- ・すべて重要であるため、番号を選ぶのはとても考えさせられる。
- ・「総合計画」や「まちづくり」などの言葉だけでは具体的な内容がわかりにくいので、具体的なことが想像できる言葉を考えてほしい。
- ・質問の設定が一般市民から離れた感があり、生活に密着していない。
- ・市民憲章を基本とするのか、又新たな理念で「まちづくり」をするのかなどの基本条件を解説したものを各家庭へ配布した上でこのようなアンケートを実施すべきではないのか。
- ・まちづくりに対する基本のコンセプトからアンケートすれば、住民がどんな町を望んでいるかがよくわかると思う。
- ・アンケートをわかりやすくしてほしい。
- ・PDCAサイクルが機能しておらず、現状の問題点が解決処理出来てないのに将来を論ずることに疑問を持つ。

- ・問3の(18)は無意味である。
- ・「まちづくり」の共通イメージが持てていないので、アンケート項目に正しく記入できたか不安である。
- ・いきなりまちづくりと無作為に選ばれ尋ねられても答えに困る。
- ・市民への依存の多い偏った質問のように思えてならない。
- ・「市民の意見を聞いた」という既成事実を作るためのアンケートとを感じる。
- ・「税金の負担増＝サービスの向上、税負担の維持＝サービスの優先度を考える」は非常に後退している。もっと前向きな考えを望む。金がないとサービスが出来ないのは営利目的の企業以下である。
- ・今後の行政の在り方、行政サービスと税金の在り方などが最重要のアンケートポイントだと思う。

○その他

- ・頑張ってもらいたい。(複数回答)
- ・もっと行政に対し自覚を持ち、住民に責任転嫁するのではなく、主体的に住民を導くぐらいの負担を持ってほしい。
- ・市長、市職員の皆様方、毎日のお勤め御苦労さまです。阪南市民として、感謝の毎日です。
- ・西鳥取の交番はほとんど空っぽである。役に立たないのでは。
- ・事件などで阪南市が報道されるよりも、活気ある話題で話題になることを願っている。
- ・阪南市を一步一步ずつ前進させていきたい。
- ・地上デジタル放送の調査を行って、対策を立ててほしい。

資 料

新たな総合計画(まちづくり)のための アンケートのお願い

住民の皆さまには、平素から市政にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

阪南市では、「阪南市総合計画」に基づき、総合的かつ計画的にまちづくりを進めていますが、著しい社会情勢の変化に柔軟に対応していくため、次世代を展望した新たな計画策定に向けた取り組みを進めています。

策定にあたりましては、住民の皆さまのご意見をお聞きしながら策定することとしていきますので、計画を見直すうえでの基礎資料とすることを目的に、住民の皆さまの意向や市の施策の満足度、重要度などについてお聞きするアンケートを実施させていただきます。

アンケートをお願いする方は、平成 22 年 3 月 1 日現在、阪南市にお住まいの 16 歳以上の方から無作為に 3,000 人を選ばせていただき、無記名で回答をお願いするもので、個人の秘密がもれたり、他の目的に使用することは一切ありませんので、率直なご意見をお願いいたします。

アンケート結果を十分に得るためには、できるだけ多くの方から回答いただく必要がありますので、お忙しいところ恐れ入りますが、アンケートの目的をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 22 年 4 月
阪南市長 福山 敏博

<ご記入にあたってのお願い>

- 1 このアンケートは、個人を対象としていますので、封筒の宛名のご本人が記入してください。なお、ご本人が病気などのため記入できない場合は、ご家族の方などが代わって記入してください。
- 2 このアンケートは、名前を書く必要はありません。
- 3 設問ごとに、**回答欄にあてはまる番号を記入してください**。なお、特に記入例のある項目については、それに従って記入してください。
- 4 ご記入が終わりましたら、記入もれなどがないかをお確かめのうえ、**4月27日（火）**までに、同封の返信用封筒に入れて、**切手を貼らずに郵便ポストにご投函**ください。
- 5 阪南市総合計画は、市役所情報公開コーナーで閲覧できます。また、市ホームページにも掲載しています。
<http://www.city.hannan.osaka.jp/inter/kikaku/soukei/soukei0.html>
- 5 このアンケートについてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

阪南市役所 総務部 みらい戦略室

TEL 072-471-5678

FAX 072-473-3504

E-mail mirai@city.hannan.lg.jp

問1

回答欄

(1)

- 

(2)

- 

(3)

-

(4)

-

(5)

-

(6)

--	--

--	--

(7)

-

問2 阪南市の暮らしやすさについてお聞きします。

(1) あなたは、阪南市にこれからもお住いになりたいと思いますか。それとも、阪南市以外に移りたいと思いますか。 回答欄

(1)

- ① これからも阪南市に住んでいたい (→ (2)へ)
 ② できれば阪南市以外の場所に移りたい (移る計画がある) (→ (3)へ)
 ③ 考えていない・どちらともいえない

→ (2) これからも阪南市に住んでいたい人にお聞きします。

これからも阪南市に住んでいたい理由として、あてはまるものを**最大3つまで**選んでください。

(2)

- ≪ 産 業 ≫ ① 通勤に便利のため ② 雇用・やりがいのある仕事があるため
 ≪ 環 境 ≫ ③ 自然環境が良いため ④ 生活環境が良いため (騒音等がない)
 ≪ 子 育 て ≫ ⑤ 子育ての公的な支援制度が充実しているため
 ⑥ 子育て関連の施設が充実しているため
 ⑦ 子どもが安心して過ごせる場所・環境が整っているため
 ≪ 教 育 ≫ ⑧ 教育費用の負担が少ないため ⑨ 学校教育の内容が充実しているため
 ≪ 安全・快適 ≫ ⑩ 日常の買い物に便利のため ⑪ 治安が良いため
 ⑫ レジャー・娯楽施設等の楽しむ場所が充実しているため
 ⑬ 住宅価格 (家賃) や設備等の住宅環境が良いため
 ≪ 健康・福祉 ≫ ⑭ 医療・福祉施設が充実しているため
 ⑮ 老後の医療・福祉等の費用負担が少ないため
 ≪ そ の 他 ≫ ⑯ 親・親戚・知人関係、結婚のため
 ⑰ 歴史・文化等を大切にしているため
 ⑱ その他 (具体的に)

→ (3) 阪南市以外に移りたい (移る計画がある) 人にお聞きします。

阪南市以外に移りたい理由として、あてはまるものを**最大3つまで**選んでください。

(3)

- ≪ 産 業 ≫ ① 通勤に不便のため ② 雇用・やりがいのある仕事がないため
 ≪ 環 境 ≫ ③ 自然環境が良くないため ④ 騒音等の生活環境が良くないため
 ≪ 子 育 て ≫ ⑤ 子育ての公的な支援制度が充実していないため
 ⑥ 子育て関連の施設が充実していないため
 ⑦ 子どもが安心して過ごせる場所・環境が整っていないため
 ≪ 教 育 ≫ ⑧ 教育費用の負担が多いため ⑨ 学校教育の内容が充実していないため
 ≪ 安全・快適 ≫ ⑩ 日常の買い物に不便のため ⑪ 治安が良くないため
 ⑫ レジャー・娯楽施設等の楽しむ場所が充実していないため
 ⑬ 住宅価格 (家賃) や設備等の住宅環境が良くないため
 ≪ 健康・福祉 ≫ ⑭ 医療・福祉施設が充実していないため
 ⑮ 老後の医療・福祉等の費用負担が多いため
 ≪ そ の 他 ≫ ⑯ 親・親戚・知人関係、結婚のため
 ⑰ 歴史・文化等が守られていないため
 ⑱ その他 (具体的に)

問3 阪南市の現状と今後の施策に関するご意見をお聞きます。

あなたは、阪南市の現状と今後めざすべき姿について、どのようにお考えですか。

次の設問項目ごとに、現在の達成度（実現しているかどうか）と今後の重要度について、あなたのお考えに最も近い番号「1～5」の中からそれぞれ1つ選んで、番号に○をつけてください。

設 問 項 目		現在の達成度					今後の重要度				
		そう思う	どちらかといえば	ふつう	どちらかといえば	そう思わない	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
記入例	（記入例）〇〇が△△されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	（記入例）△△が〇△されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	（記入例）□□が行われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<div style="text-align: center;"> 《この下の設問から回答してください。》 </div>											
○健康・福祉について											
(1)	市民は健康づくりに取り組むための行政サービスを受けられる環境になっている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2)	安心して医療サービスを受けられる環境になっている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3)	地域の福祉施設等が充実し、誰もが安心して暮らしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4)	子どもが地域に守られて育っている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5)	高齢者が支援サービス等を利用しながら安心して暮らしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6)	障がい者が支援サービス等を利用しながら住み慣れた地域で安心して暮らしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7)	生活に困窮している市民が自立した生活に向けた支援を受けることができる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○安心・安全な暮らしについて											
(8)	地震や水害等の自然災害への対策（施設や組織）が進められ、安心して暮らしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9)	地域や行政の救急・消防体制が整っており、安心して暮らしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10)	市民が犯罪やトラブルにあわずに安心して暮らしている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11)	市民が安全な水道水を安定して利用できる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

設 問 項 目		現在の達成度					今後の重要度				
		そう思う	どちらかといえば	ふつう	そう思わない	どちらかといえば	そう思わない	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない
(12)	適切な排水処理により、衛生的な生活環境や海・川が守られている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13)	市民や事業者はごみの分別に配慮しており、適切な処理が行なわれている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14)	行政は環境問題にしっかりと取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15)	市民は環境問題に対してできることから取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○快適な暮らしについて											
(16)	幹線道路や生活道路が適切に整備・維持され、安全・快適に道路を利用できる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17)	日常生活に必要な移動手段が整っており、不便なく生活している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18)	市民が安心して、また快適に暮らすことのできる住環境が整っている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19)	市民が安心して憩える公園や空間が整っている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20)	まちの景観が守られており、市民が誇りをもてるまちとなっている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○産業について											
(21)	農業に活力があり、持続的に発展している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22)	漁業に活力があり、持続的に発展している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23)	観光の魅力を活かし、多くの観光客が訪れている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24)	製造業に活力があり、持続的に発展している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25)	商業に活力があり、持続的に発展している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26)	市民が就労の機会を得て、良好な労働環境のもとで安心して働くことができる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○子育て、教育、生涯学習について											
(27)	安心して子どもを産み育てられる環境が整っている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28)	未就学年齢の子どもが、それぞれの子どもにあった幼児教育を受けている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

設 問 項 目		現在の達成度					今後の重要度				
		そう思う	どちらかといえば	ふつう	そう思わない	どちらかといえば	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
(29)	安全で快適な教育環境のもと、子ども達が一人ひとりの個性と能力にあった適切な学校教育を受けている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30)	青少年が地域の方々とともに、心豊かに成長している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31)	生涯を通して様々な学びやスポーツにふれ、生きがいを持って生活している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32)	地域ぐるみで子どもや青少年を育てている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(33)	市民は市の歴史や文化を理解しており、保存や継承に取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(34)	国際交流等を通じて、多様な文化を理解している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(35)	市民一人ひとりの人権が守られ、お互いに尊重し合う社会になっている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○協働・コミュニティについて											
(36)	ボランティアや NPO 等が活発に活動している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(37)	市のまちづくりや公共サービスを市民が協働して取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(38)	市民はお互いに理解し、助け合って生活している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○行政経営について											
(39)	市民参画の機会が充実し、市政に対して意見を述べることができる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(40)	市民と行政は多様な手段により情報を共有している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(41)	届出や申請の電子化が進み、行政サービスを便利に、快適に利用できている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(42)	広域的な課題や公共施設の共同利用等について他の市と連携して取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(43)	市職員一人ひとりが市民の視点に立って働いている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

今後のまちづくりについてお聞きます。

問4 産業活性化について

阪南市が将来にわたって発展していくためには、産業活性化が重要な課題と考えています。そこで、産業活性化についてお聞きます。

- (1) あなたは、阪南市の産業活性化のためには、どのようなまちづくりを展開していくべきだと考えますか。次の中から最もお考えに近いものを1つ選んでください。

回答欄
(1)

- ① 地域産業（例：観光産業）の活性化に重点を置くべき
- ② 市内の雇用を創出するため、新たな産業の創造・育成に重点を置くべき
- ③ 市内の雇用を早急に創出するため、業種に関係なく外部からの誘致に重点を置くべき
- ④ 農産ブランドの確立や農家の担い手育成等、農業振興に重点を置くべき
- ⑤ 海という資源を活かし、水産物の流通拡大や担い手育成等、漁業振興に重点を置くべき
- ⑥ 多くの観光客が訪れるよう観光資源の掘り起こしやPR等、観光振興に重点を置くべき
- ⑦ 地域のイメージアップのため環境への負荷の少ない産業の創造・育成に重点を置くべき
- ⑧ その他（ ）

- (2) 現在、阪南市では、製造業などの企業誘致を行っていますが、今後の企業誘致の進め方について、どう考えますか。

(2)

- ① 税金などを優遇してでも、活性化のために推進すべき
- ② 企業誘致は必要であるが、市民負担を増やすべきではない
- ③ 必要ない

- (3) 阪南市が他に誇れる、地域の資源・強みは何だと思いますか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

(3)

<input type="text"/>
<input type="text"/>
<input type="text"/>

- | | | |
|---------------------|--------------|------------|
| ① 歴史遺産・伝統文化 | ② 自然環境・景観 | ③ 特産品・伝統料理 |
| ④ 祭り・イベント | ⑤ 観光・文化などの施設 | ⑥ 住民の活力 |
| ⑦ 暮らしの利便性（交通、買い物など） | ⑧ 人情・助け合いの気風 | |
| ⑨ その他（ ） | | |

問5 協働のまちづくりについて

今後、まちづくりを進めていくためには、市民の方々やNPOなどの各種団体、民間企業、行政が協働で進めていくことが求められています。そこで、協働のまちづくりについてお聞きます。

- (1) あなたは、ボランティアやNPOなどの社会活動に参加したいと思いますか。

回答欄
(1)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| ① 積極的に参加したい | ② 付き合い程度に参加したい |
| ③ 参加できない（参加したいが機会がない） | ④ 参加したくない |

(2) あなたは、今後、協働のまちづくりに参加する場合、どのような関わり方ができますか。
次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

(2)

- | | |
|----------------------|----------------|
| ① 担い手として活動 | ② 資金面での協力 |
| ③ 活動のための場、資材、物品などの提供 | ④ ノウハウ、情報などの提供 |
| ⑤ 参加したくない | |
| ⑥ その他 () | |

(3) 今後、協働のまちづくりを進めていくために、行政はどのような役割を担うことを期待しますか。

(3)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| ① 地域づくりのキーマンとなる人材発掘・育成 | ② 地域づくりの活動の担い手の拡大 |
| ③ 地域づくりのためのノウハウ・情報の提供 | ④ 地域づくりのための資金支援 |
| ⑤ 地域の人材・組織が交流する機会・場の提供 | ⑥ 啓発活動 |
| ⑦ 多様な市民活動の機会・場の創出・提供 | |
| ⑧ その他 () | |

問6 日常生活等について

回答欄

(1) 普段、インターネットを利用していますか。

(1)

- | | |
|-------------|--------------|
| ① よく利用している | ② ときどき利用している |
| ③ 全く利用していない | ④ 利用できない |

(2) 何を使ってインターネットを利用していますか。

(2)

- | | | |
|-----------|--------|------------|
| ① パソコン | ② 携帯電話 | ③ 両方 (①と②) |
| ④ その他 () | | |

(3) 暮らしの情報は、主に何から得たいですか。

(3)

- | | | |
|------------|-----------------|-----------|
| ① 広報はんなん | ② 市施設の掲示物 (掲示板) | ③ 市ウェブサイト |
| ④ 他のウェブサイト | ⑤ 回覧板 | ⑥ 新聞 |
| ⑦ 情報誌 | ⑧ ラジオ | ⑨ テレビ |

(4) 阪南市のどのような情報を知りたいですか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

(4)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| ① 市の行事、制度や事業の内容 | ② 市の出来事や話題 |
| ③ 郷土の歴史や文化財の紹介 | ④ 福祉や保健など日常生活に関係した情報 |
| ⑤ 市民が登場する (書いた) 情報 | |
| ⑥ その他 () | |

(5) この1年間に、次の公共施設を利用する機会がありましたか。次の中から頻度の多いものから順に最大3つまで選んでください。

(5)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| ① 阪南市立文化センター | ② 阪南市立図書館 |
| ③ 阪南市立（尾崎、西鳥取、東鳥取）公民館 | ④ 阪南市立総合体育館 |
| ⑤ 阪南市営プール | ⑥ 住民センター |
| ⑦ 阪南市立老人福祉センター | ⑧ いずれも利用していない |

(6) 「阪南市自治基本条例」を知っていますか。

(6)

- | | |
|---------------|-------------|
| ① 内容までよく知っている | ② 見たことがある程度 |
| ③ 名前を知っている程度 | ④ 知らない |

(7) 行政サービスと税金などの負担について、どのように考えますか。

(7)

- | |
|-----------------------------------|
| ① 市民負担が大きくても、すべての行政サービス水準が高いほうがよい |
| ② 行政サービスに優先度をつけて、現状の市民負担を維持すべき |
| ③ すべての行政サービス水準が低くても、市民負担が小さいほうがよい |

(8) これからのまちづくりを進めるにあたって、阪南市の中心市街地が、どのようなまちをめざしたら良いと考えますか。

(8)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| ① 住むための機能が集積した場所 | ② 商業機能が集積した場所 |
| ③ 市民の文化交流・教育（生涯学習）の場所 | ④ 来訪者との交流の場所 |
| ⑤ その他（ | ） |

(9) 通勤・通学されている人にお聞きします。

通勤・通学先はどちらですか。

(9)

- | | | |
|--|---------|------------------|
| ① 阪南市内 | | |
| ② 阪南市以外の泉南地域（岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、熊取町、田尻町、岬町） | | |
| ③ 大阪市・泉北地域（堺市、高石市、泉大津市、和泉市、忠岡町） | | |
| ④ ①～③以外の大阪府内 | ⑤ 和歌山県内 | ⑥ 大阪府・和歌山県以外の府県内 |

(10) 通勤・通学されている人にお聞きします。

主にどのような交通手段で通勤・通学していますか（阪南市外に通勤・通学されている人は、阪南市内の交通手段のみ回答してください）。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

(10)

- | | |
|--------------------|--------------|
| ① 徒歩・自転車・バイクのみ | ② 自動車のみ |
| ③ コミュニティーバスのみ | ④ 南海バスのみ |
| ⑤ 最寄り駅まで徒歩・自転車・バイク | ⑥ 最寄り駅まで自動車 |
| ⑦ 最寄り駅までコミュニティーバス | ⑧ 最寄り駅まで南海バス |
| ⑨ 南海電鉄 | ⑩ J R |
| ⑪ その他（ | ） |

●まちづくりについて、ご意見・ご提案がありましたら、下の空欄にご自由にお書きください。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no text or other markings on the paper.

以上で質問はおわりです。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、4月27日（火）までに郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。

阪南市新総合計画策定に係る住民意識調査報告書

平成23年 3月発行

阪南市みらい戦略室